

平成 24 年度

F D 活 動 報 告 書

駒澤大学 F D 推進委員会

目 次

1. 委員会	1
(1) F D 推進委員会	
(2) F D 推進委員会小委員会	
2. 研修会	5
(1) F D 研修会	
(2) 平成 2 4 年度新規採用教員オリエンテーション	
3. 公開授業	6
4. 学生による授業アンケート	9
(1) 「学生による授業アンケート」の概要	
(2) 授業アンケート質問項目	
(3) 項目別平均値	
(4) 受講生の講義への取り組み	
(5) 授業についての評価	
(6) 総評	
5. F D NEWSLETTER の発行	
○ F D NEWSLETTER 第 31 号	平成 24 年 6 月 30 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 32 号	平成 24 年 9 月 30 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 33 号	平成 24 年 12 月 15 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 34 号	平成 25 年 3 月 15 日発行

【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

1. 委員会

(1) FD推進委員会

○第1回

日 程 平成24年5月9日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成23年度FD研修会について
 - (2) 平成24年度新規採用教員オリエンテーションについて
 - (3) その他
 2. 審議事項
 - (1) 平成24(2012)年度学生による授業アンケートについて
 - (2) 平成24年度FD活動について
 - (3) その他

○第2回

日 程 平成24年6月13日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成24(2012)年度学生による授業アンケート(前期)について
 - (2) その他
 2. 審議事項
 - (1) 駒澤大学におけるFD活動の位置付けについて
 - (2) 平成25年度各種入学試験合格者への入学前教育について
 - (3) その他

○第3回

日 程 平成24年7月25日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 2012年度「学生による授業アンケート」(前期)について
 2. 審議事項
 - (1) 駒澤大学におけるFD活動の位置付けについて(継続)
 - (2) その他

○第4回

日 程 平成24年12月12日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業への申請について
 - (2) 平成25年度入学者への入学前教育について

(3) 2012(平成24)年度「学生による授業アンケート」(後期)について

(4) 平成24年度「FD研修会」の実施について

(5) 平成24年度「公開授業」の実施について

(6) その他

2. 審議事項

(1) 駒澤大学におけるFD活動の位置付けについて(継続)

(2) 2013(平成25)年度「学生による授業アンケート」実施時期について

(3) その他

○第5回

日 程 平成25年 3月14日(木)

課 題 1. 報告事項

(1) 平成24年度FD NEWSLETTER第34号の発行について

(2) 平成24年度『FD活動報告書』の発行について

(3) 平成25年度新規採用教員オリエンテーションの実施について

(4) その他

2. 審議事項

(1) 駒澤大学におけるFD活動の位置付けについて(継続)

(2) 駒澤大学FD推進委員会規程改正(案)について

(3) 平成24年度FD推進委員会小委員会の活動報告及び今後の課題について

(4) 『FD活動報告書』のホームページ掲載について

(5) その他

(2) FD推進委員会小委員会

○第1回

日 程 平成24年5月9日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成23年度FD研修会について
 - (2) 平成24年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
 - (3) その他
 2. 審議事項
 - (1) 平成24年度『FD NEWSLETTER』の編集委員について
 - (2) 平成23年度FD推進委員会小委員会の活動報告及び平成24年度活動計画について
 - (3) FD推進委員会小委員会のワーキング・グループ設置について
 - (4) その他

○第2回

日 程 平成24年6月13日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成24年度FD NEWSLETTER第31号の発行について
 - (2) 平成24年度入学生への入学前教育について
 - (3) その他
 2. 審議事項
 - (1) 平成24年度「学生による授業アンケート」(前期)対象科目について
 - (2) その他

○第3回

日 程 平成24年7月25日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成24年度FD NEWSLETTER第32号の発行について
 - (2) 平成25年度入学生入学前教育について
 - (3) その他
 2. 審議事項
 - (1) 各WG報告について
 - (2) その他

○第4回

日 程 平成24年10月24日(水)

- 議 題
1. 報告事項
 - (1) 平成24年度FD NEWSLETTER第33号の発行について

- (2) 平成25年度入学生を対象にした入学前教育について
 - (3) 平成24年度産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備の採
択状況について
 - (4) その他
2. 審議事項
- (1) FD研修会について
 - (2) 学生による授業アンケート（後期）の実施について
 - (3) 各WG活動報告について
 - (4) その他

○第5回

日 程 平成24年12月12日（水）

議 題 1. 報告事項

- (1) 2012年度「学生による授業アンケート」（後期）について
- (2) FD研修会について
- (3) 平成24年度FD NEWSLETTER第33号について
- (4) その他

2. 審議事項

- (1) 2013年度「学生による授業アンケート」実施時期について
- (2) 2013年度「学生による授業アンケート」について
- (3) 各WG活動報告について
- (4) その他

○第6回

日 程 平成25年2月20日（水）

議 題 1. 報告事項

- (1) 平成24年度FD NEWSLETTER第34号の発行について
- (2) 平成24（2012）年度『FD活動報告書』の発行について
- (3) 平成25年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (4) その他

2. 審議事項

- (1) 平成24年度FD推進委員会小委員会の総括について
- (2) 各WG活動報告について
- (3) その他

2. 研修会

授業改善や教育の質を高めることを目的として、FDに関する研修活動を行った。

(1) FD研修会

全教職員を対象としたFD研修会を開催した。

日 時：平成24年11月14日（水）14：40～16：10

場 所：2研-209教場

テーマ：「初年次教育とコミュニケーション教育

—日本語リテラシー教育の実践例を中心に—」

参加者： 教員 13名

職員 7名



(2) 平成24年度新規採用オリエンテーション

新規採用専任教員・非常勤教員を対象にしたオリエンテーションを開催した。

日 時：平成24年4月2日（水）14：40～16：10

出席者数：50名（対象者 104名）

次 第：学長からの挨拶

教務部長からの挨拶

大学案内（教務部、総合情報センター、図書館）

3. 公開授業

公開授業の目的は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

本年度の公開授業は、各学部等の F D 推進部会の協力により、本年度の新規採用教員を中心とした教員により、「平成 24 年度公開授業一覧」(表 1) のとおり実施した。また、担当教員からの申し出によるビデオ撮影サービスは、2 科目の授業で行った。

公開授業の参観方法については、参観希望の授業科目の時間に直接教場に行き、後方に着席し、当日、会場担当者よりアンケート等の依頼があったら、できるだけご協力をお願いしたいということにした。

(表 1) 平成 24 年度公開授業一覧

学部	担当教員 (敬称略)	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	角田 泰隆	11 月 27 日(火)	3	禅研 座禅堂	坐禅実習(全学共通科目)
	池上 光洋				
	熊本 英人	11 月 28 日(水)	3	禅研 座禅堂	坐禅実習(全学共通科目)
	池上 光洋				
文学部	モート、セーラ	12 月 5 日(水)	3	9-282	イギリス文学特講 V
経済学部	松本 典子	11 月 26 日(月)	1	1-301	非営利組織論 b
	荒木 勝啓		3	2研-102	応用ミクロ経済学
	姉齒 暁		3	8-360	消費経済論 ※途中入退室不可
	溝手 芳計		3	8-151	農業政策
	松田 健		4	8-255	経営学基礎、経営学総論
	長山 宗広		4	8-256	地域経済論 b
	飯田 泰之		5	1-401	経済政策
	清水 卓	11 月 27 日(火)	1	8-465	現代西欧経済論
	鄭 章淵		2	8-465	アジア経済論
	小杉 修二		3	8-152	中国経済論
	森田 佳宏		3	9-391	会計監査論
	鈴木 伸枝		3	8-150	ゲーム理論 b
	阿部 弘		4	9-392	市民と経済学 b、社会思想史 b
	山縣 弘志		4	1-403	ロシア・東欧経済論
	吉田 真広		4	8-257	貿易史
	石川 純治		5	9-177	会計情報論
	代田 純		11 月 28 日(水)	1	9-391

学部	担当教員 (敬称略)	実施日	時限	教場	科目名称
経済学部	岩波 文孝	11月28日(水)	1	1-401	企業管理論b、経営管理論b
	荒木 勝啓		2	8-256	マクロ経済学、経済理論Ⅱ・マクロ経済学、経済原論
	有井 行夫		2	8-151	経済理論A・資本の原理、経済理論ⅠA・資本の原理
	谷敷 正光		2	8-360	教育経済論
	松田 健		2	2研-101	現代企業論b
	友松 憲彦		3	2研-101	西洋経済史
	村松 幹二		3	1-402	契約理論
	北口 りえ		3	8-151	税務会計論
	大石 雄爾		4	9-177	経済理論B・経済システムの原理、経済理論ⅠB・経済システムの原理
	北口 りえ		4	1-401	簿記論
	番場 博之	11月29日(木)	1	1-301	流通政策、商業政策
	小林 正人		1	8-151	日本経済論
	飯田 泰之		1	1-401	企業経済学b
	浅野 克巳		2	8-256	マクロ経済学、経済理論Ⅱ・マクロ経済学、経済原論
	小栗 崇資		3	1-301	財務会計論
	長山 宗広		3	2研-203	起業論
	瀬戸岡 紘		4	1-301	アメリカ経済論
	舘 健太郎		4	8-255	産業組織論b
	中濟 光昭		6	9-392	就業力基礎Ⅳ
	長山 宗広		6	2研-101	就業力基礎Ⅳ
	矢野 浩一	6	9-391	就業力基礎Ⅳ	
	阿部 弘	11月30日(金)	2	8-255	経済理論A・資本の原理、経済理論ⅠA・資本の原理
	吉田 真広		2	1-401	国際金融論
	石川 祐二		2	8-360	会計学基礎、会計学総論
	鈴木 伸枝		2	8-150	公共経済学b
	石川 祐二		3	8-360	管理会計論b
	小西 宏美		3	1-404	グローバル・ファイナンス
	村松 幹二		3	8-362	制度の経済学

学部	担当教員 (敬称略)	実施日	時限	教場	科目名称
経済学部	阿部 弘	11月30日(金)	4	8-466	社会経済学b
	山縣 弘志		4	2研-203	経済学概説
	浅田 進史		4	9-391	経済史
	光岡 博美		5	8-255	社会政策
	代田 純		5	2研-203	ファイナンス基礎
	吉田 敬一	12月1日(土)	1	2研-102	中小企業政策論
	曾我 信孝		3	2研-102	マーケティング
	松井 柳平		3	8-466	ミクロ経済学、経済理論Ⅱ・ ミクロ経済学、経済原論
法学部	三浦 康平	11月30日(金)	3	9-390	商法総則・商行為法
経営学部	桑原 正行	11月29日(木)	2	9-391	財務会計論
医療健康 科学部	金子 順一	11月15日(木)	2	9-289	電子工学
GMS 学部	吉田 尚史	11月27日(火)	2	1-401	インターネットとメディア
総合教育 研究部	三木 望	12月3日(月)	2	4-204	英語ⅡB
	吉中 俊貴	12月4日(火)	4	7-407	ドイツ語ⅠA

4. 学生による授業アンケート

(1) 「学生による授業アンケート」の概要

各教員の授業の改善を目的に、平成 24 年度「学生による授業アンケート」を下記の要領で実施した。本報告書では、集約したデータの学部学科・質問項目ごとの平均値を示した。

◇実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間内に実施した。

前期（前期終了科目対象）：2012年 6月18日～ 6月23日

後期（後期・通年科目対象）：2012年11月 6日～11月12日

◇対象科目数および対象学生数

本年度は、全科目を対象に実施した。ただし、演習科目、集中講義科目ならびに受講者数が 20 名未満の科目は対象外とした。

前期	455科目	35,195人（延べ人数）
後期	1,579科目	152,231人（延べ人数）

◇実施科目数および回答者数

前期	455科目（100.0%）	19,508人（55.4%）
後期	1,579科目（100.0%）	75,383人（49.5%）

(2) 授業アンケート質問項目

◇科目名 ◇学科等 ◇学年 ◇学生番号・氏名（記入については任意。無記名も可。）

Q 1. 時間どおりに出席した割合はどのくらいですか。

5: 100～80% 4: 79～60% 3: 59～40% 2: 39～20% 1: 20%未満

Q 2. 授業に熱心に取り組みましたか。

5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない 1: 全くそう思わない

Q 3. この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいでしたか。

5: 5 時間以上 4: 約 4 時間 3: 約 3 時間 2: 約 2 時間 1: 1 時間未満

Q 4. どのような理由でこの授業を履修しましたか。（複数回答可）

5: シラバスを読んで興味を持った 4: 資格の取得 3: 周りの人に勧められた
2: 必修科目又は選択必修科目 1: その他

Q 5. 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。

2: はい 1: いいえ

Q 6. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

2: はい 1: いいえ

Q 7. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されてきましたか。

5: 全くそう思う 4: そう思う 3: どちらともいえない 2: そう思わない
1: 全くそう思わない

Q 8. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

5: 早すぎる 4: やや早い 3: ちょうどよい 2: やや遅い 1: 遅すぎる

Q 9. 教科書・資料・教材・器具・用具等は効果的に使われていましたか。

5: 全くそう思う 4: そう思う 3: どちらともいえない 2: そう思わない
1: 全くそう思わない

Q 10. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

5: 非常に感じた 4: 感じた 3: どちらともいえない 2: あまり感じなかった
1: 全く感じなかった

Q 11. 教え方はわかりやすかったですか。

5: 非常にわかりやすい 4: ややわかりやすい 3: ふつう 2: ややわかりにくい
1: 非常にわかりにくい

Q 12. この科目の授業内容をどのくらい理解できましたか。

5: 非常に理解できた 4: やや理解できた 3: ふつう 2: あまり理解できなかった
1: 全く理解できなかった

Q 13. この授業で受けた知的刺激に対する満足度はどうでしたか。

5: 非常に満足 4: 満足 3: どちらともいえない 2: 不満 1: 非常に不満

◇担当教員による個別質問 Q 14～ Q 16

◇どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。（回答は任意）

◇この授業についてうかがいます。（自由記述）

Q 17. この授業の良かった点を具体的に記入してください。

Q 18. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

Q 19. 担当教員による個別質問

(3) 項目別平均値

「項目別平均値」に関しては、前期・後期で実施されたアンケートについて、質問項目 Q1～Q13 の学部・学科・専攻別平均値を表に示したものである。

これらの表を解釈する際、Q1 から Q4 までが学生の授業への取り組みについての結果であるのに対して、Q5 から Q13 までが該当授業の内容についての結果であることを念頭においておく必要がある。

なお、担当教員による個別質問の項目 (Q14～Q16) 及び学生による自由記述項目 (Q17～Q19) に関してはここでは報告していない。また有効回答数が 2 名以上あった学部・学科・専攻のみ掲載する。

I. 学部・学科別平均値

表 1 学科等別平均値 (前期実施科目)

学科・専攻	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9
Q2 平均値	4.2	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.0	4.1	4.0
Q3 平均値	1.4	1.3	1.6	1.5	1.5	1.4	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	3.7	3.9	3.4	3.5	3.4	3.7	3.8	3.7	3.8
Q5「はい」回答率	97.0	97.0	96.9	96.7	95.5	98.2	96.8	96.5	97.1
Q5「いいえ」回答	3.0	3.0	3.1	3.3	4.5	1.8	3.2	3.5	2.9
Q6「はい」回答率	99.4	100.0	98.5	99.6	100.0	99.1	99.5	99.2	100.0
Q6「いいえ」回答	0.6	0.0	1.5	0.4	0.0	0.9	0.5	0.8	0.0
Q7 平均値	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2
Q8 平均値	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.0
Q10 平均値	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
Q11 平均値	4.2	4.3	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8
Q12 平均値	4.1	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.8
Q13 平均値	4.1	4.1	4.2	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8
有効回答数	165			273			618		

学科・専攻	(文学部)英米文			(文学部)地域文化			(文学部)地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9
Q2 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.3	4.1	4.0	4.1
Q3 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.2	1.4	1.4	1.3
Q4 平均値	3.5	3.5	3.6	3.3	3.2	3.6	3.2	3.1	3.5
Q5「はい」回答率	97.8	97.5	98.3	98.8	99.5	96.3	96.5	96.4	96.7
Q5「いいえ」回答	2.2	2.5	1.7	1.2	0.5	3.7	3.5	3.6	3.3
Q6「はい」回答率	99.8	100.0	99.4	98.8	98.9	98.1	97.5	97.9	96.7
Q6「いいえ」回答	0.2	0.0	0.6	1.2	1.1	1.9	2.5	2.1	3.3
Q7 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1
Q9 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2
Q12 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.2	3.9	3.8	4.1
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.3	3.9	3.9	4.0
有効回答数	456			245			286		

学科・専攻	(文学部)日本史学			(文学部)外国史学			(文学部)考古学		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.8
Q2 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.8
Q3 平均値	1.3	1.2	1.4	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2
Q4 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.8	3.6	3.5	3.7
Q5「はい」回答率	95.8	96.0	95.5	96.7	96.7	96.7	98.0	99.1	96.6
Q5「いいえ」回答	4.2	4.0	4.5	3.3	3.3	3.3	2.0	0.9	3.4
Q6「はい」回答率	98.8	99.3	98.3	99.7	99.3	100.0	99.0	100.0	97.7
Q6「いいえ」回答	1.2	0.7	1.7	0.3	0.7	0.0	1.0	0.0	2.3
Q7 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.1
Q8 平均値	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1
Q9 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9
Q12 平均値	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.6	3.5	3.8
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.7	3.6	3.9
有効回答数	574			334			205		

学科・専攻	(文学部)社会学			(文学部)社会福祉学			(文学部)心理		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7
Q2 平均値	3.6	3.5	3.8	4.0	4.1	3.9	4.0	4.1	3.9
Q3 平均値	1.1	1.1	1.1	1.4	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	3.3	3.2	3.6	3.6	3.5	3.8	3.6	3.2	4.0
Q5「はい」回答率	95.8	95.5	96.2	98.0	98.0	98.0	93.2	93.2	93.1
Q5「いいえ」回答	4.2	4.5	3.8	2.0	2.0	2.0	6.8	6.8	6.9
Q6「はい」回答率	96.0	94.6	98.7	96.2	96.7	95.5	99.3	99.3	99.2
Q6「いいえ」回答	4.0	5.4	1.3	3.8	3.3	4.5	0.7	0.7	0.8
Q7 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3
Q8 平均値	3.2	3.2	3.1	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3
Q9 平均値	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0
Q10 平均値	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4
Q11 平均値	3.7	3.4	4.2	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1
Q12 平均値	3.5	3.3	3.9	3.8	3.7	3.8	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.7	3.5	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.1
有効回答数	688			811			278		

学科・専攻	(経済学部)経済A			(経済学部)経済B			(経済学部)商		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	5.0	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	4.1	4.0	4.2	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.6	1.4	2.0	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値	3.2	3.2	3.3	3.8	3.9	3.8	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	94.0	92.0	97.2	92.3	88.9	100.0	93.9	91.8	96.5
Q5「いいえ」回答	6.0	8.0	2.8	7.7	11.1	0.0	6.1	8.2	3.5
Q6「はい」回答率	98.5	97.9	99.5	100.0	100.0	100.0	98.6	98.2	99.0
Q6「いいえ」回答	1.5	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	1.8	1.0
Q7 平均値	4.1	4.0	4.3	3.9	3.7	4.2	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.4	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.4
Q9 平均値	3.8	3.7	4.1	4.0	3.8	4.4	3.8	3.8	3.8
Q10 平均値	4.2	4.1	4.3	4.6	4.4	4.8	4.1	4.2	4.0
Q11 平均値	3.9	3.8	4.1	4.3	4.1	4.6	3.8	3.8	3.8
Q12 平均値	3.8	3.7	4.0	3.9	3.7	4.4	3.7	3.7	3.7
Q13 平均値	3.9	3.8	4.0	4.0	3.8	4.4	3.8	3.8	3.8
有効回答数	2,138			14			1,677		

学科・専攻	(経済学部)現代応用経済			(法学部)法律A			(法学部)法律B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	3.9	3.9	3.9
Q3 平均値	1.6	1.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.6	1.2
Q4 平均値	3.0	3.0	3.1	3.2	3.0	3.9	2.9	2.6	4.1
Q5「はい」回答率	96.0	96.1	95.9	94.4	94.2	94.9	93.4	93.2	94.2
Q5「いいえ」回答	4.0	3.9	4.1	5.6	5.8	5.1	6.6	6.8	5.8
Q6「はい」回答率	98.3	98.0	98.9	99.2	99.1	99.5	96.5	96.1	98.1
Q6「いいえ」回答	1.7	2.0	1.1	0.8	0.9	0.5	3.5	3.9	1.9
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3	4.0	4.0	4.1
Q8 平均値	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.7	3.9	3.3
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1	3.8	3.8	3.9
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	3.9	3.9	3.9
Q11 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	4.1	3.4	3.4	3.7
Q12 平均値	3.6	3.6	3.7	3.8	3.6	4.1	3.4	3.3	3.8
Q13 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	4.1	3.5	3.4	3.8
有効回答数	1,569			666			262		

学科・専攻	(法学部)政治			(経営学部)経営A			(経営学部)経営B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.5	4.1	4.9
Q2 平均値	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	4.1	3.9	4.3
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.4	1.0	1.8
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	3.6	3.6	3.7	3.5	3.1	3.8
Q5「はい」回答率	95.8	96.7	94.7	94.6	93.7	97.0	100.0	100.0	100.0
Q5「いいえ」回答	4.2	3.3	5.3	5.4	6.3	3.0	0.0	0.0	0.0
Q6「はい」回答率	99.0	98.9	99.0	98.8	98.6	99.5	100.0	100.0	100.0
Q6「いいえ」回答	1.0	1.1	1.0	1.2	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0
Q7 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.5	4.6	4.4	4.8
Q8 平均値	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.9	4.7	5.0
Q11 平均値	4.1	4.2	3.9	4.3	4.2	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	3.9	4.0	3.7	4.1	4.0	4.4	4.3	4.2	4.4
Q13 平均値	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4
有効回答数	669			698			20		

学科・専攻	(経営学科)市場戦略			(医療健康科学部)			(GMS学部)		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8
Q2 平均値	4.1	4.1	4.4	4.0	4.0	3.8	4.0	3.9	4.2
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.7
Q4 平均値	3.6	3.5	3.9	2.1	2.1	2.1	2.9	3.0	2.7
Q5「はい」回答率	93.7	92.7	97.6	95.0	97.1	84.6	96.1	96.5	95.6
Q5「いいえ」回答	6.3	7.3	2.4	5.0	2.9	15.4	3.9	3.5	4.4
Q6「はい」回答率	99.0	99.0	98.8	95.9	95.1	99.5	98.6	99.0	98.1
Q6「いいえ」回答	1.0	1.0	1.2	4.1	4.9	0.5	1.4	1.0	1.9
Q7 平均値	4.3	4.3	4.4	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3	3.2	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	4.2	4.1	4.4	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.4	4.4	4.6	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q11 平均値	4.2	4.1	4.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.7	4.0
Q12 平均値	4.1	4.0	4.5	3.5	3.5	3.4	3.7	3.5	3.9
Q13 平均値	4.1	4.1	4.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	4.0
有効回答数	399			1,319			5,144		

表 2 学部・学科別平均値（後期実施科目）

学科・専攻	(仏教学部)禅			(仏教学部)仏教			(文学部)国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
Q3 平均値	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3
Q4 平均値	2.8	2.7	3.0	2.8	2.7	3.1	3.1	3.0	3.1
Q5「はい」回答率	94.4	93.8	95.3	94.0	93.2	95.5	97.0	96.3	97.6
Q5「いいえ」回答	5.6	6.2	4.7	6.0	6.8	4.5	3.0	3.7	2.4
Q6「はい」回答率	97.1	97.5	96.6	96.6	96.6	96.5	98.6	98.3	98.9
Q6「いいえ」回答	2.9	2.5	3.4	3.4	3.4	3.5	1.4	1.7	1.1
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1
Q11 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q12 平均値	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6
Q13 平均値	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
有効回答数	1,588			2,594			3,925		

学科・専攻	(文学部)英米文			(文学部)地域文化			(文学部)地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8
Q3 平均値	1.3	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値	3.0	2.8	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4
Q5「はい」回答率	94.1	92.9	95.3	96.2	96.8	95.6	96.3	96.3	96.4
Q5「いいえ」回答	5.9	7.1	4.7	3.8	3.2	4.4	3.7	3.7	3.6
Q6「はい」回答率	97.0	98.3	95.7	97.9	96.6	99.2	98.1	97.6	98.7
Q6「いいえ」回答	3.0	1.7	4.3	2.1	3.4	0.8	1.9	2.4	1.3
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
Q9 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	3.7	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7
Q12 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
有効回答数	4,090			1,472			1,452		

学科・専攻	(文学部)日本史学			(文学部)外国史学			(文学部)考古学		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
Q3 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
Q4 平均値	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	92.8	88.4	96.8	95.0	93.5	95.9	95.4	91.1	98.3
Q5「いいえ」回答	7.2	11.6	3.2	5.0	6.5	4.1	4.6	8.9	1.7
Q6「はい」回答率	97.5	96.1	98.7	95.5	95.9	95.2	97.4	97.3	97.4
Q6「いいえ」回答	2.5	3.9	1.3	4.5	4.1	4.8	2.6	2.7	2.6
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1
Q11 平均値	3.6	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6
Q12 平均値	3.5	3.4	3.6	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.7	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7
有効回答数	3,289			1,812			1,342		

学科・専攻	(文学部)社会学			(文学部)社会福祉学			(文学部)心理		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q2 平均値	3.6	3.6	3.7	4.0	4.0	3.9	3.7	3.6	3.8
Q3 平均値	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	2.9	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0
Q5「はい」回答率	96.6	96.3	96.8	97.4	96.4	98.1	95.9	95.9	95.8
Q5「いいえ」回答	3.4	3.8	3.2	2.6	3.6	1.9	4.1	4.1	4.2
Q6「はい」回答率	98.7	99.1	98.3	96.1	95.6	96.4	99.4	99.7	99.1
Q6「いいえ」回答	1.3	0.9	1.7	3.9	4.4	3.6	0.6	0.3	0.9
Q7 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2
Q9 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q11 平均値	3.6	3.5	3.6	3.9	4.0	3.8	3.6	3.5	3.7
Q12 平均値	3.4	3.4	3.5	3.7	3.8	3.6	3.5	3.4	3.6
Q13 平均値	3.6	3.6	3.7	3.9	4.0	3.8	3.7	3.7	3.7
有効回答数	1,499			1,908			2,063		

学科・専攻	(経済学部)経済A			(経済学部)経済B			(経済学部)商		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6
Q2 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	4.0	3.8	3.7	3.8
Q3 平均値	1.5	1.4	1.5	1.4	1.2	1.6	1.5	1.4	1.5
Q4 平均値	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1	3.4	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	95.5	94.7	96.2	97.0	100.0	95.2	95.1	94.3	95.6
Q5「いいえ」回答	4.5	5.3	3.8	3.0	0.0	4.8	4.9	5.7	4.4
Q6「はい」回答率	97.2	96.3	98.0	98.0	97.3	98.4	96.2	94.7	97.3
Q6「いいえ」回答	2.8	3.7	2.0	2.0	2.7	1.6	3.8	5.3	2.7
Q7 平均値	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.0
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
Q9 平均値	3.7	3.6	3.9	4.0	3.8	4.0	3.7	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	3.9	4.0	4.2	4.1	4.2	4.0	3.9	4.0
Q11 平均値	3.6	3.5	3.7	3.9	3.6	4.2	3.6	3.6	3.7
Q12 平均値	3.5	3.4	3.6	3.9	3.4	4.2	3.5	3.4	3.6
Q13 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	3.8	4.1	3.6	3.6	3.7
有効回答数	6,998			99			4,402		

学科・専攻	(経済学部)現代応用経済			(法学部)法律A			(法学部)法律B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
Q2 平均値	3.9	3.8	4.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8
Q3 平均値	1.6	1.5	1.6	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.1	3.0	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	2.9	3.3
Q5「はい」回答率	95.9	96.0	95.8	94.6	95.2	93.9	94.6	94.2	94.9
Q5「いいえ」回答	4.1	4.0	4.2	5.4	4.8	6.1	5.4	5.8	5.1
Q6「はい」回答率	95.8	93.7	97.7	96.5	97.4	95.6	96.4	96.8	96.0
Q6「いいえ」回答	4.2	6.3	2.3	3.5	2.6	4.4	3.6	3.2	4.0
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.2
Q9 平均値	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.8
Q12 平均値	3.6	3.4	3.7	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.8
有効回答数	2,481			6,935			2,644		

学科・専攻	(法学部)政治			(経営学部)経営A			(経営学部)経営B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.5	4.3
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.2	3.3	3.1	3.1	3.0	3.2	3.4	3.2	3.6
Q5「はい」回答率	96.5	96.8	96.3	94.3	94.9	93.6	96.0	97.6	94.6
Q5「いいえ」回答	3.5	3.2	3.7	5.7	5.1	6.4	4.0	2.4	5.4
Q6「はい」回答率	96.9	98.2	95.8	96.9	97.8	96.0	96.0	98.8	93.5
Q6「いいえ」回答	3.1	1.8	4.2	3.1	2.2	4.0	4.0	1.2	6.5
Q7 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
Q10 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0
Q11 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.8
Q12 平均値	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.8
有効回答数	5,124			5,717			177		

学科・専攻	(経営学科)市場戦略			(医療健康科学部)			(GMS学部)		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.5	4.5	4.6	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	3.7	3.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.0	4.1
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.0	2.9	3.1	2.2	2.2	2.2	3.4	3.6	3.2
Q5「はい」回答率	94.2	92.3	96.4	96.9	97.2	95.8	96.8	95.9	97.5
Q5「いいえ」回答	5.8	7.7	3.6	3.1	2.8	4.2	3.2	4.1	2.5
Q6「はい」回答率	96.6	96.2	97.1	95.8	98.0	88.1	97.7	98.2	97.3
Q6「いいえ」回答	3.4	3.8	2.9	4.2	2.0	11.9	2.3	1.8	2.7
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	3.9	3.9	3.7	4.2	4.2	4.2
Q8 平均値	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.4	3.5	3.4
Q9 平均値	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	3.5	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	3.7	4.2	4.2	4.1
Q11 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.7	3.4	3.9	3.9	3.9
Q12 平均値	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.3	3.8	3.7	3.8
Q13 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.4	3.9	3.9	3.9
有効回答数	3,554			2,441			5,649		

表 3 学部・学科別平均値 (全体)

学科・専攻	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
Q3 平均値	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3
Q4 平均値	2.9	2.8	3.0	2.9	2.7	3.2	3.2	3.2	3.2
Q5「はい」回答率	94.6	94.1	95.4	94.2	93.4	95.8	97.0	96.3	97.5
Q5「いいえ」回答	5.4	5.9	4.6	5.8	6.6	4.2	3.0	3.7	2.5
Q6「はい」回答率	97.3	97.7	96.8	96.9	96.9	96.8	98.7	98.4	99.0
Q6「いいえ」回答	2.7	2.3	3.2	3.1	3.1	3.2	1.3	1.6	1.0
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.9	3.8	4.1	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.1
Q11 平均値	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
Q12 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
Q13 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
有効回答数	1,753			2,867			4,543		

学科・専攻	(文学部)英米文			(文学部)地域文化			(文学部)地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9
Q3 平均値	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値	3.1	2.9	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4
Q5「はい」回答率	94.5	93.5	95.5	96.6	97.3	95.6	96.4	96.3	96.4
Q5「いいえ」回答	5.5	6.5	4.5	3.4	2.7	4.4	3.6	3.7	3.6
Q6「はい」回答率	97.3	98.5	96.0	97.6	96.4	99.1	98.0	97.6	98.4
Q6「いいえ」回答	2.7	1.5	4.0	2.4	3.6	0.9	2.0	2.4	1.6
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2
Q9 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
Q12 平均値	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
有効回答数	4,546			1,738			1,738		

学科・専攻	(文学部)日本史学			(文学部)外国史学			(文学部)考古学		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
Q3 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.2	1.3
Q4 平均値	3.3	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	93.2	89.5	96.6	95.2	94.1	96.0	95.8	92.6	98.1
Q5「いいえ」回答	6.8	10.5	3.4	4.8	5.9	4.0	4.2	7.4	1.9
Q6「はい」回答率	97.7	96.6	98.7	96.1	96.5	95.9	97.6	97.8	97.4
Q6「いいえ」回答	2.3	3.4	1.3	3.9	3.5	4.1	2.4	2.2	2.6
Q7 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1
Q11 平均値	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7
Q12 平均値	3.6	3.5	3.6	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.7
有効回答数	3,863			2,146			1,547		

学科・専攻	(文学部)社会学			(文学部)社会福祉学			(文学部)心理		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q2 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	3.8
Q3 平均値	1.3	1.2	1.3	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	3.0	3.0	3.1	3.3	3.3	3.3	3.1	3.1	3.1
Q5「はい」回答率	96.3	96.0	96.7	97.6	97.0	98.1	95.5	95.5	95.6
Q5「いいえ」回答	3.7	4.0	3.3	2.4	3.0	1.9	4.5	4.5	4.4
Q6「はい」回答率	97.8	97.2	98.4	96.1	96.0	96.2	99.4	99.7	99.1
Q6「いいえ」回答	2.2	2.8	1.6	3.9	4.0	3.8	0.6	0.3	0.9
Q7 平均値	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2
Q9 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	3.6	3.4	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	3.6	3.8
Q12 平均値	3.5	3.4	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.7	3.9	4.0	3.9	3.7	3.7	3.7
有効回答数	2,187			2,719			2,341		

学科・専攻	(経済学部)経済A			(経済学部)経済B			(経済学部)商		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7
Q2 平均値	3.9	3.8	3.9	3.8	3.6	4.0	3.8	3.8	3.9
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.2	1.6	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.2	3.1	3.2	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	95.0	93.9	96.0	96.4	97.8	95.5	94.6	93.5	95.5
Q5「いいえ」回答	5.0	6.1	4.0	3.6	2.2	4.5	5.4	6.5	4.5
Q6「はい」回答率	97.5	96.7	98.2	98.2	97.8	98.5	96.8	95.8	97.7
Q6「いいえ」回答	2.5	3.3	1.8	1.8	2.2	1.5	3.2	4.2	2.3
Q7 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
Q9 平均値	3.8	3.6	3.9	4.0	3.8	4.1	3.8	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.0	4.0	4.0
Q11 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	3.7	4.2	3.7	3.6	3.7
Q12 平均値	3.6	3.5	3.7	3.9	3.5	4.2	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	3.8	4.2	3.7	3.6	3.7
有効回答数	9,172			113			6,117		

学科・専攻	(経済学部)現代応用経済			(法学部)法律A			(法学部)法律B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
Q2 平均値	3.9	3.9	4.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.1	3.0	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	2.9	3.4
Q5「はい」回答率	95.4	96.0	94.6	94.6	95.1	94.0	94.5	94.1	94.9
Q5「いいえ」回答	4.6	4.0	5.4	5.4	4.9	6.0	5.5	5.9	5.1
Q6「はい」回答率	96.7	95.8	97.9	96.7	97.6	95.8	96.4	96.7	96.1
Q6「いいえ」回答	3.3	4.2	2.1	3.3	2.4	4.2	3.6	3.3	3.9
Q7 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.4	3.4	3.4	3.3	3.4	3.2	3.3	3.5	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.8
Q12 平均値	3.6	3.5	3.7	3.5	3.4	3.5	3.5	3.3	3.7
Q13 平均値	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.8
有効回答数	4,088			7,601			2,906		

学科・専攻	(法学部)政治			(経営学部)経営A			(経営学部)経営B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.4
Q2 平均値	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.6	1.5	1.6
Q4 平均値	3.3	3.4	3.2	3.2	3.1	3.3	3.4	3.2	3.6
Q5「はい」回答率	96.3	96.8	96.0	94.3	94.8	93.8	96.4	97.8	95.1
Q5「いいえ」回答	3.7	3.2	4.0	5.7	5.2	6.2	3.6	2.2	4.9
Q6「はい」回答率	97.0	98.3	95.9	97.1	97.9	96.3	96.4	98.9	94.1
Q6「いいえ」回答	3.0	1.7	4.1	2.9	2.1	3.7	3.6	1.1	5.9
Q7 平均値	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1
Q11 平均値	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9
Q12 平均値	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6	3.6	3.7
Q13 平均値	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9
有効回答数	5,825			6,416			197		

学科・専攻	(経営学科)市場戦略			(医療健康科学部)			(GMS学部)		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.5	4.6	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	3.8	4.0	3.9	4.2
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.7
Q4 平均値	3.1	3.0	3.1	2.2	2.1	2.2	3.1	3.3	3.0
Q5「はい」回答率	94.2	92.3	96.4	96.3	97.2	92.5	96.3	96.3	96.3
Q5「いいえ」回答	5.8	7.7	3.6	3.7	2.8	7.5	3.7	3.7	3.7
Q6「はい」回答率	96.9	96.6	97.2	95.8	97.0	91.4	98.0	98.7	97.4
Q6「いいえ」回答	3.1	3.4	2.8	4.2	3.0	8.6	2.0	1.3	2.6
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	3.9	3.9	3.8	4.2	4.2	4.2
Q8 平均値	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	3.8	3.8	3.9	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2
Q11 平均値	3.7	3.6	3.9	3.6	3.7	3.5	3.8	3.7	4.0
Q12 平均値	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.4	3.7	3.6	3.8
Q13 平均値	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.4	3.9	3.8	4.0
有効回答数	3,953			3,760			11,040		

Ⅱ. 学年別平均値

表 4 は、アンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。学年別平均値を見ると、全学の平均値は学年ごとに大差がないと分かる。Q 3 の予習・復習時間を増やすことにより Q 1 2 の理解度の平均値をあげることを期待したい。

表 4 学年別平均値（前期実施科目）

	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q1 平均値	4.8	4.8	4.7	4.5	4.8
Q2 平均値	4.2	3.9	3.9	4.0	4.1
Q3 平均値	1.5	1.4	1.4	1.5	1.7
Q4 平均値	2.7	3.4	3.6	3.7	3.7
Q5「はい」回答率	95.1	95.7	96.3	95.5	95.7
Q5「いいえ」回答率	4.9	4.3	3.7	4.5	4.3
Q6「はい」回答率	97.9	98.5	98.7	98.6	96.8
Q6「いいえ」回答率	2.1	1.5	1.3	1.4	3.2
Q7 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2
Q8 平均値	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3
Q9 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0
Q10 平均値	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	3.8	3.8	3.9	4.0
Q12 平均値	3.8	3.7	3.6	3.8	3.9
Q13 平均値	3.9	3.8	3.8	4.0	3.9
Q14 平均値	3.9	3.4	3.4	3.8	3.4
Q15 平均値	3.7	3.1	3.7	3.4	3.7
Q16 平均値	3.6	3.2	3.4	3.7	3.6
有効回答数	7,696	6,168	3,482	1,977	98

表 5 学年別平均値（後期実施科目）

	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q1 平均値	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	4.2
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.9
Q4 平均値	2.8	3.1	3.5	3.5	3.8
Q5「はい」回答率	95.4	95.6	95.0	95.3	93.2
Q5「いいえ」回答率	4.6	4.4	5.0	4.7	6.8
Q6「はい」回答率	96.8	97.4	97.0	97.0	96.5
Q6「いいえ」回答率	3.2	2.6	3.0	3.0	3.5
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.4
Q11 平均値	3.6	3.7	3.7	3.9	4.2
Q12 平均値	3.5	3.5	3.6	3.7	4.0
Q13 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	4.2
Q14 平均値	3.6	3.6	3.4	3.7	3.4
Q15 平均値	3.5	3.6	3.4	3.6	2.9
Q16 平均値	3.4	3.4	3.2	3.5	3.3
有効回答数	26,479	25,129	14,724	6,099	329

Ⅲ. 入試形態別平均値

表 6、7 はアンケートの質問項目の入試形態別平均値を示したものである。入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために、留学生特別入試、帰国生特別入試での入学者が比較的予習・復習時間が多く、Q 1 2 の授業の理解度も高い数値を出している。

表 6 入試形態別平均値（前期実施科目）

	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.9	4.8
Q2 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	4.3	4.0	4.0	4.4	4.0
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.5	1.9	1.8	1.6	1.7	1.5
Q4 平均値	3.1	3.1	3.2	3.4	3.1	3.2	3.4	3.0	3.2	3.5	3.2
Q5「はい」回答率	95.3	94.8	96.8	94.7	96.1	95.5	96.2	97.6	97.2	96.8	95.6
Q5「いいえ」回答率	4.7	5.2	3.2	5.3	3.9	4.5	3.8	2.4	2.8	3.2	4.4
Q6「はい」回答率	98.3	98.6	98.5	97.5	99.2	97.7	98.9	100.0	99.1	96.8	98.0
Q6「いいえ」回答率	1.7	1.4	1.5	2.5	0.8	2.3	1.1	0.0	0.9	3.2	2.0
Q7 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.4	4.2	4.3	4.4	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.4	3.1	3.4
Q9 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	3.9	4.0	4.2	3.8
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.3	4.4	4.5	4.0
Q11 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	3.9	4.3	3.6
Q12 平均値	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	4.3	4.0	3.8	4.2	3.6
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.2	4.1	4.0	4.1	3.7
Q14 平均値	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	2.0	4.1	3.8	3.5
Q15 平均値	3.4	3.2	3.3	3.5	3.4	3.6	3.3	2.0	3.0	4.2	3.9
Q16 平均値	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	2.0	-	4.2	3.5
有効回答数	7,246	956	1,327	404	806	1,027	267	42	107	64	797

表 7 入試形態別平均値（後期実施科目）

	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.8	4.6	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	3.9	4.0	3.8
Q3 平均値	1.3	1.4	1.4	1.7	1.4	1.5	1.8	2.3	1.4	1.5	1.4
Q4 平均値	3.1	3.2	3.2	3.0	3.1	3.1	3.4	3.5	3.1	3.3	3.1
Q5「はい」 回答率	95.2	95.5	95.3	95.8	95.7	95.9	97.4	91.7	92.8	95.0	95.0
Q5「いいえ」 回答率	4.8	4.5	4.7	4.2	4.3	4.1	2.6	8.3	7.2	5.0	5.0
Q6「はい」 回答率	97.2	97.2	96.9	96.6	97.0	97.4	97.8	95.8	96.1	96.6	97.0
Q6「いいえ」 回答率	2.8	2.8	3.1	3.4	3.0	2.6	2.2	4.2	3.9	3.4	3.0
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0
Q8 平均値	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.5	3.2	3.2	3.3
Q9 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.0	3.7
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	3.9
Q11 平均値	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0	3.9	3.9	3.5
Q12 平均値	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.8	4.1	3.8	3.7	3.4
Q13 平均値	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0	3.8	3.9	3.6
Q14 平均値	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.2	4.1	3.3	3.6	3.4
Q15 平均値	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.3	4.2	3.5	3.9	3.4
Q16 平均値	3.4	3.5	3.5	3.3	3.2	3.4	3.1	3.9	3.5	3.6	3.2
有効回答数	25,074	3,756	4,642	1,404	2,456	3,065	584	121	366	324	4,386

IV. 記名別平均値

授業改善に対する学生の誠実、真剣な意見・要望を集約できるようにするために、学生が記名式か無記名式かを選択できるようにした。記名する学生は、記名することによって不利になるようなことがない学生であると考えられる。学生がもっと真剣にアンケートに答えるよう今後分析結果方法に改善の余地があると思われる。

表 8 記名の有無別の平均値（前期実施科目）

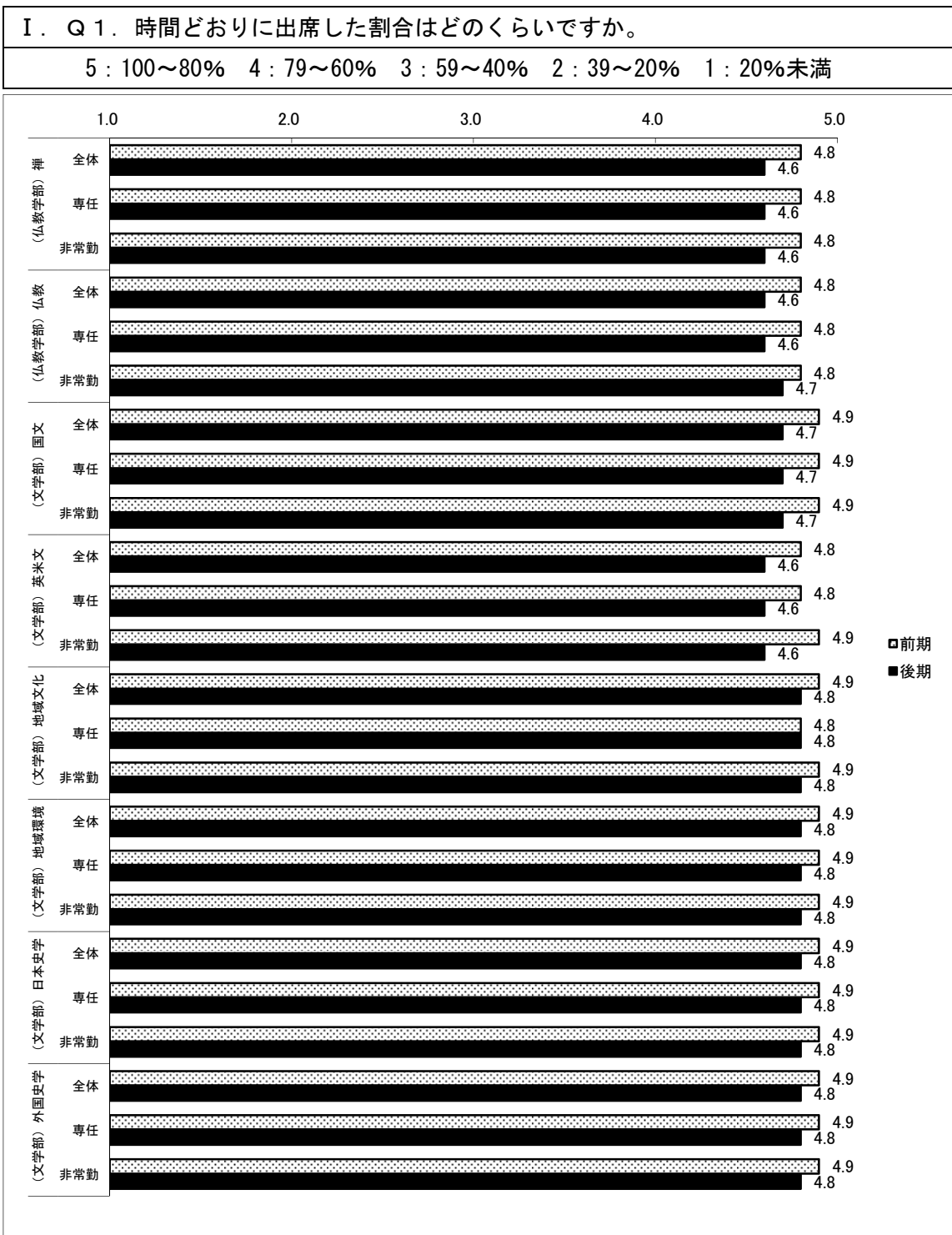
	記入無し	記入有り
Q1 平均値	4.7	4.8
Q2 平均値	4.0	4.3
Q3 平均値	1.5	1.5
Q4 平均値	3.2	3.0
Q5「はい」回答率	95.3	96.4
Q5「いいえ」回答率	4.7	3.6
Q6「はい」回答率	98.2	98.7
Q6「いいえ」回答率	1.8	1.3
Q7 平均値	4.1	4.3
Q8 平均値	3.4	3.3
Q9 平均値	3.9	4.1
Q10 平均値	4.1	4.4
Q11 平均値	3.8	4.2
Q12 平均値	3.7	4.0
Q13 平均値	3.8	4.1
Q14 平均値	3.6	4.1
Q15 平均値	3.4	3.7
Q16 平均値	3.4	3.8
有効回答数	16,725	3,401

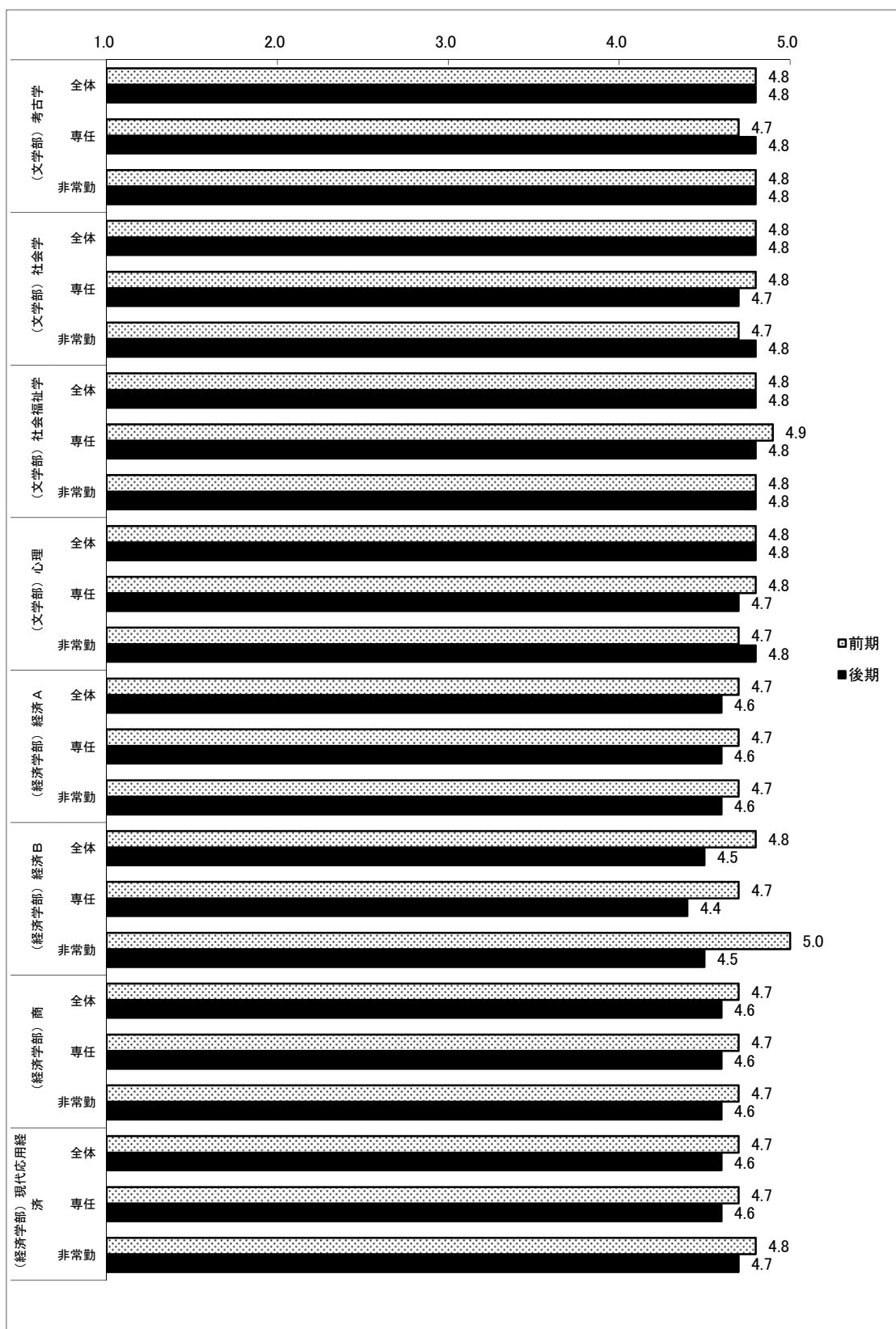
表 9 記名の有無別の平均値（後期実施科目）

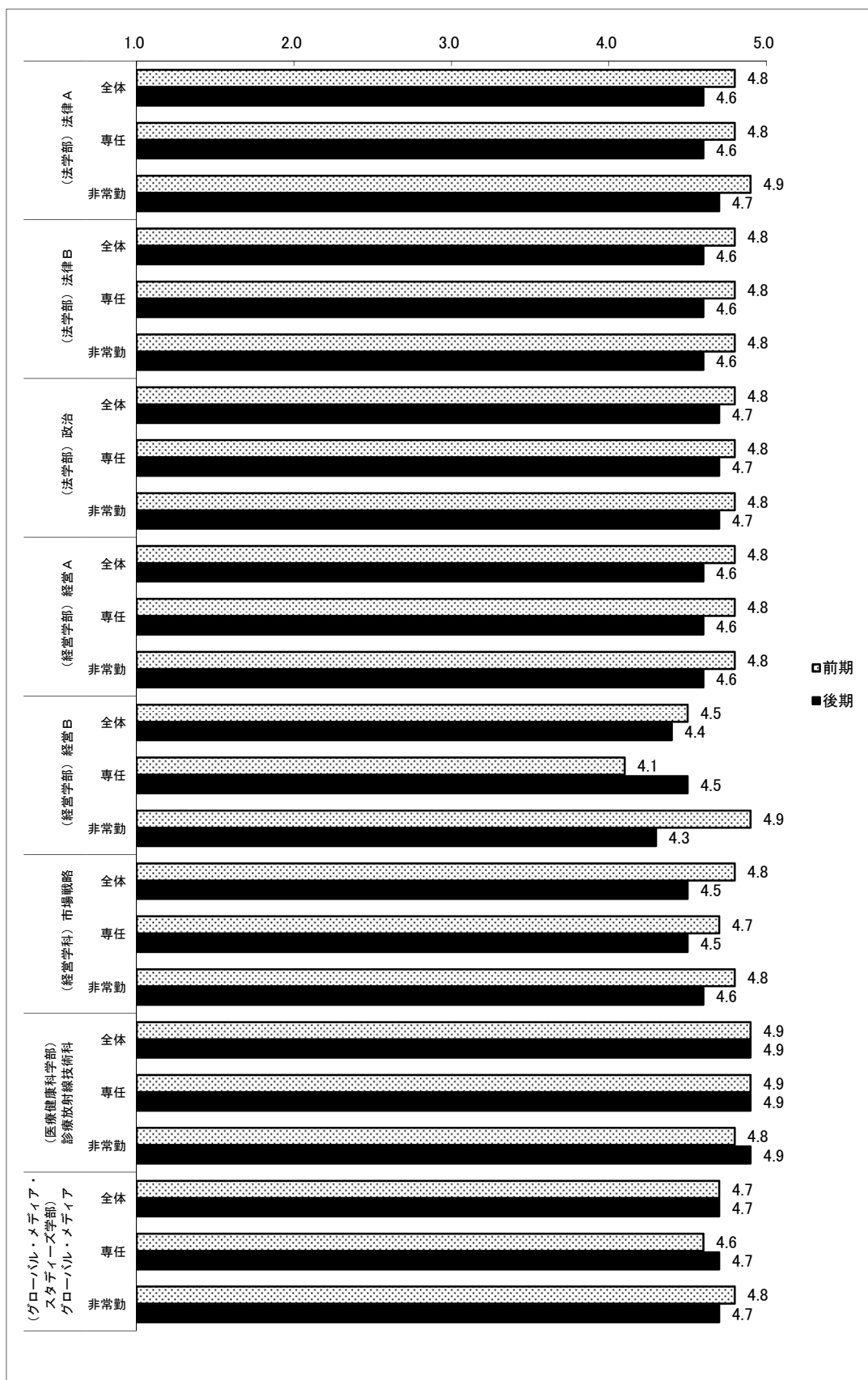
	記入無し	記入有り
Q1 平均値	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	4.0
Q3 平均値	1.4	1.5
Q4 平均値	3.1	3.2
Q5「はい」回答率	95.3	95.9
Q5「いいえ」回答率	4.7	4.1
Q6「はい」回答率	97.0	97.5
Q6「いいえ」回答率	3.0	2.5
Q7 平均値	4.0	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3
Q9 平均値	3.8	4.0
Q10 平均値	4.0	4.2
Q11 平均値	3.7	3.9
Q12 平均値	3.5	3.8
Q13 平均値	3.7	3.9
Q14 平均値	3.5	3.8
Q15 平均値	3.5	3.7
Q16 平均値	3.3	3.7
有効回答数	67,473	7,910

(4) 受講生の講義への取り組み

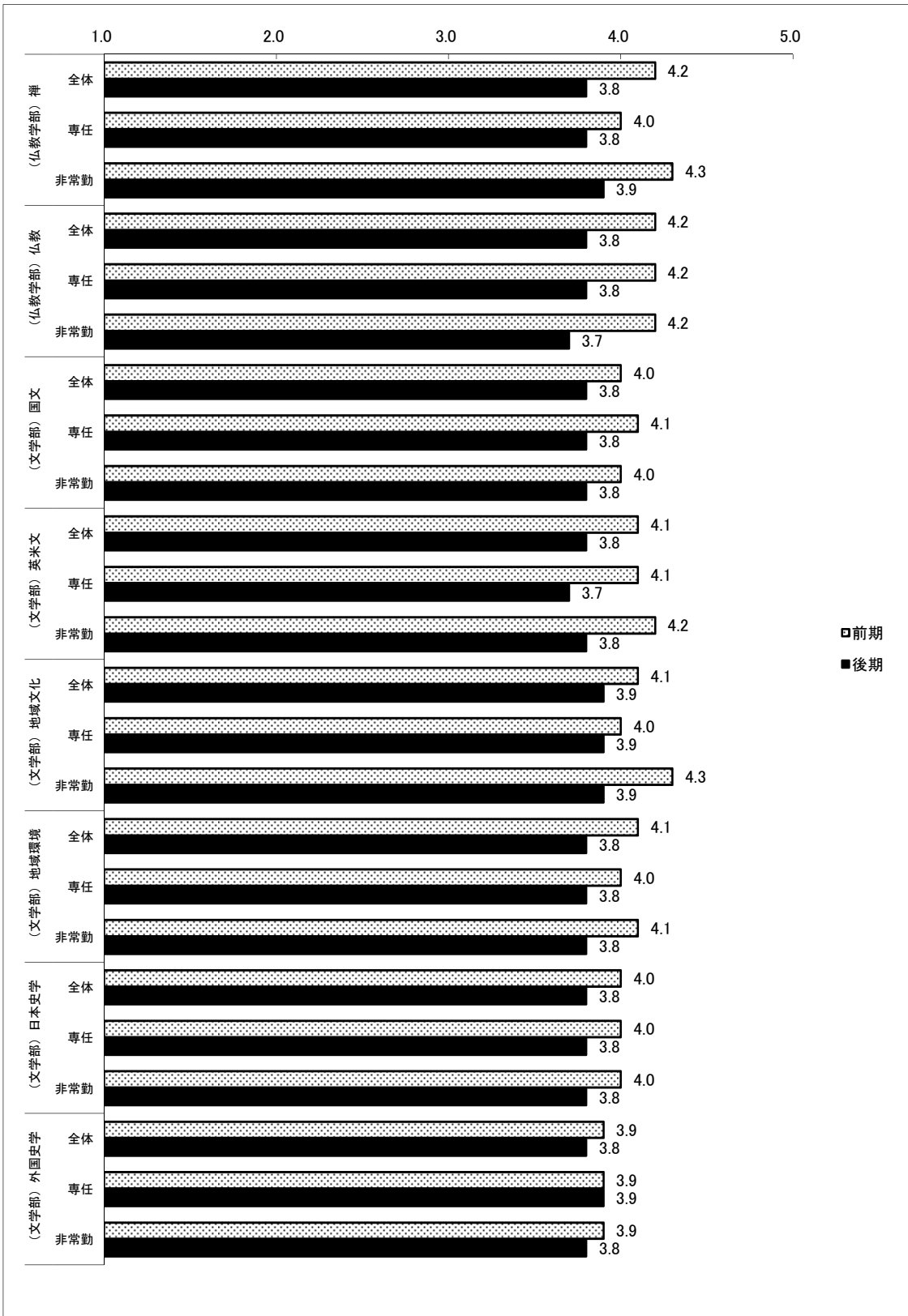
「受講生の講義への取り組み」に関しては、(3) 項目別平均値における学部・学科別の全体・専任・非常勤別平均値を提示している。なお、各グラフには前期実施科目と後期実施科目の平均値を掲載している。各アンケート項目は5段階評価で、ポイントが大きいほど良い評価となっている。

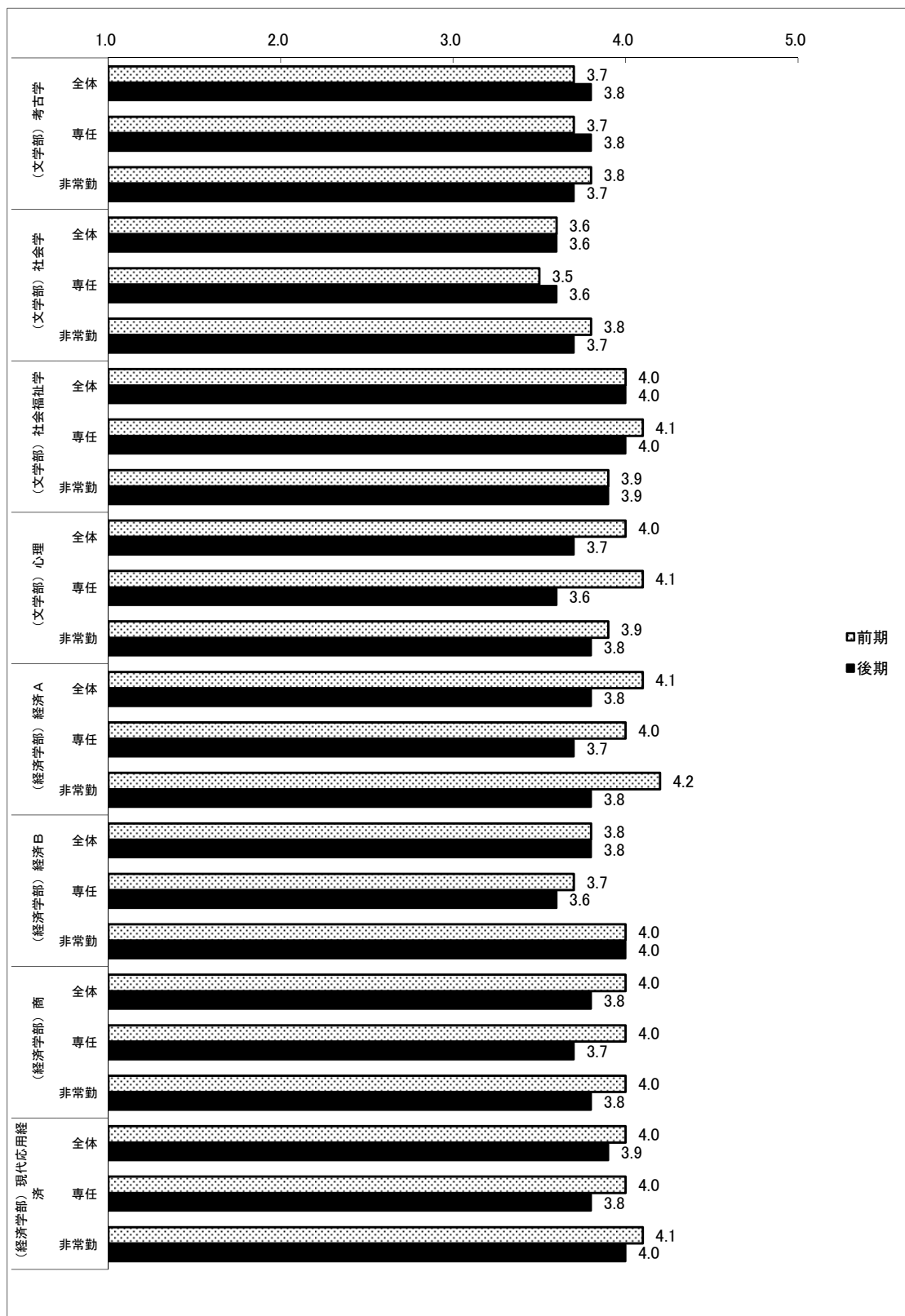


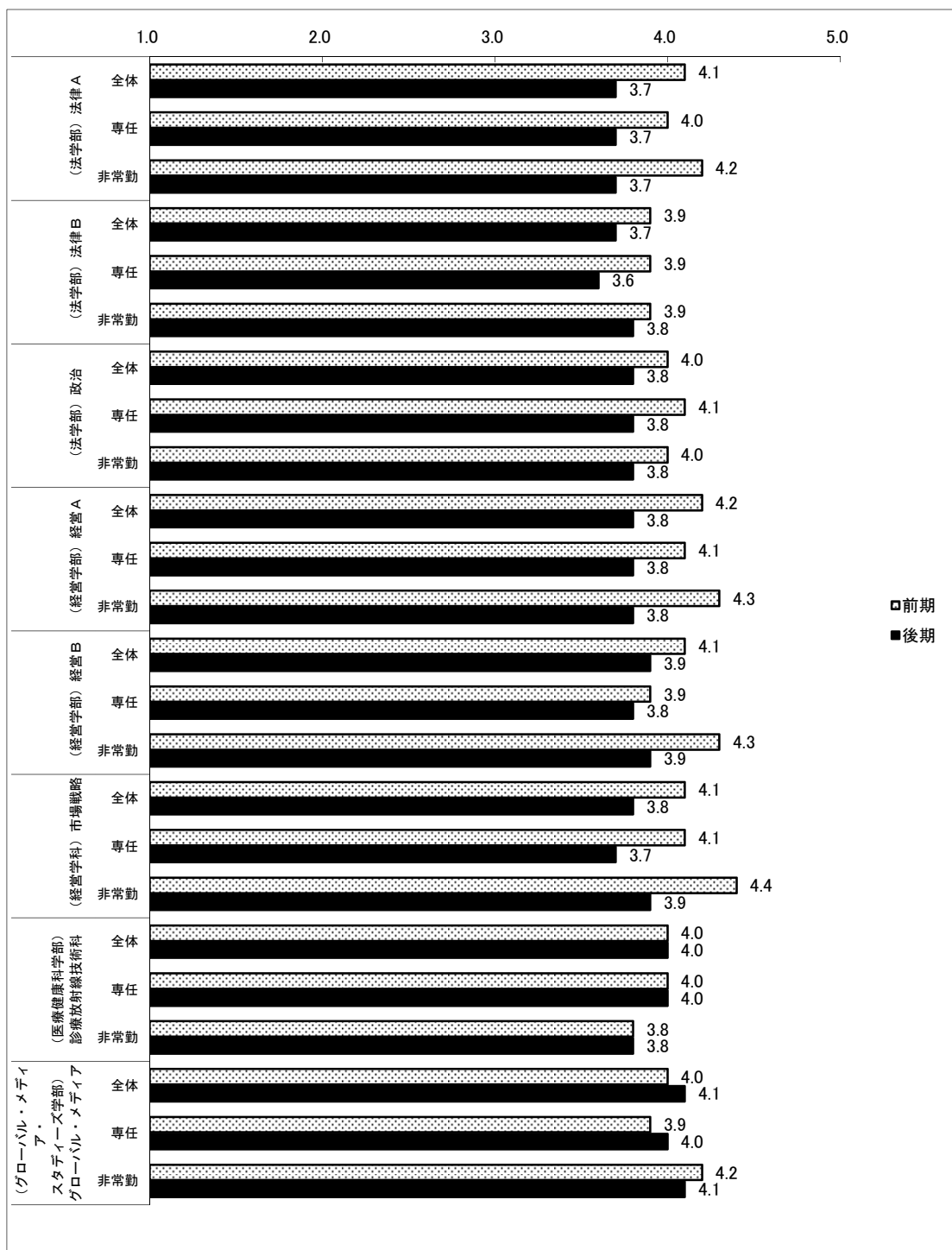




Ⅱ. Q2. 授業に熱心に取り組みましたか。
 5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない 1: 全くそう思わない



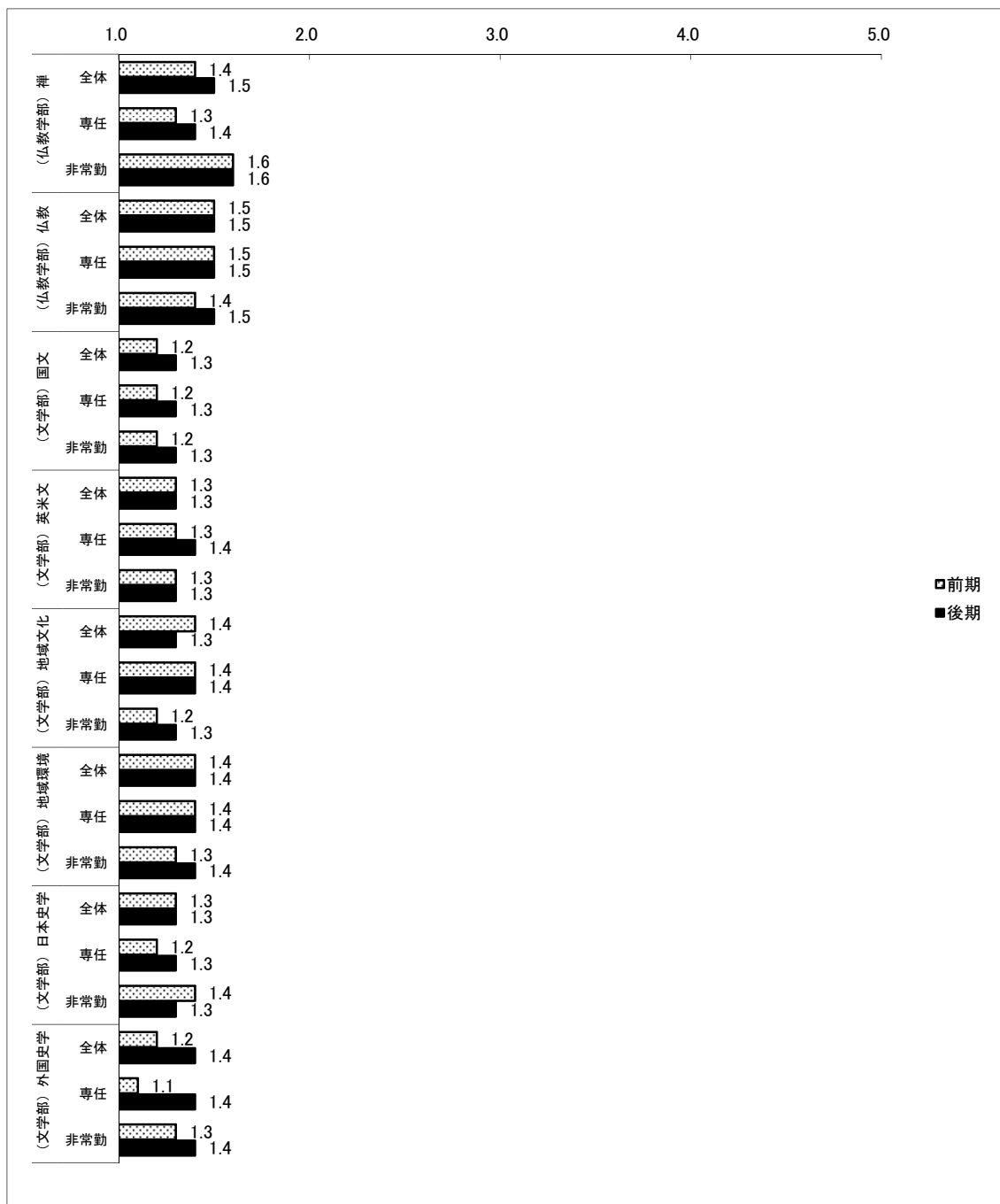


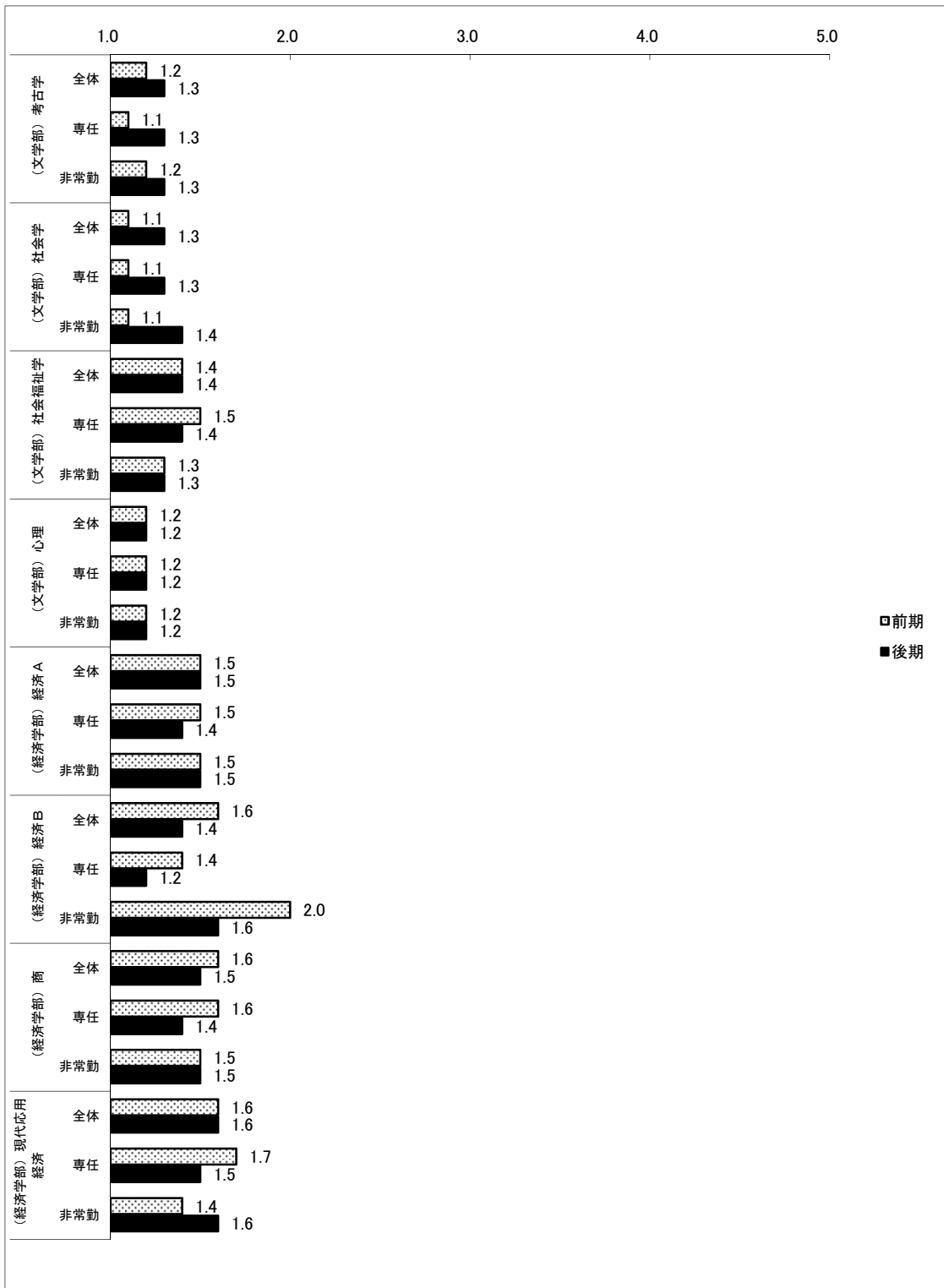


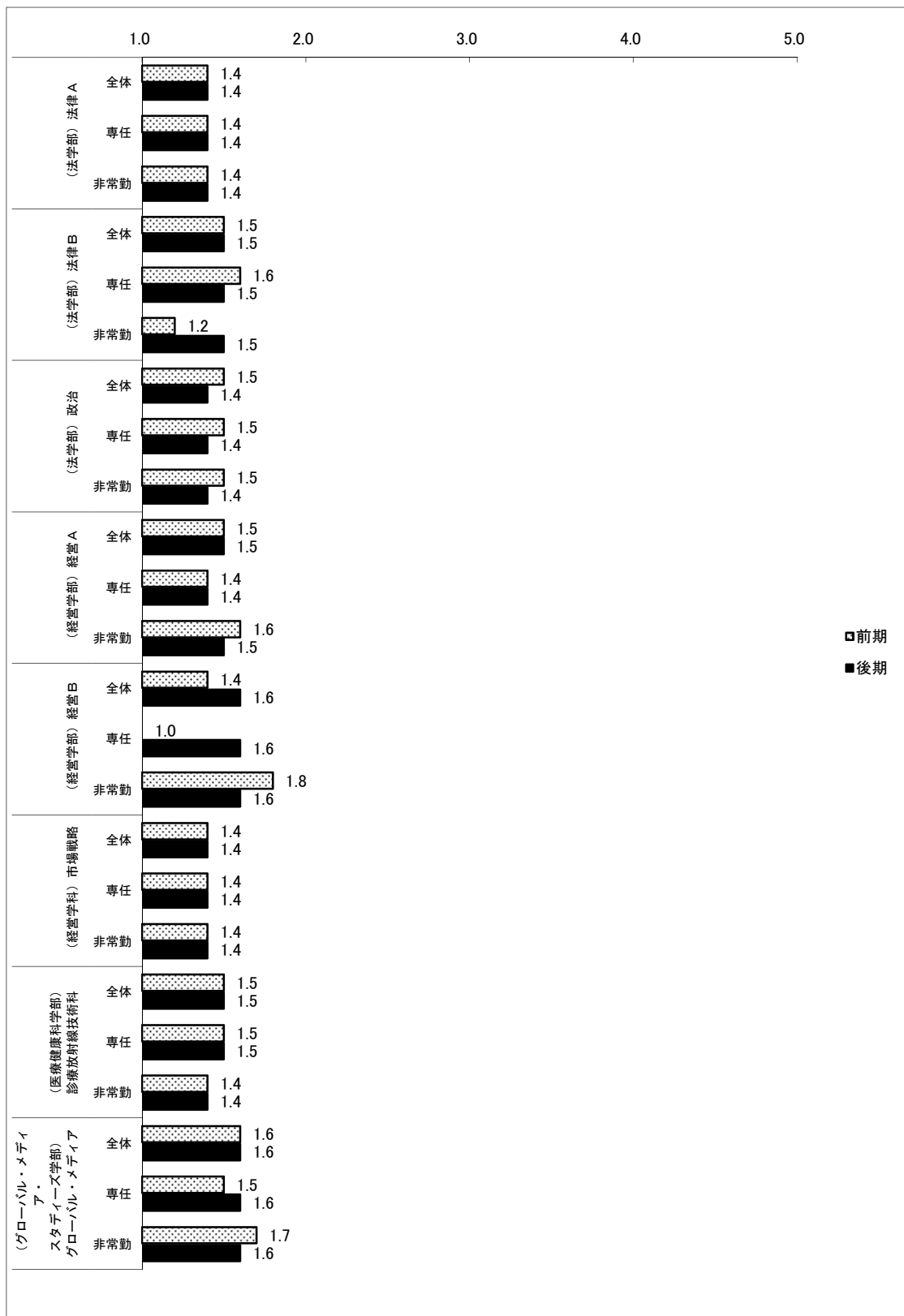
Ⅲ. Q3. この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいでしたか。

5 : 5 時間以上 4 : 約 4 時間 3 : 約 3 時間 2 : 約 2 時間 1 : 1 時間未満

昨年度と同様、ほとんどの学科において 1 ポイント台であり、受講科目について週に 1 時間前後しか授業時間以外で学習を行っていないことがわかる。







(5) 授業についての評価

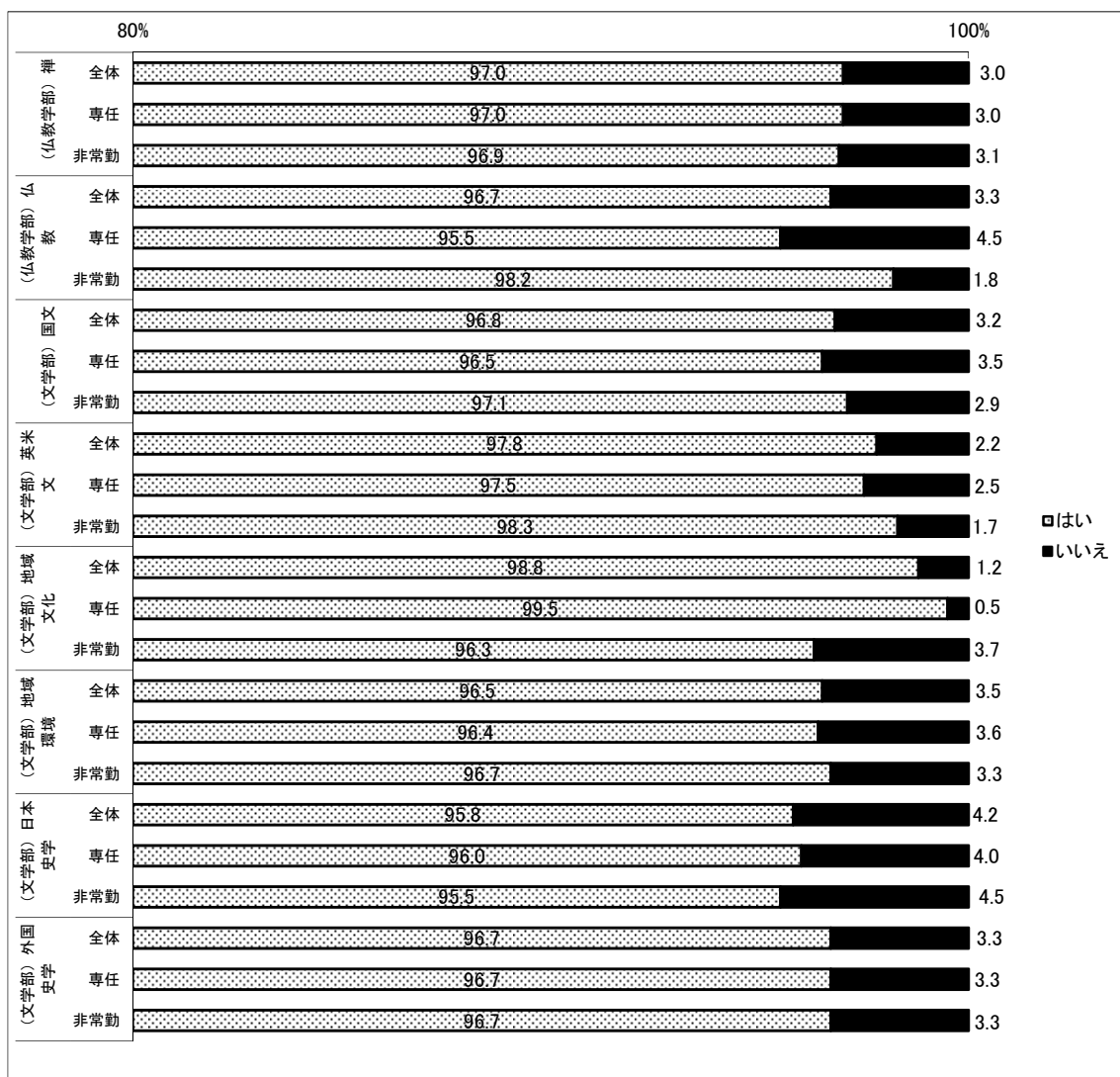
「授業についての評価」に関しては、(3) 項目別平均値における学部・学科、専任・非常勤別平均値に基づき、授業の開始時刻・終了時刻 (Q 5)、休講 (Q 6)、授業の進み方 (Q 7)、教材・資料・機材等の使い方 (Q 8)、授業に対する教員の取り組みについて (Q 9)、授業の教え方のわかりやすさ (Q 10)、授業内容の理解度 (Q 11)、授業で受けた知的刺激に対する満足度 (Q 12) を検討した。Q 5 と Q 6 の評価項目は、はい・いいえの 2 段階であり、回答の割合を掲載している。Q 7～Q 12 の評価は 5 段階評価であり、前期実施科目と後期実施科目の平均値を掲載している。ポイントが大きいほど良い評価となっている。

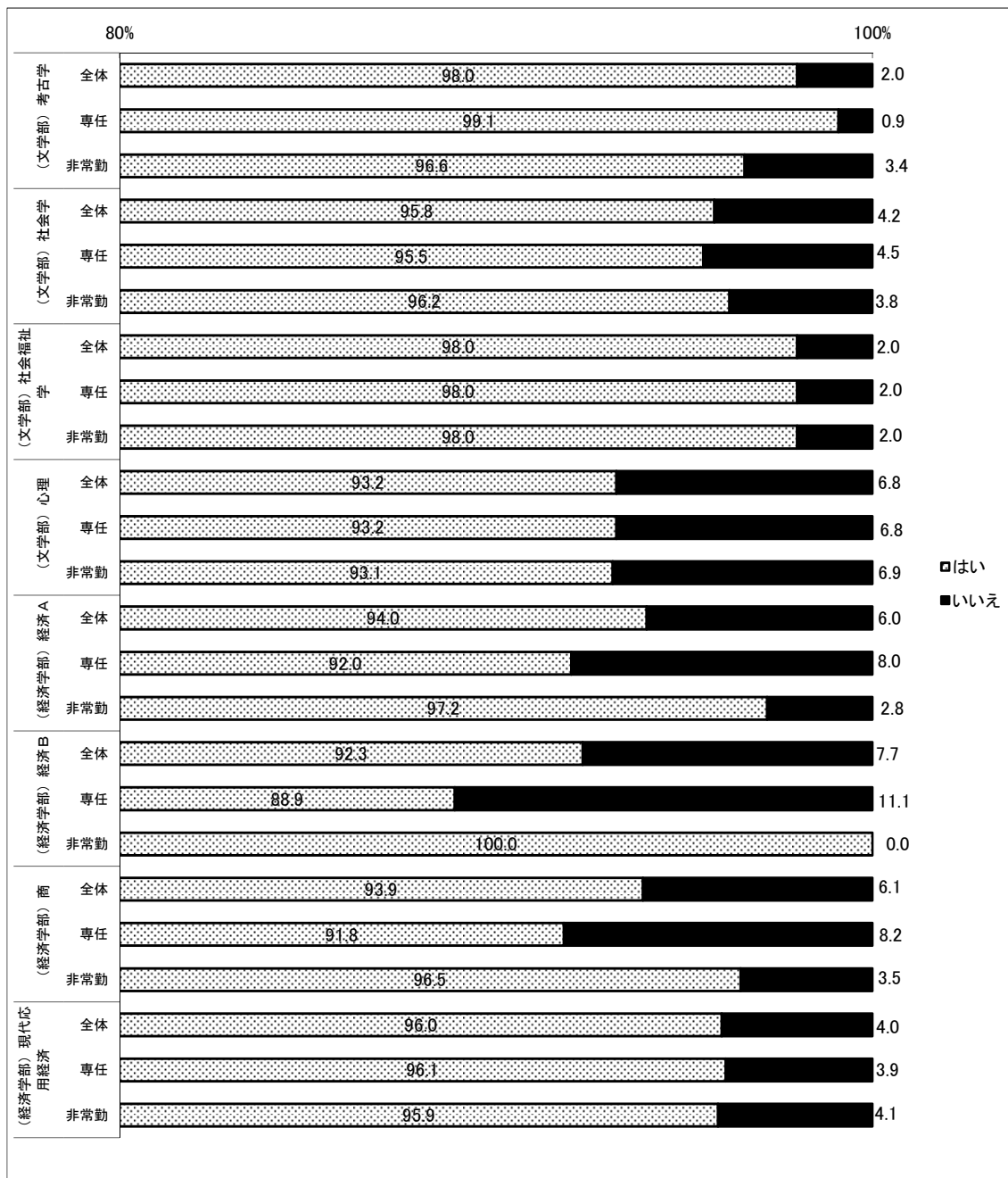
I. Q 5. 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。

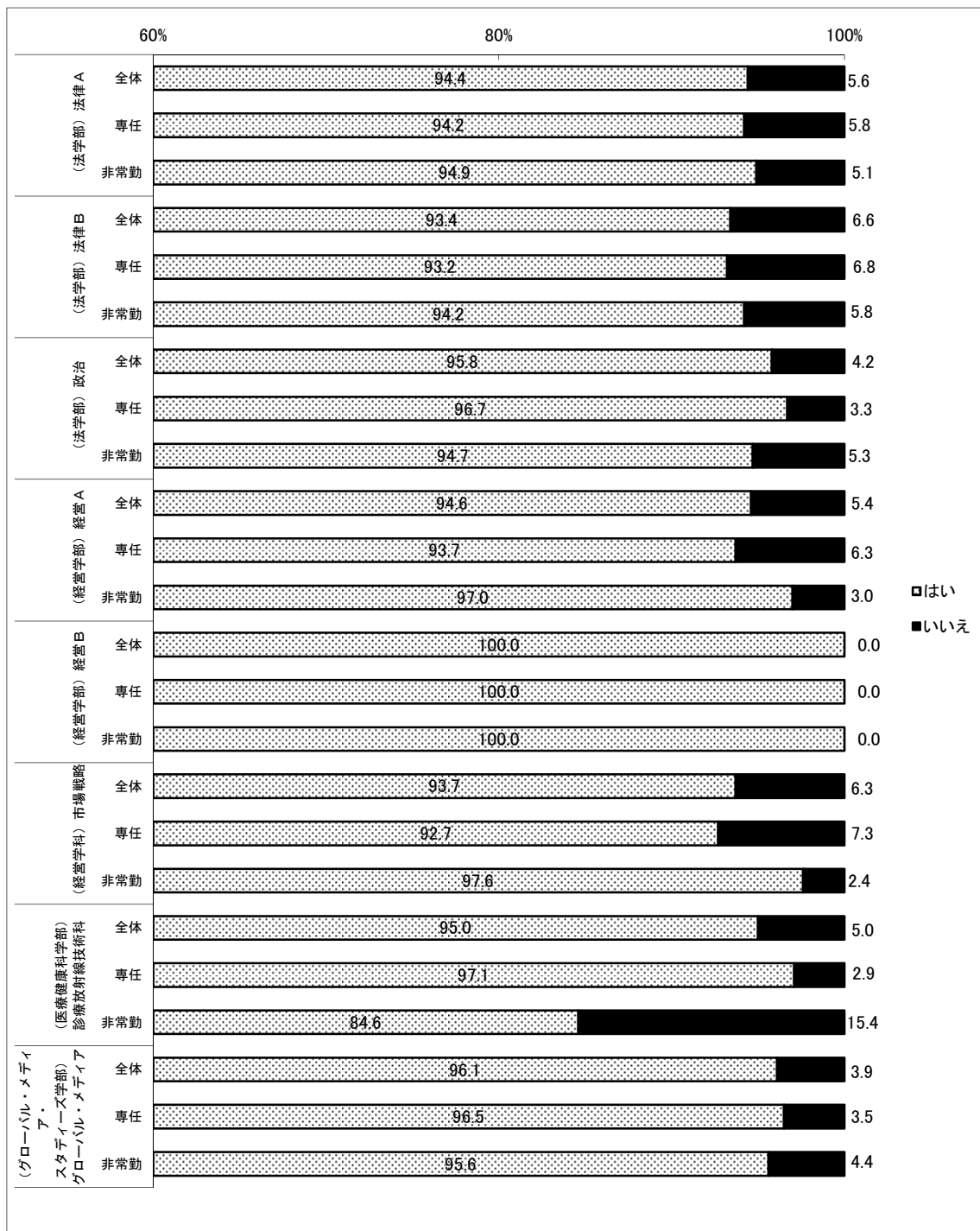
2: はい 1: いいえ

ほとんどの学科において、教員が授業の開始時刻・終了時刻を守っていたことがわかる。

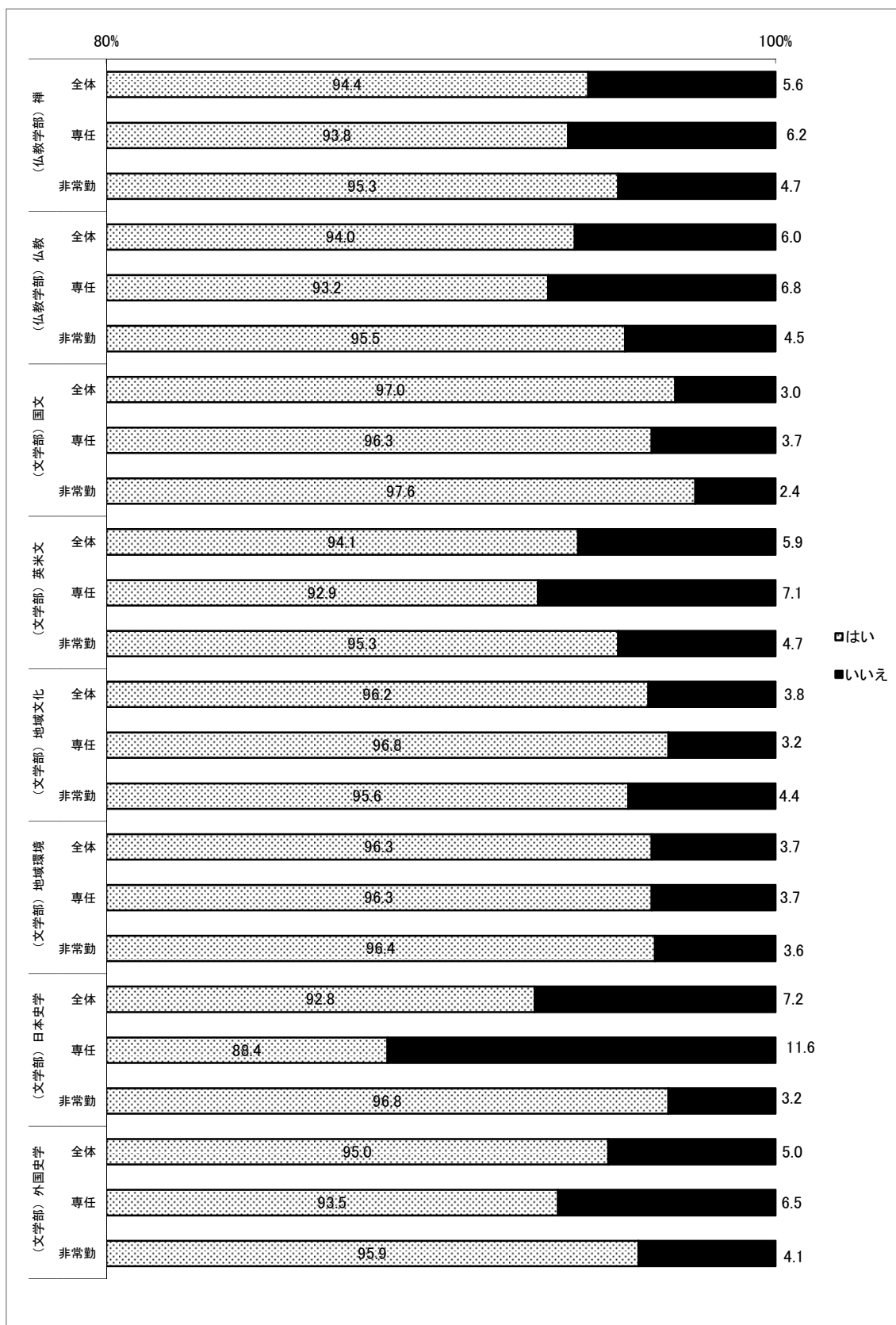
【前期実施科目】

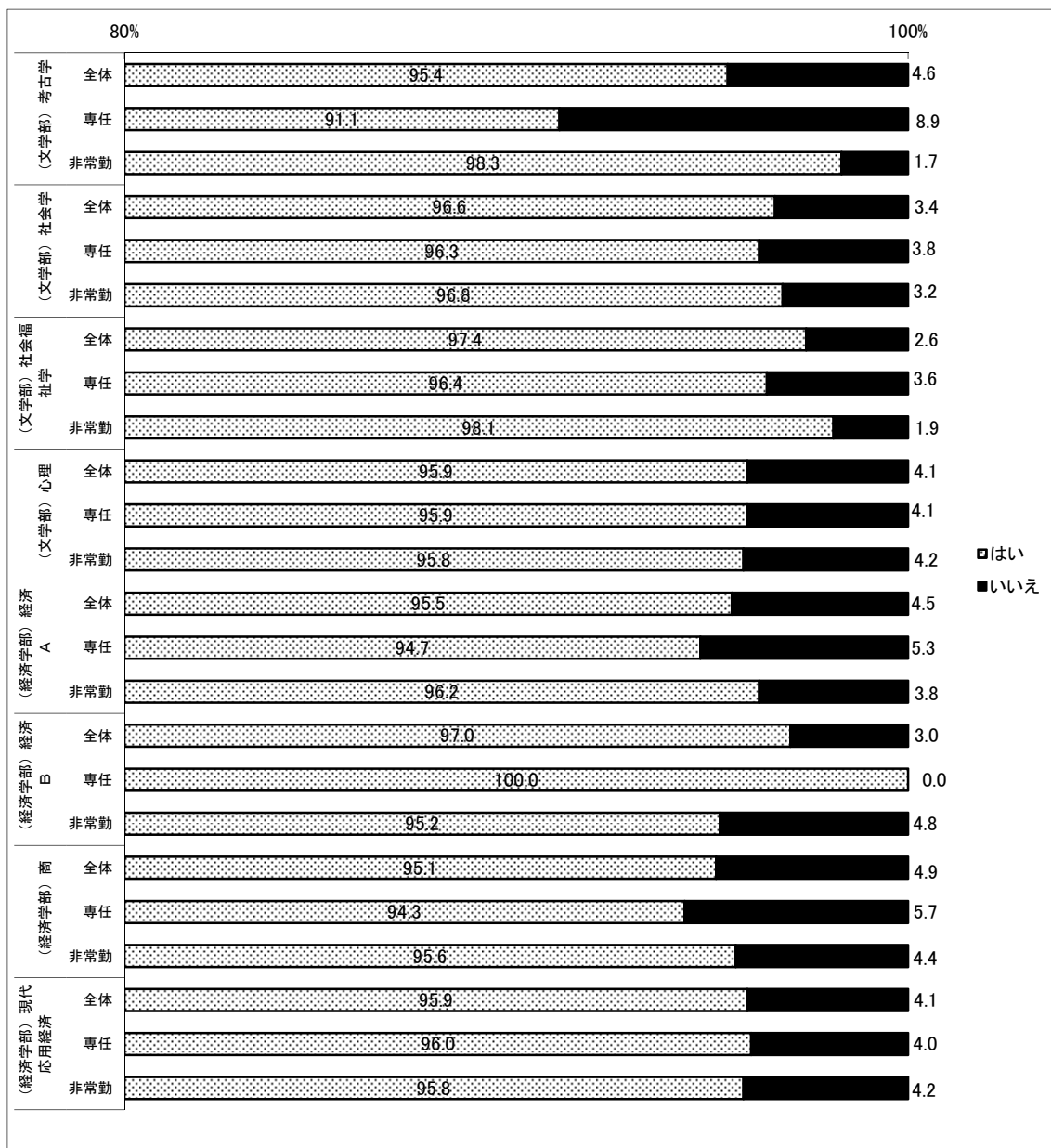


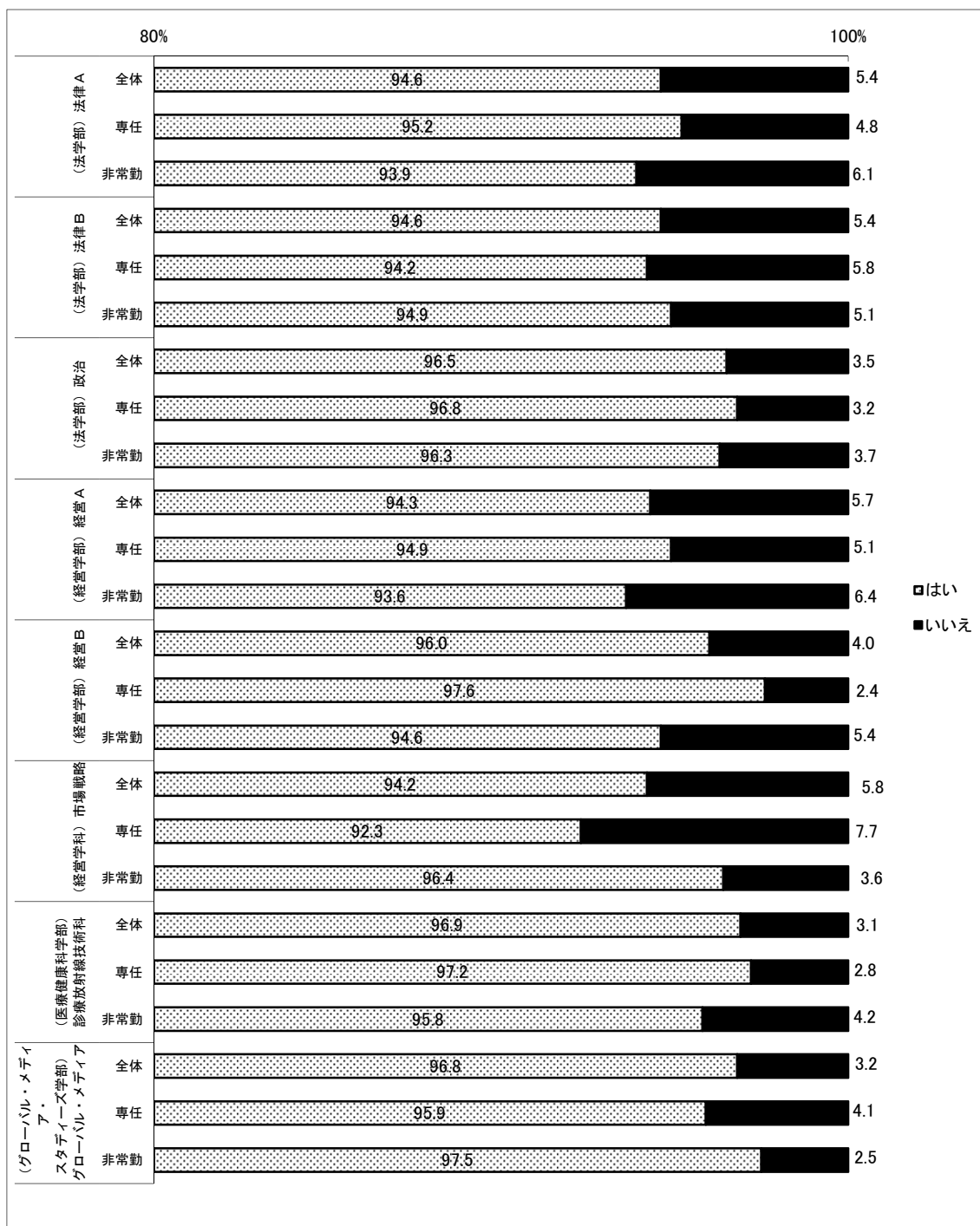




【後期実施科目】



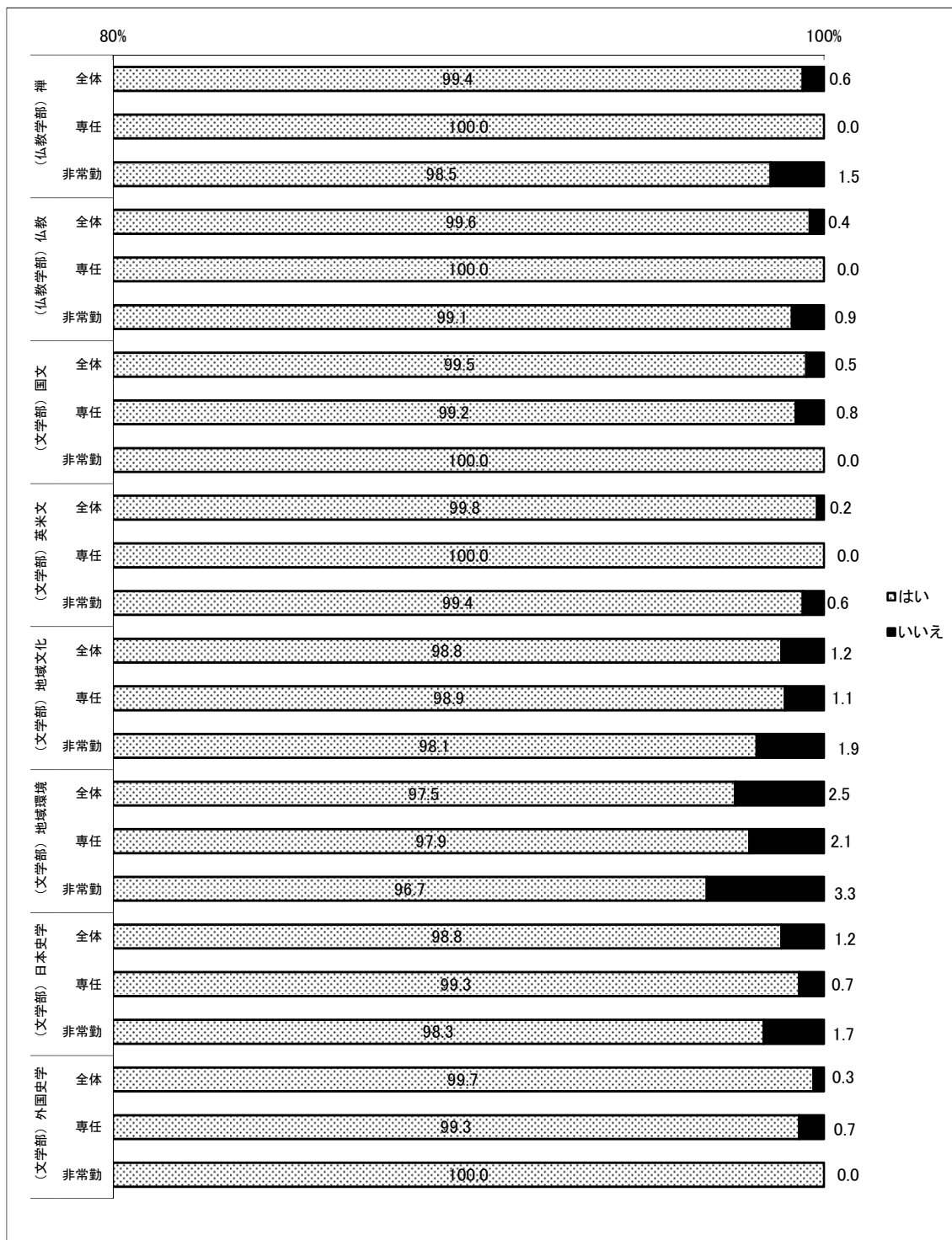


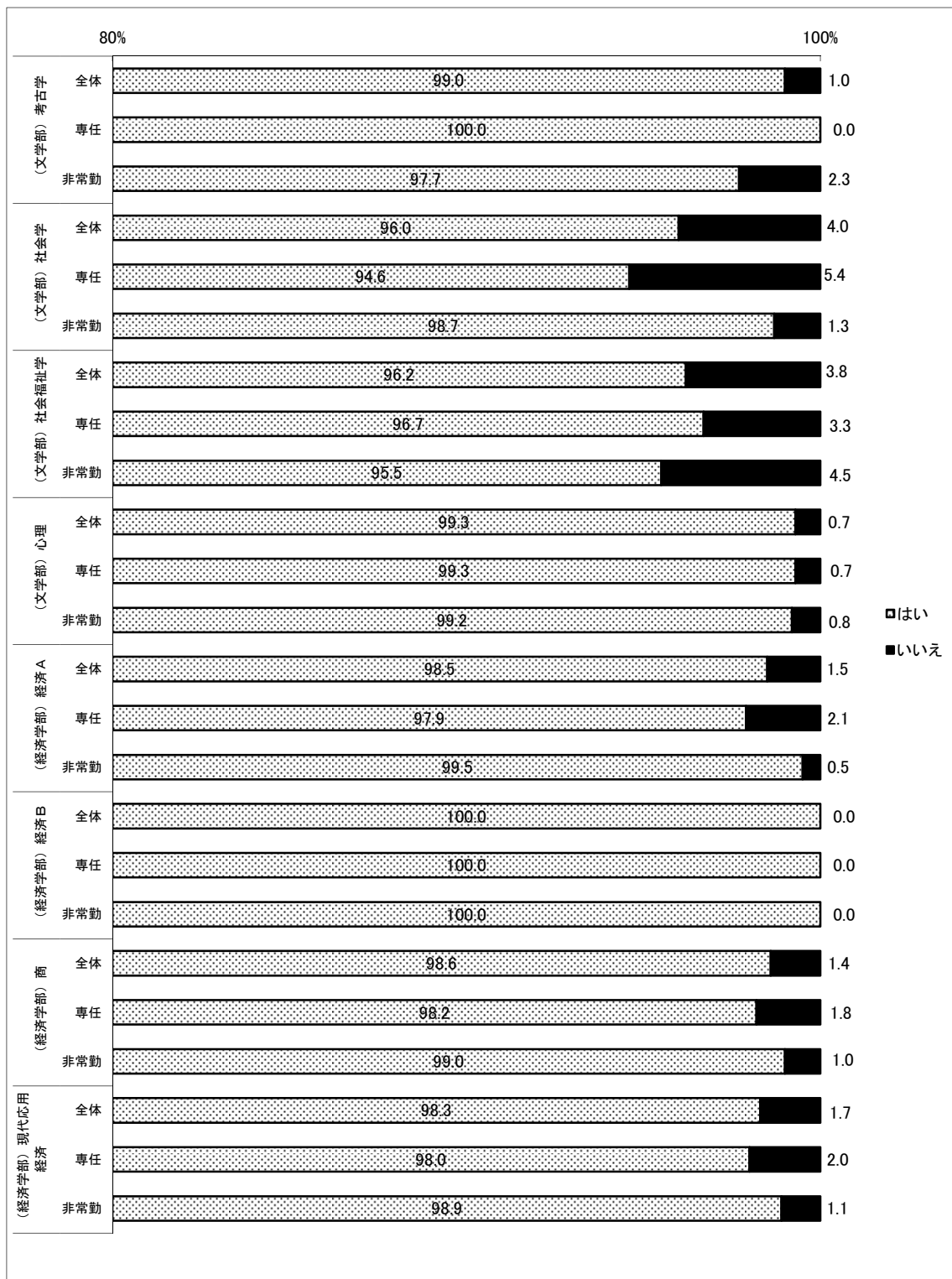


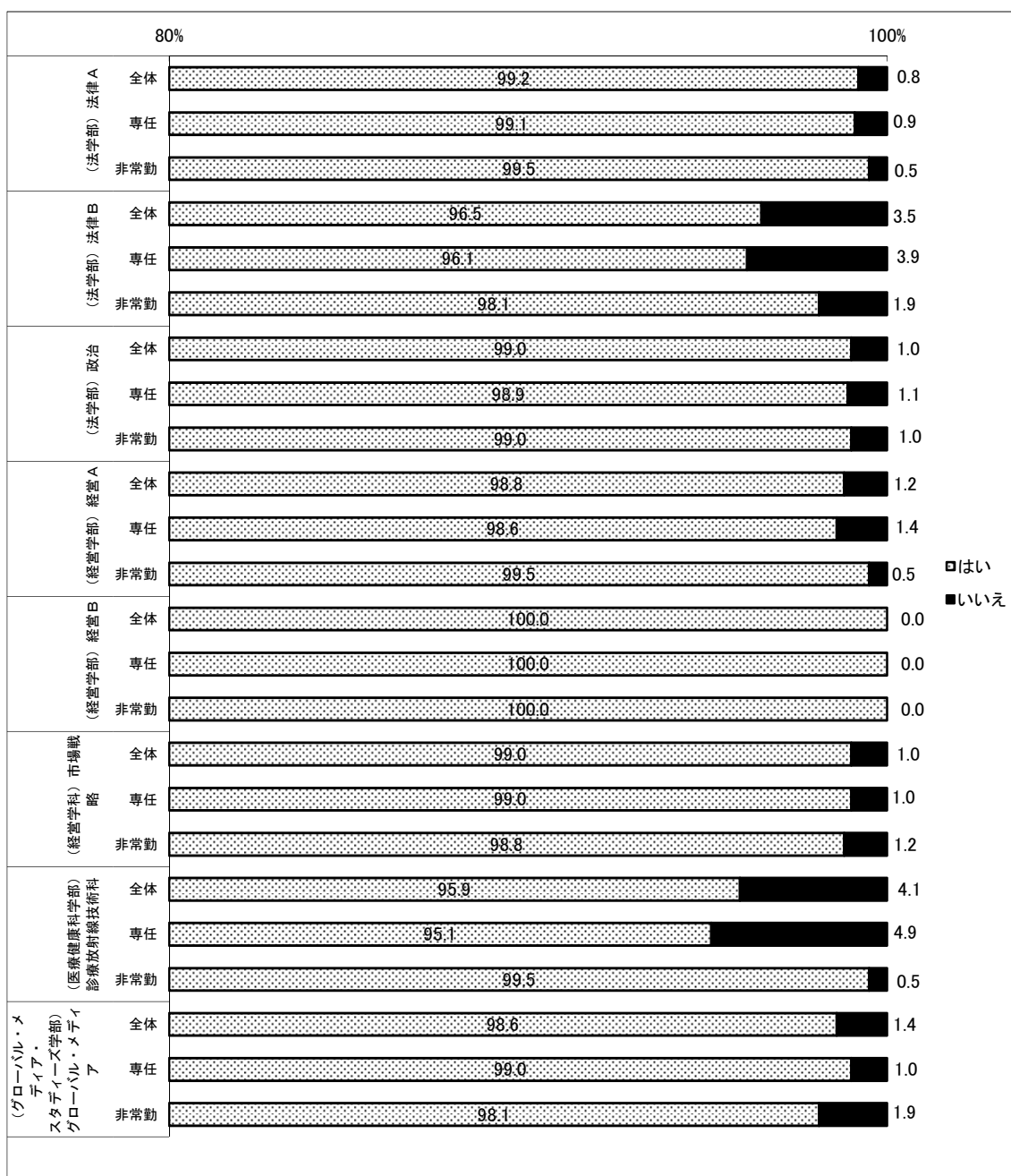
Ⅱ. Q6. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
 2: はい 1: いいえ

ほとんどの学科において、教員が通常通り授業を実施していたことがわかる。

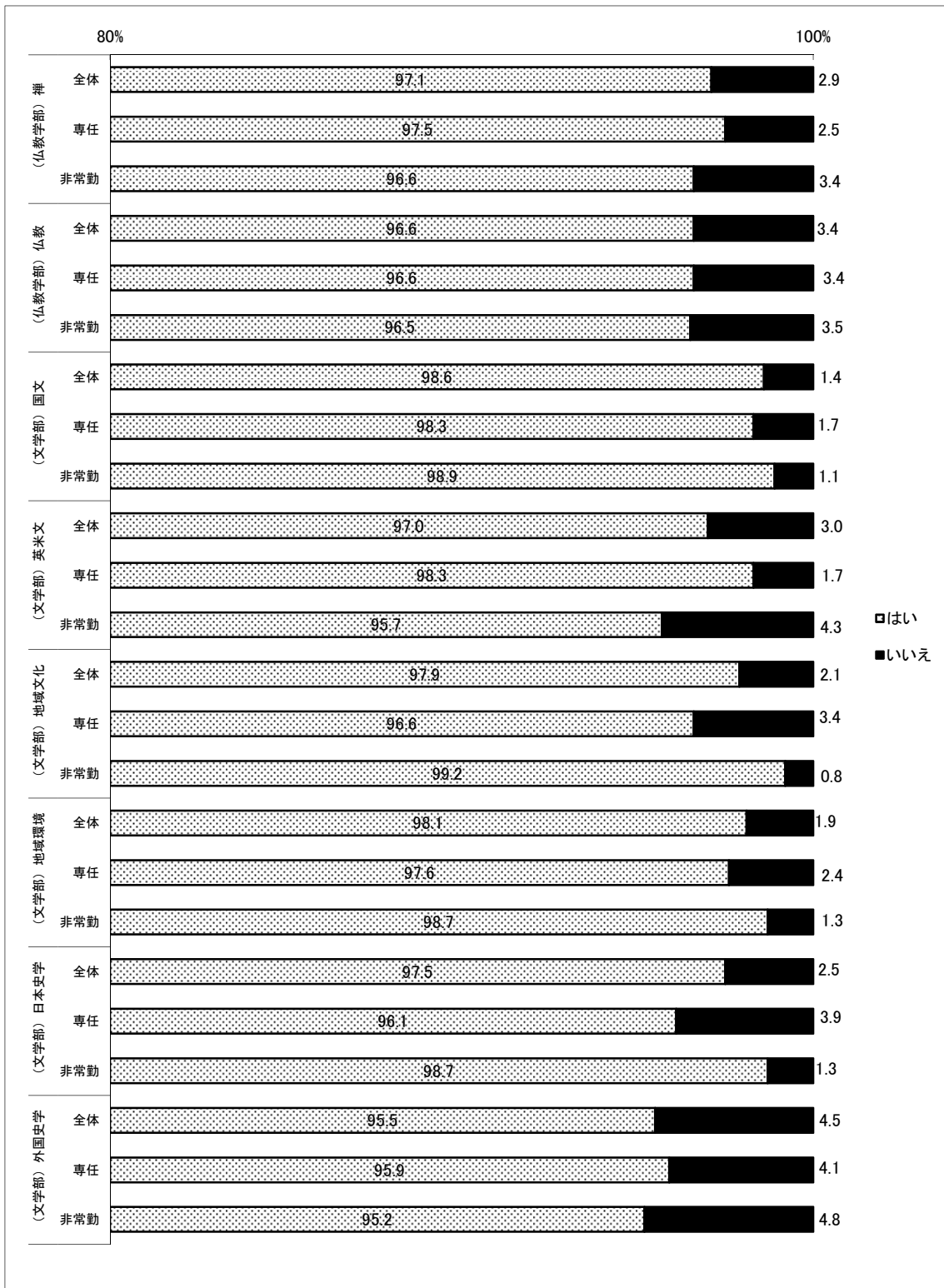
【前期実施科目】

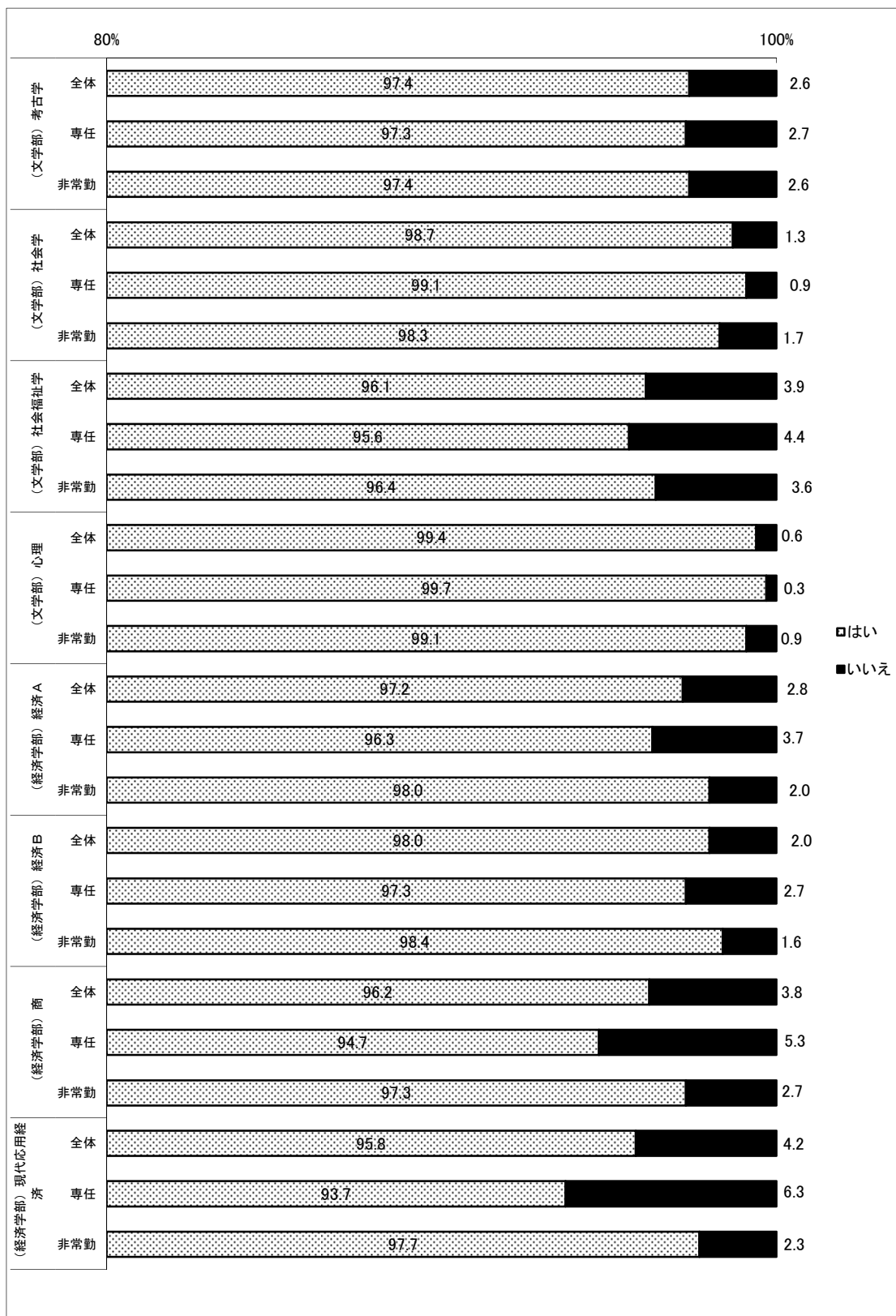


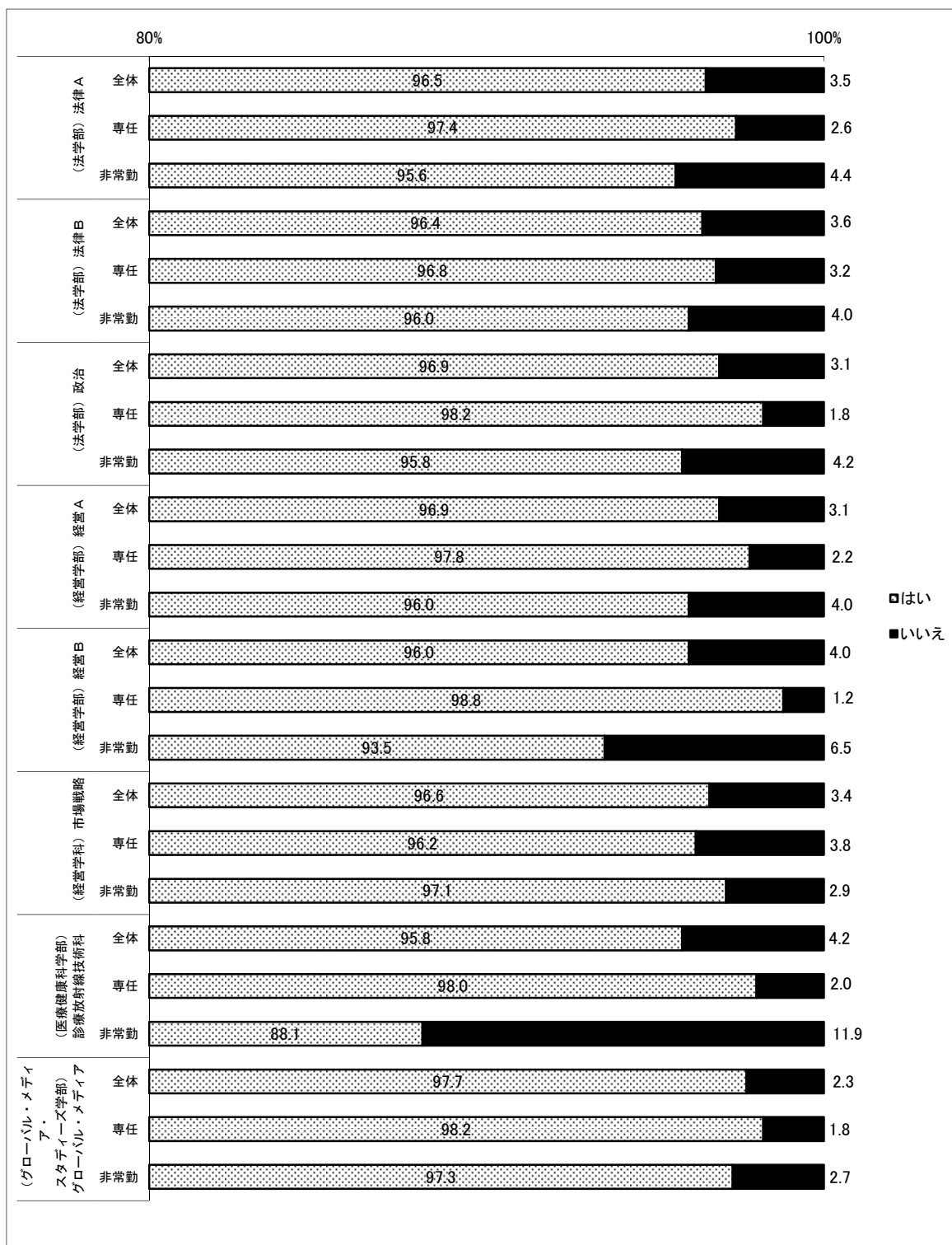




【後期実施科目】



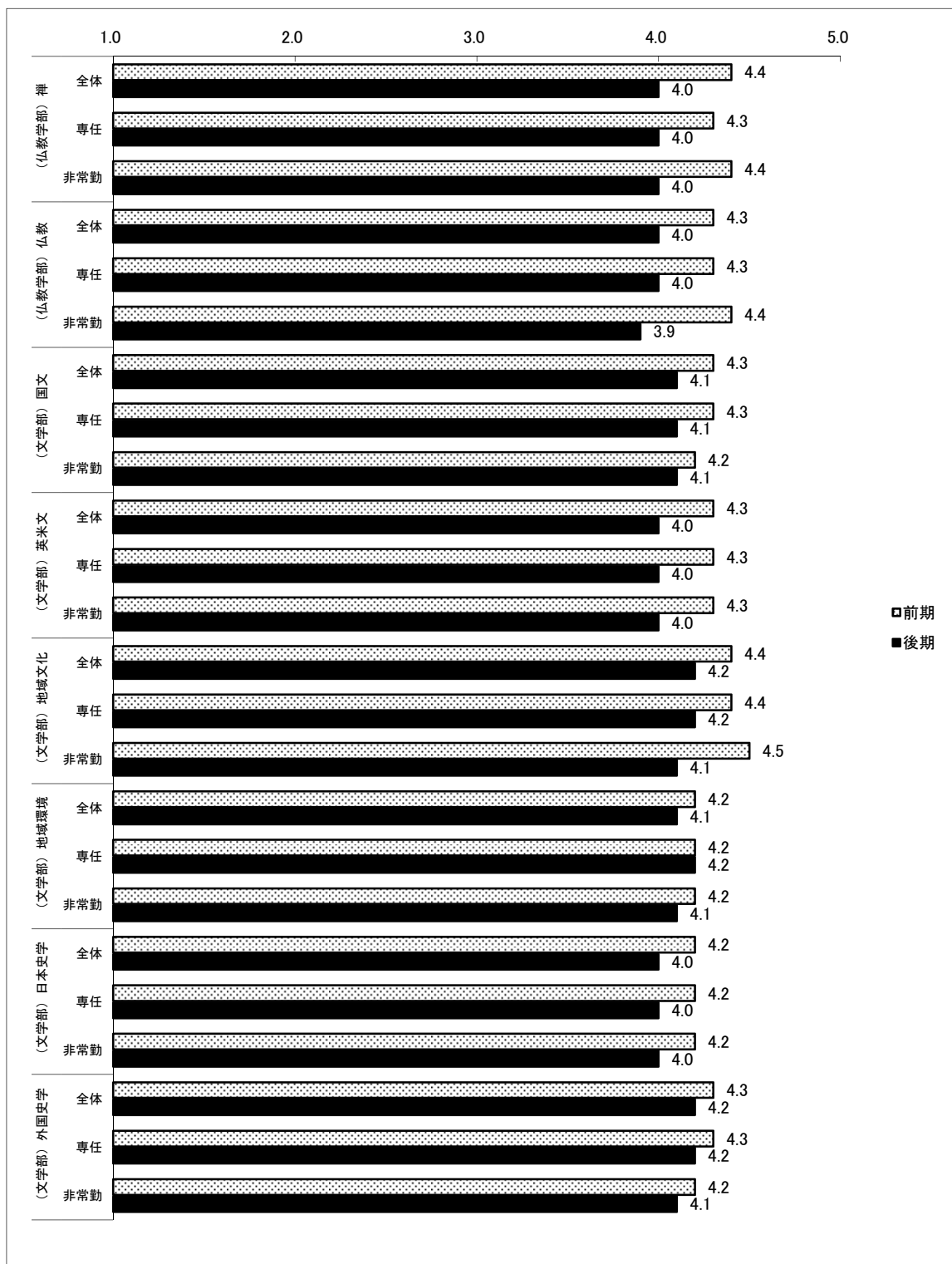


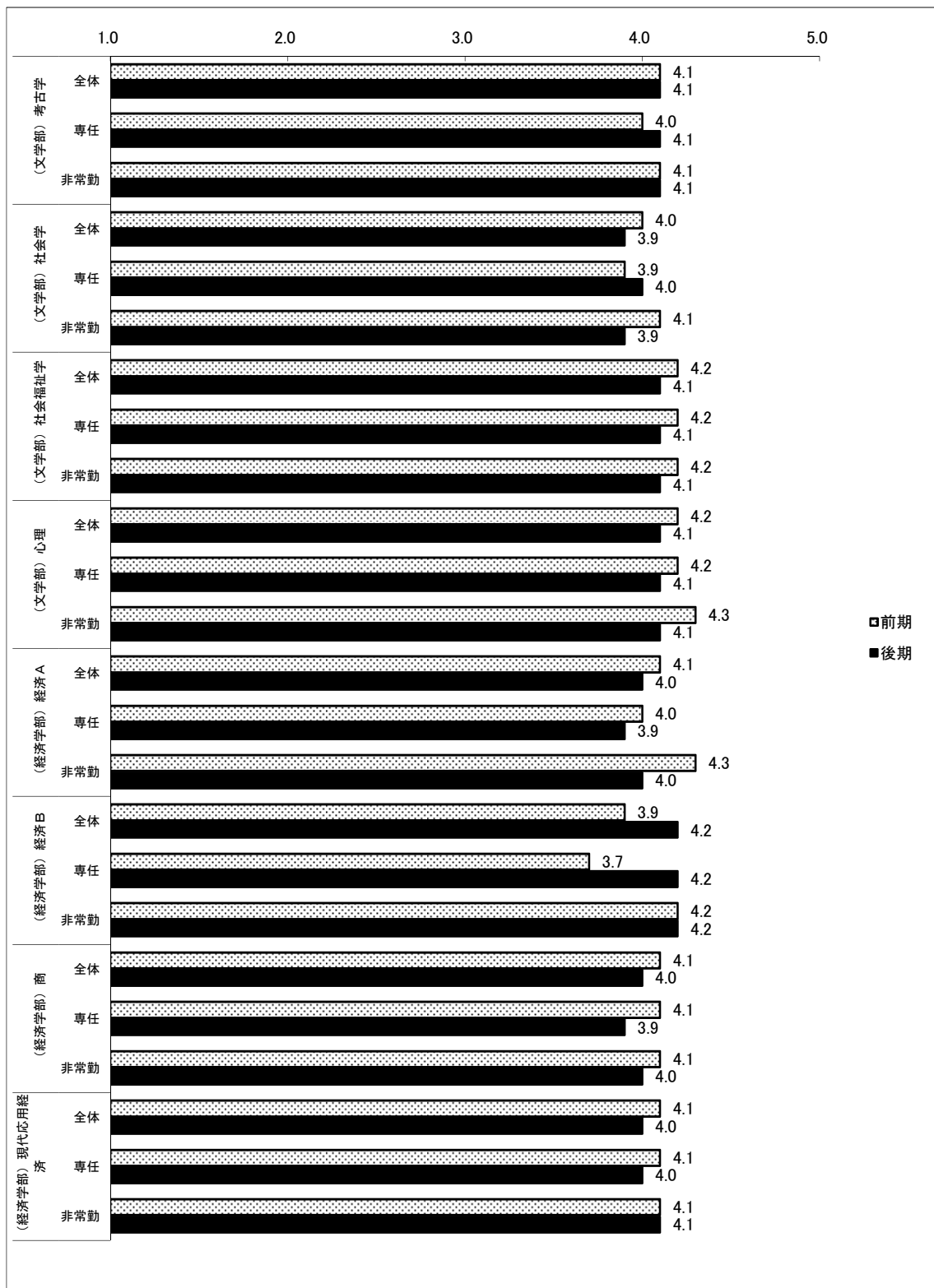


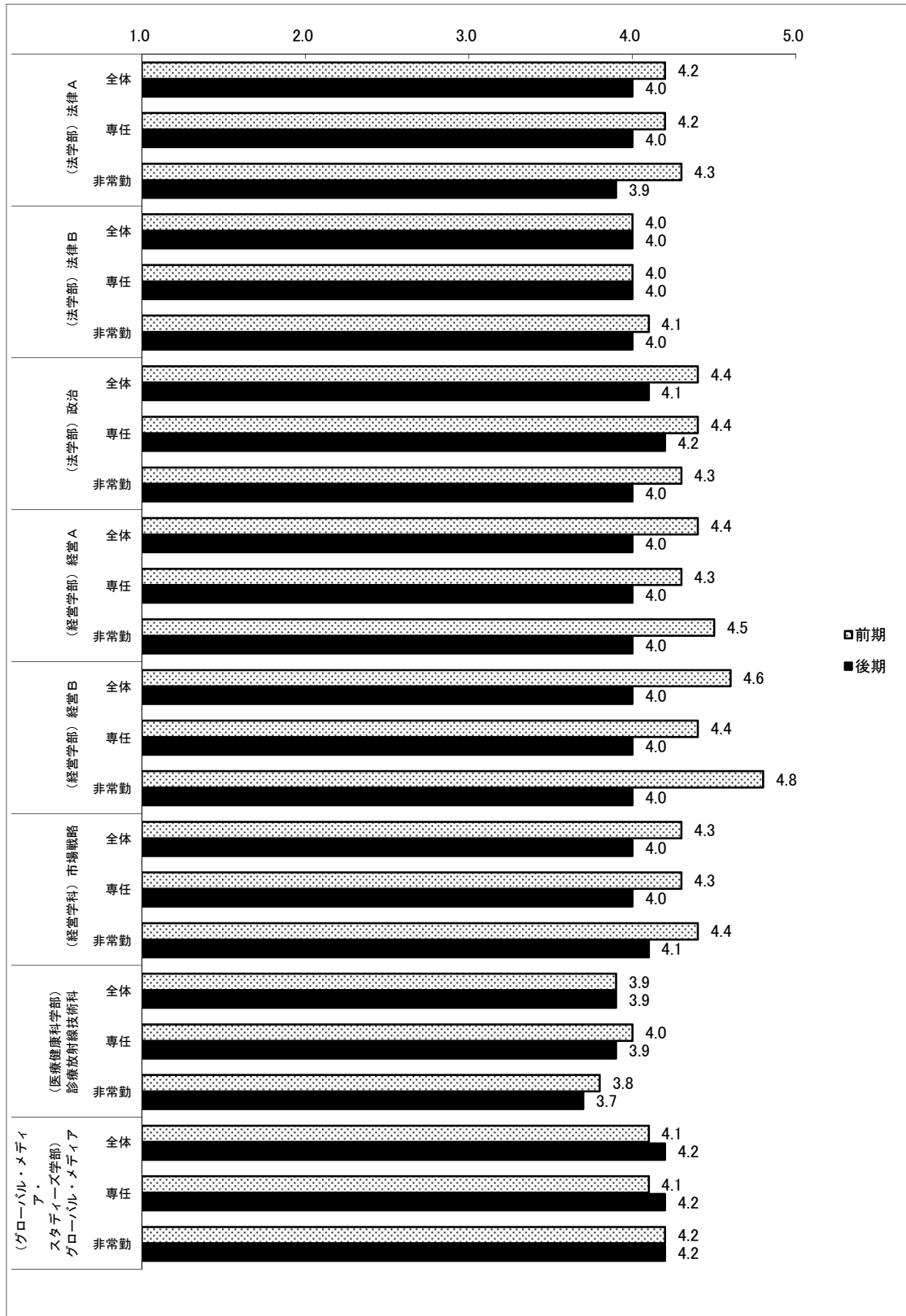
Ⅲ. Q7. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

5：早すぎる 4：やや早い 3：ちょうどよい 2：やや遅い 1：遅すぎる

ほとんどの学科において、3の「ちょうどよい」と答えるものが多かった。

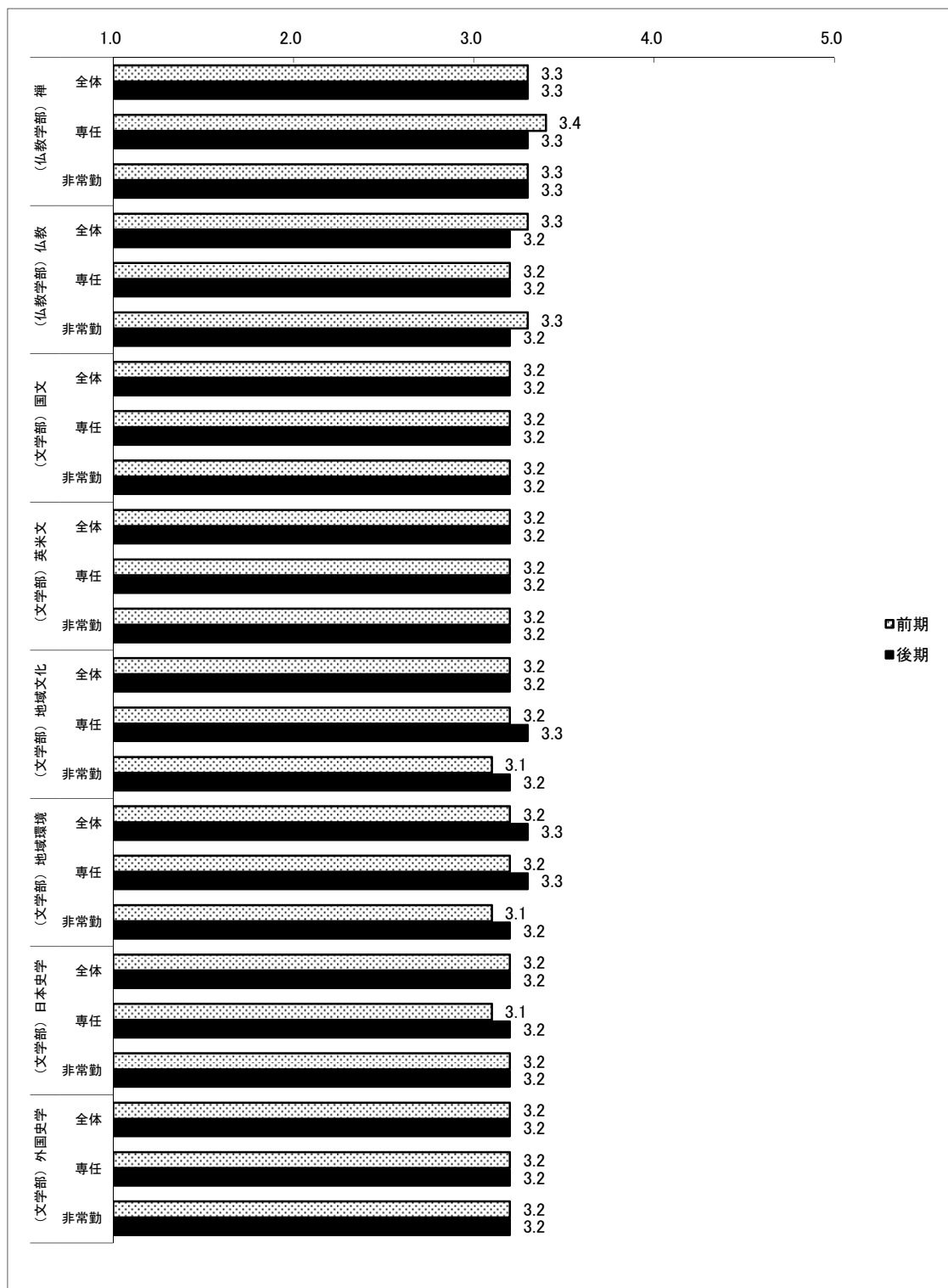


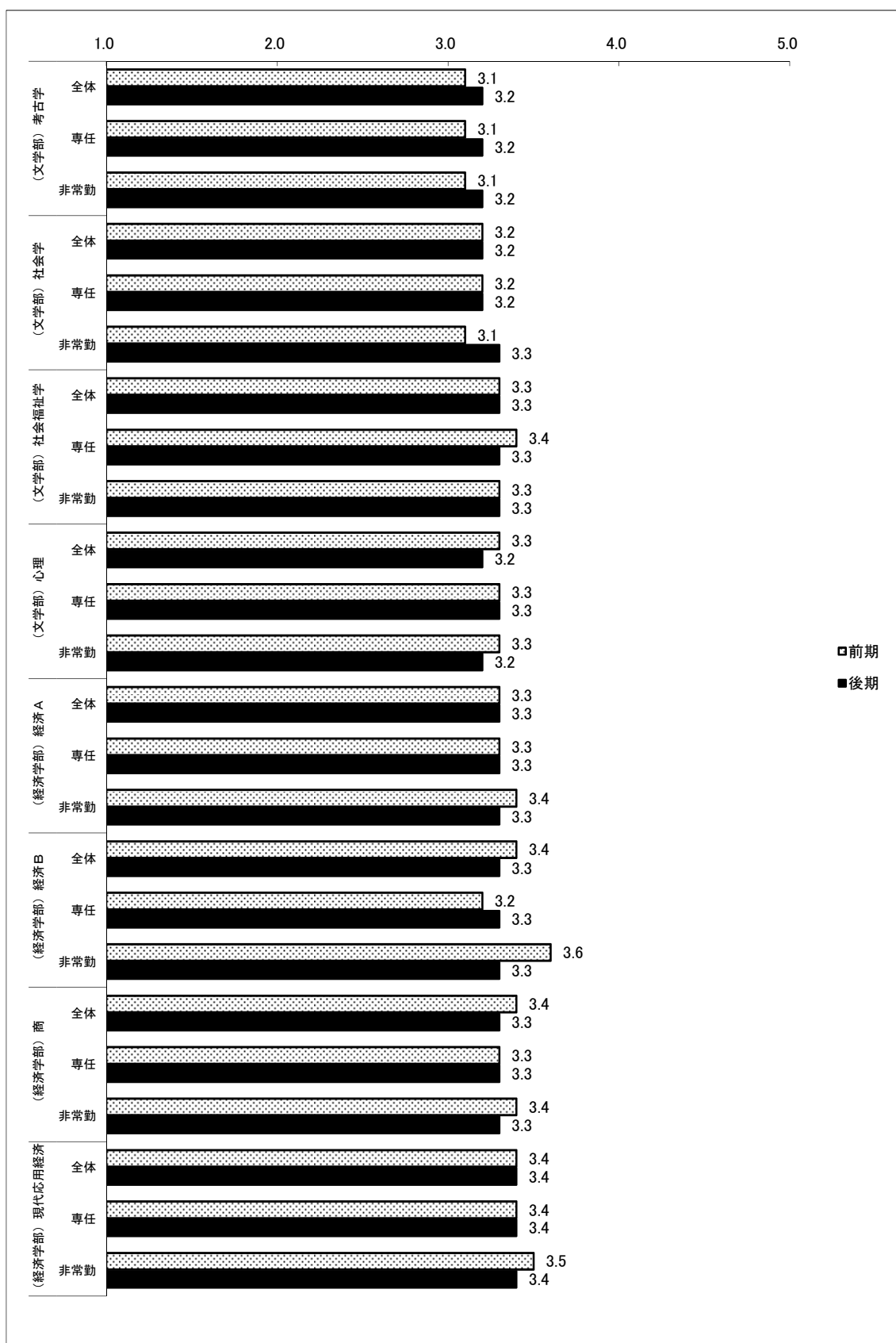


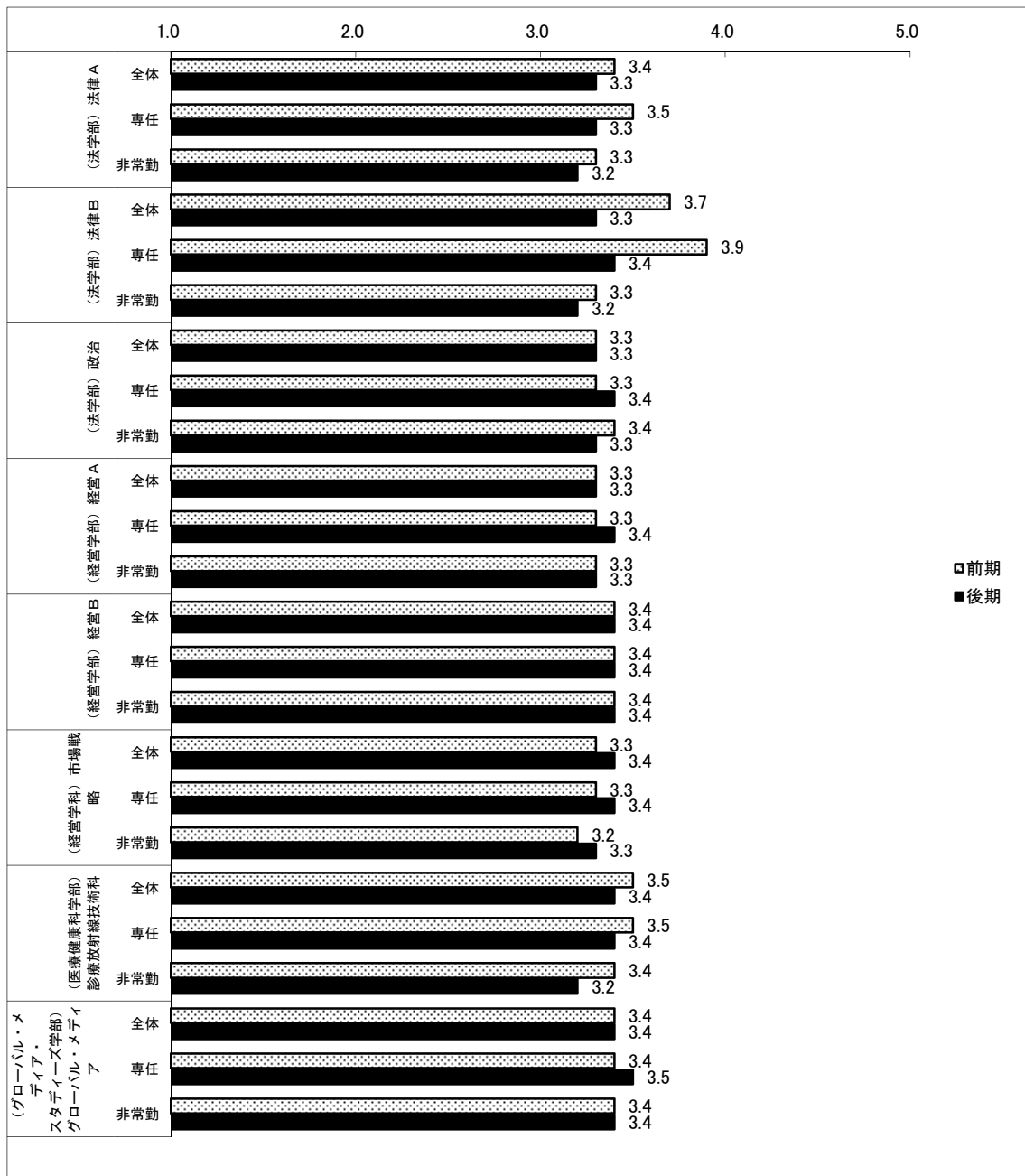


IV. Q 8. 教科書・資料・教材・器具・用具等は効果的に使われていましたか。
 5: 全くそう思う 4: そう思う 3: どちらともいえない 2: そう思わない 1: 全くそう思わない

この設問に対し、昨年度（3.7～3.8）と比べ減少が見られた。前々年度（2010 年度：3.2～3.4）に集中している。

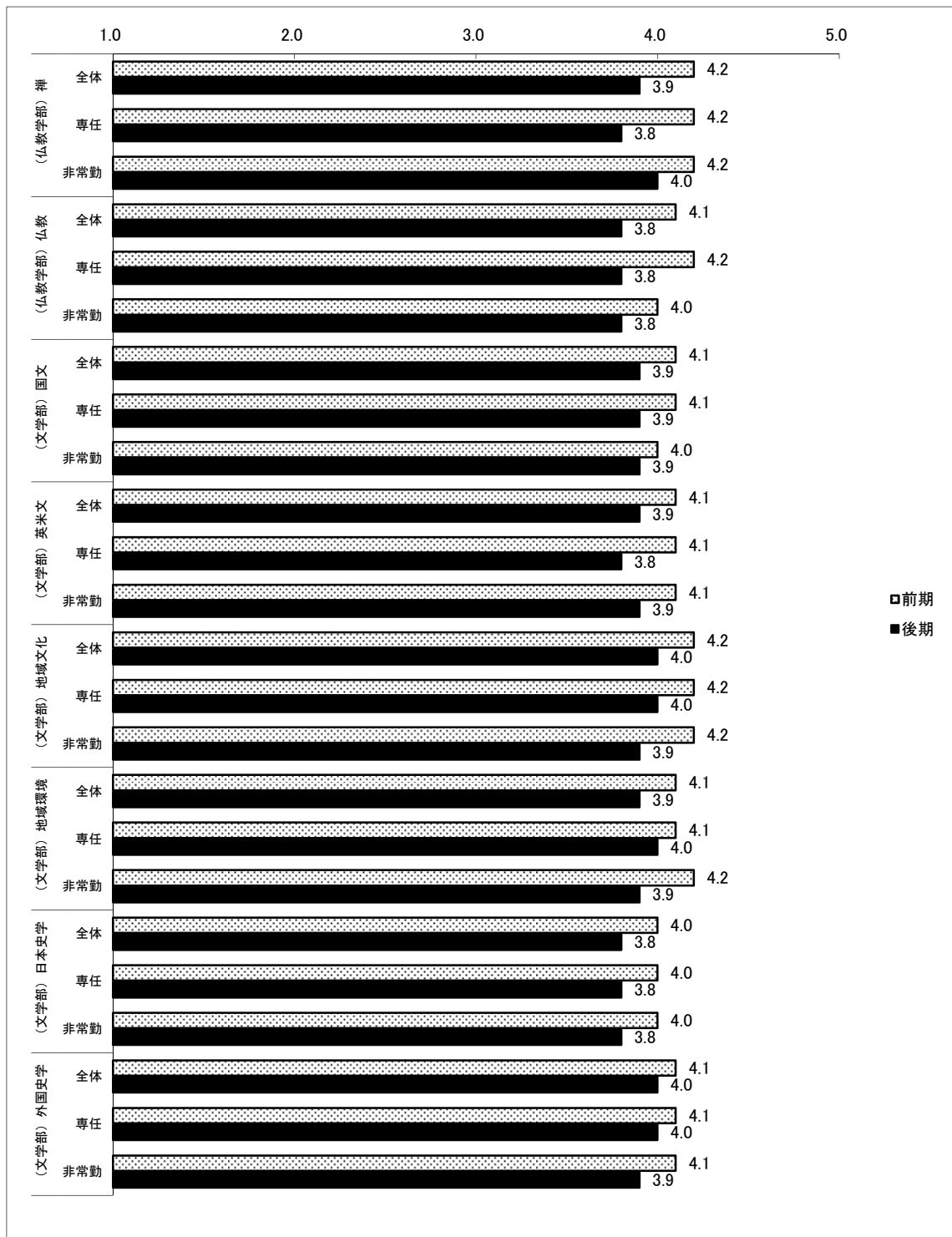


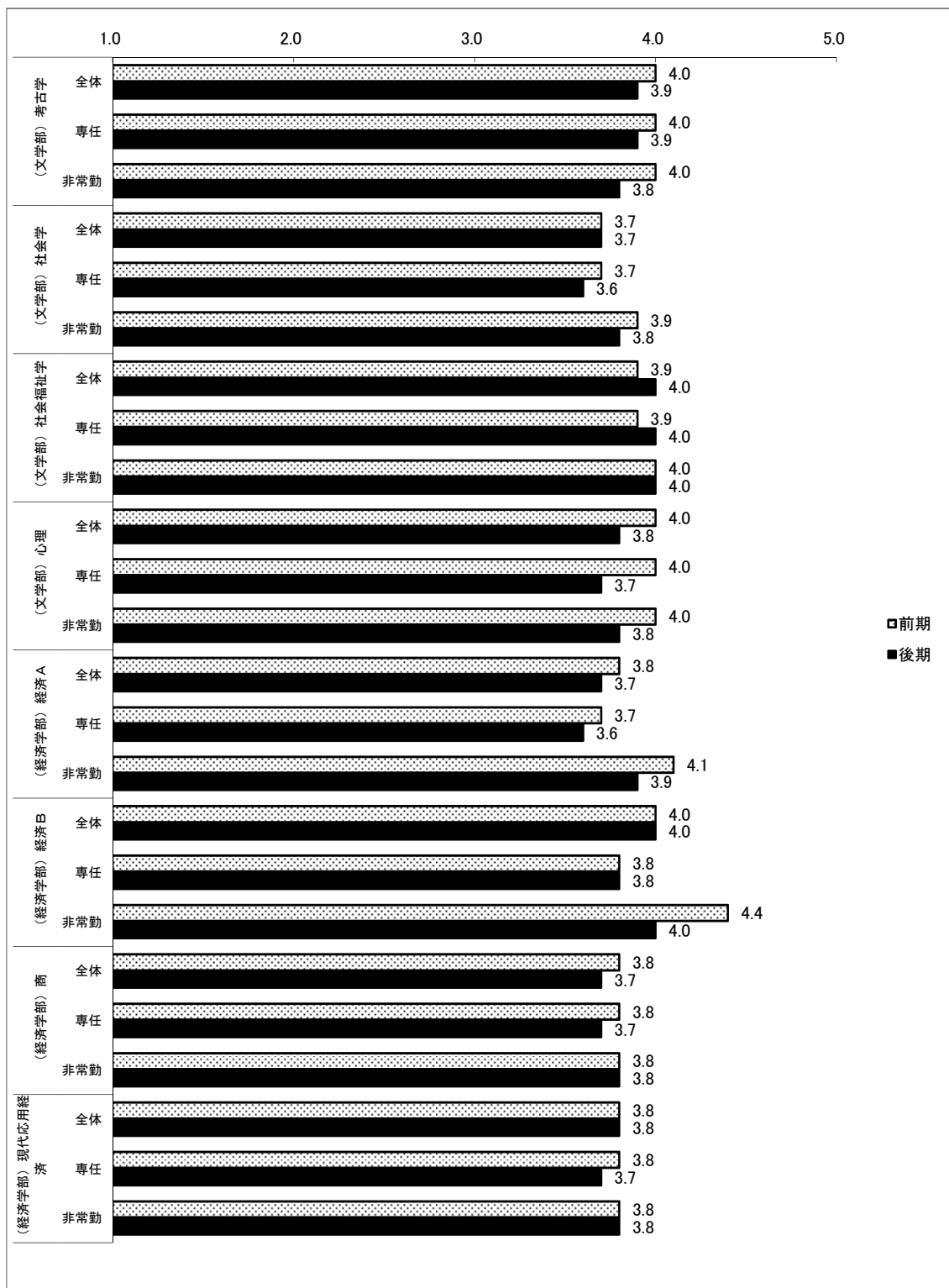


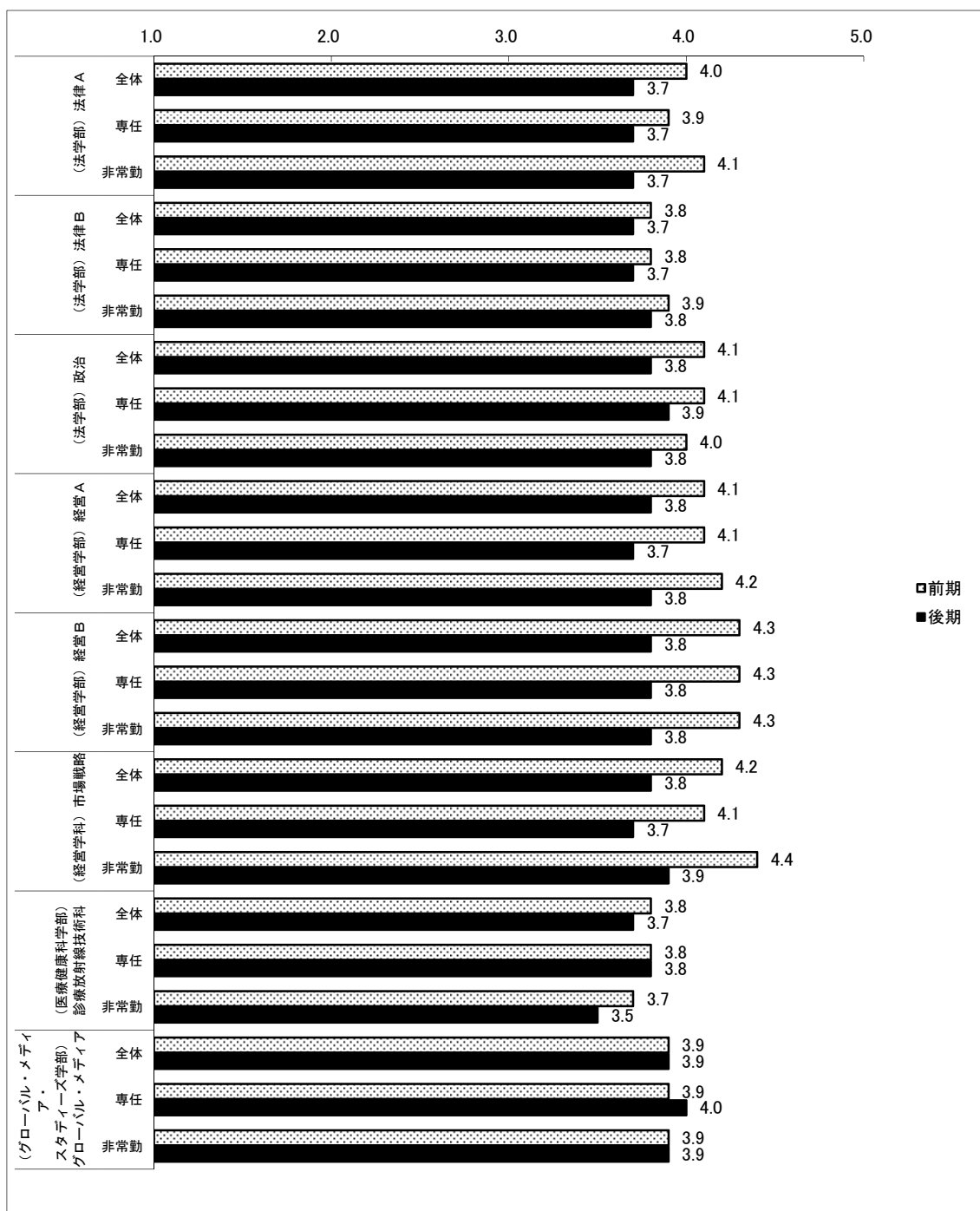


V. Q9 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
 5: 非常に感じた 4: 感じた 3: どちらとも言えない 2: あまり感じなかった 1: 全く感じなかった

「担当教員の授業に対する熱意」の項目は、どの学部学科とも 4.0 前後のポイントであり、学生は教員の熱意を感じているものと思われる。



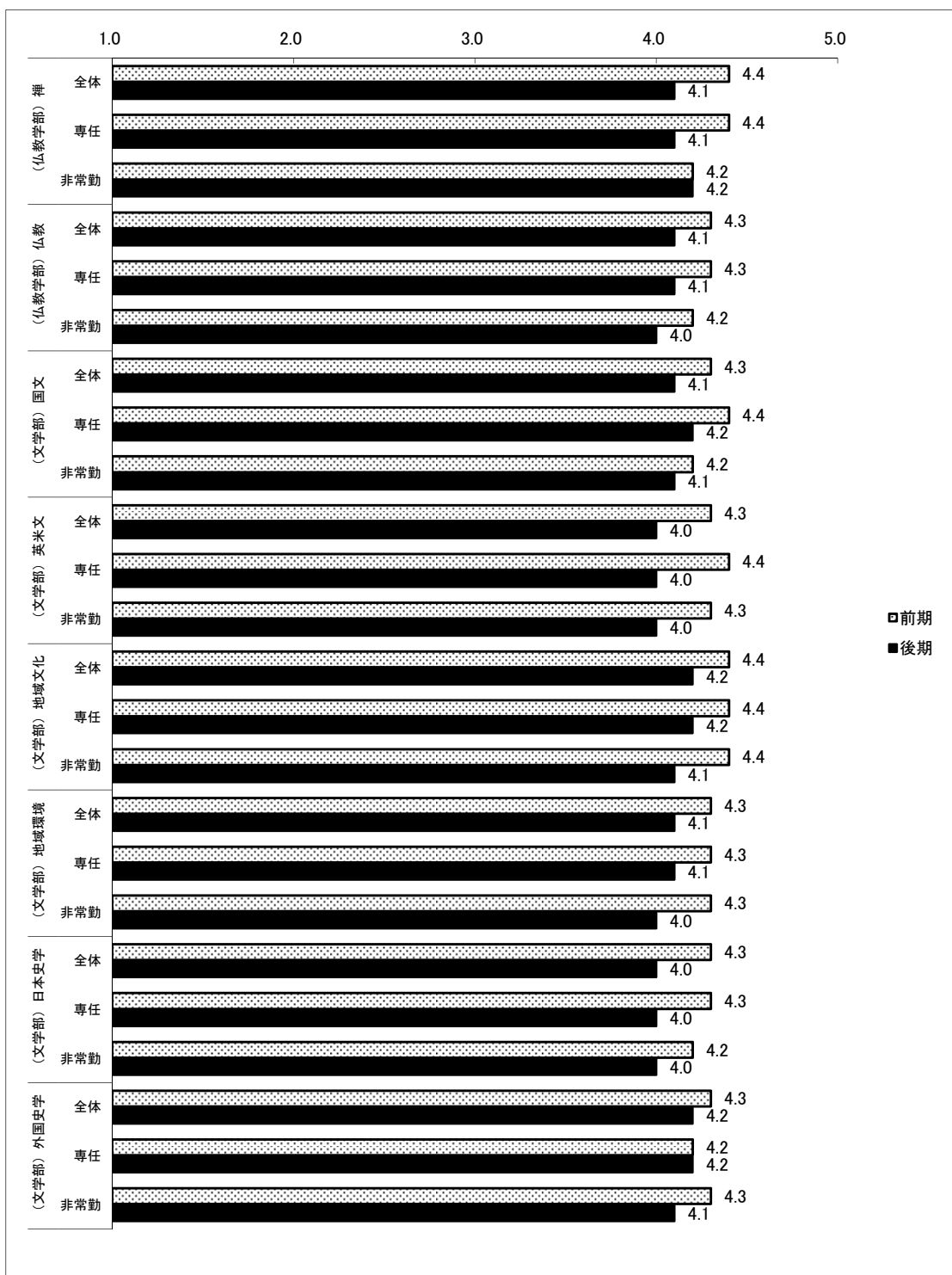


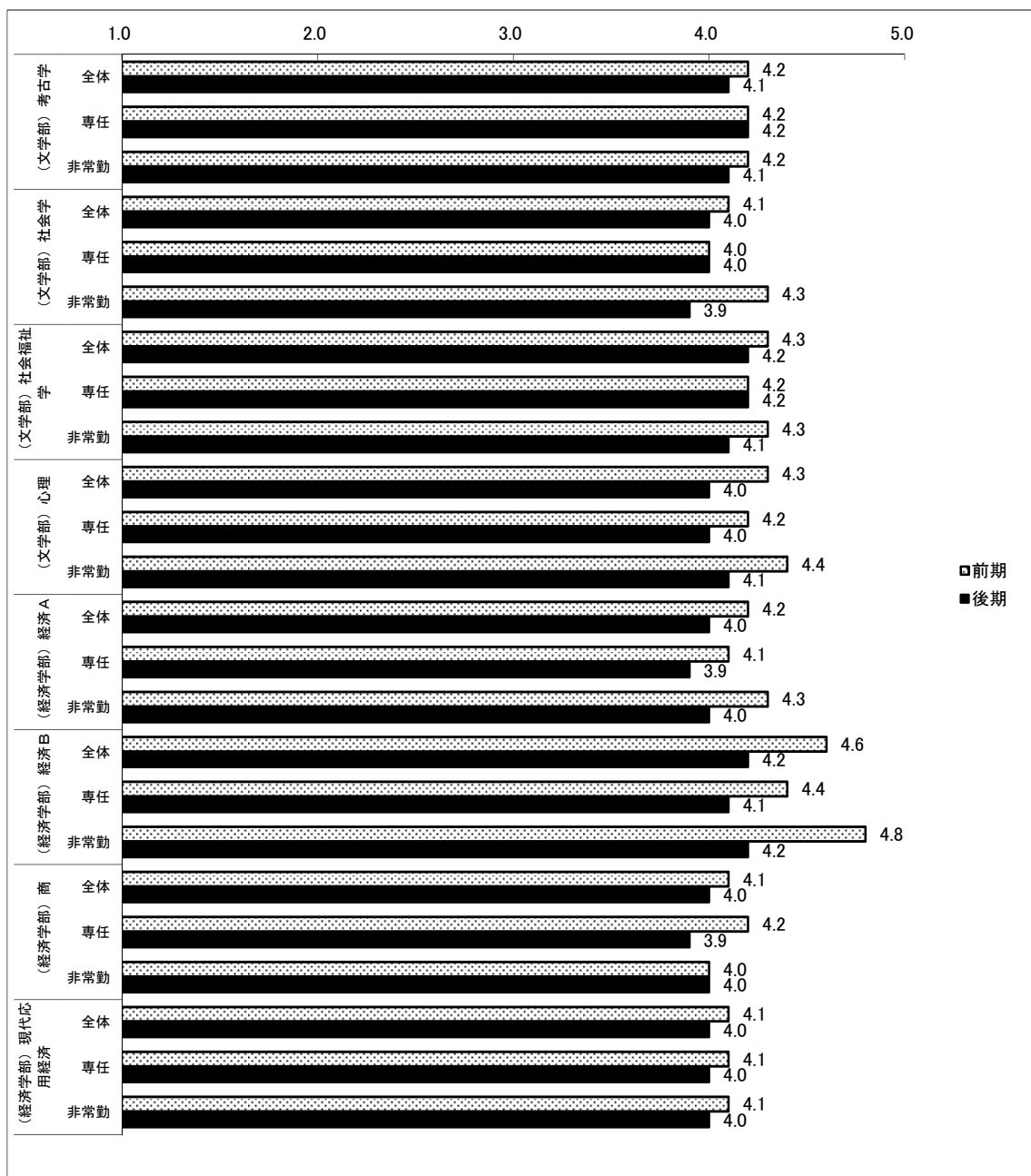


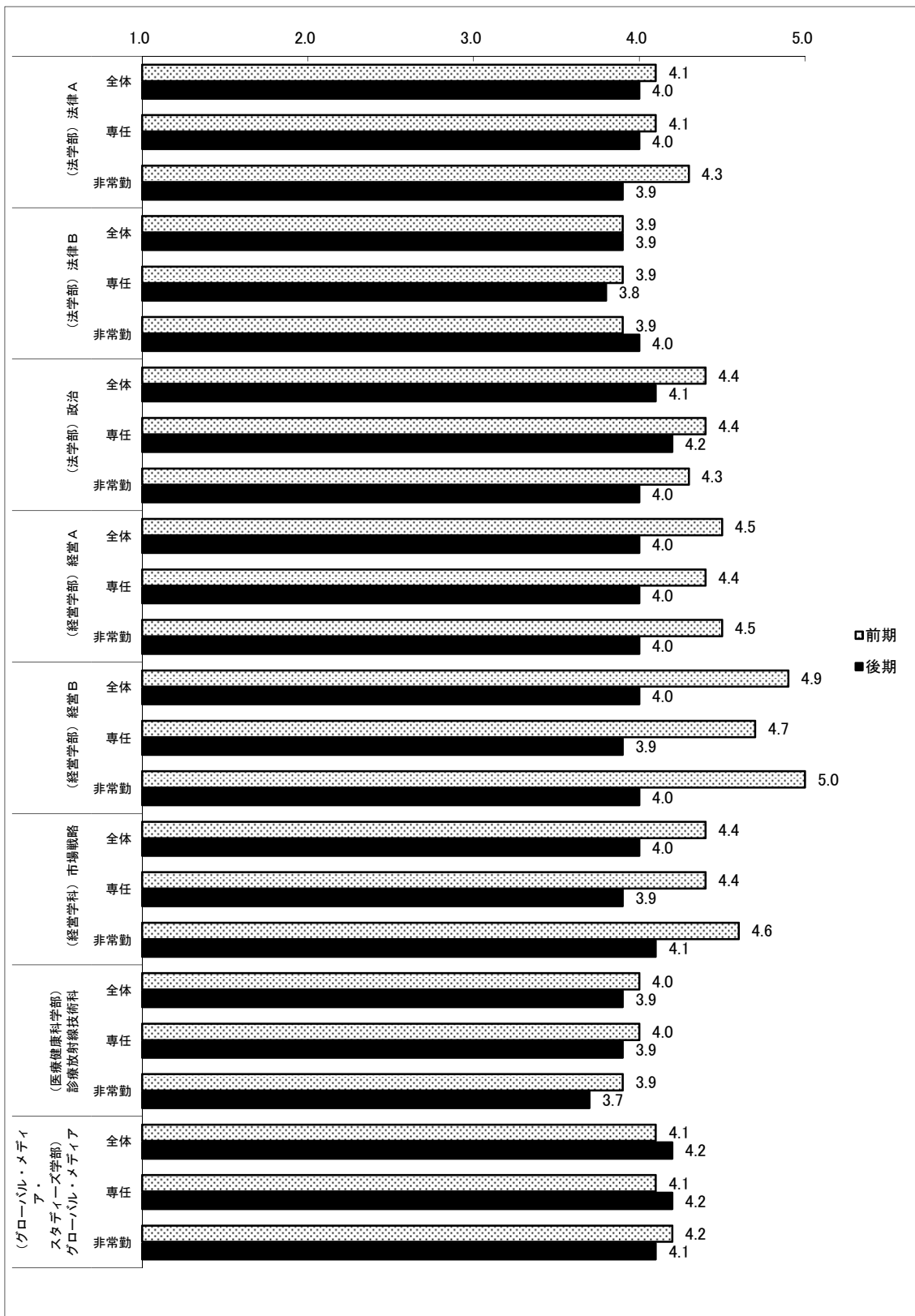
VI. Q 1 0 教え方はわかりやすかったですか。

5:非常にわかりやすい 4:ややわかりやすい 3:ふつう 2:ややわかりにくい 1:非常にわかりにくい

この項目は、前年度（3.7～4.0 前後）と比較し本年度（3.8～4.4）でありポイントが高くなっている。全体的にわかりやすい授業が行われているといえよう。

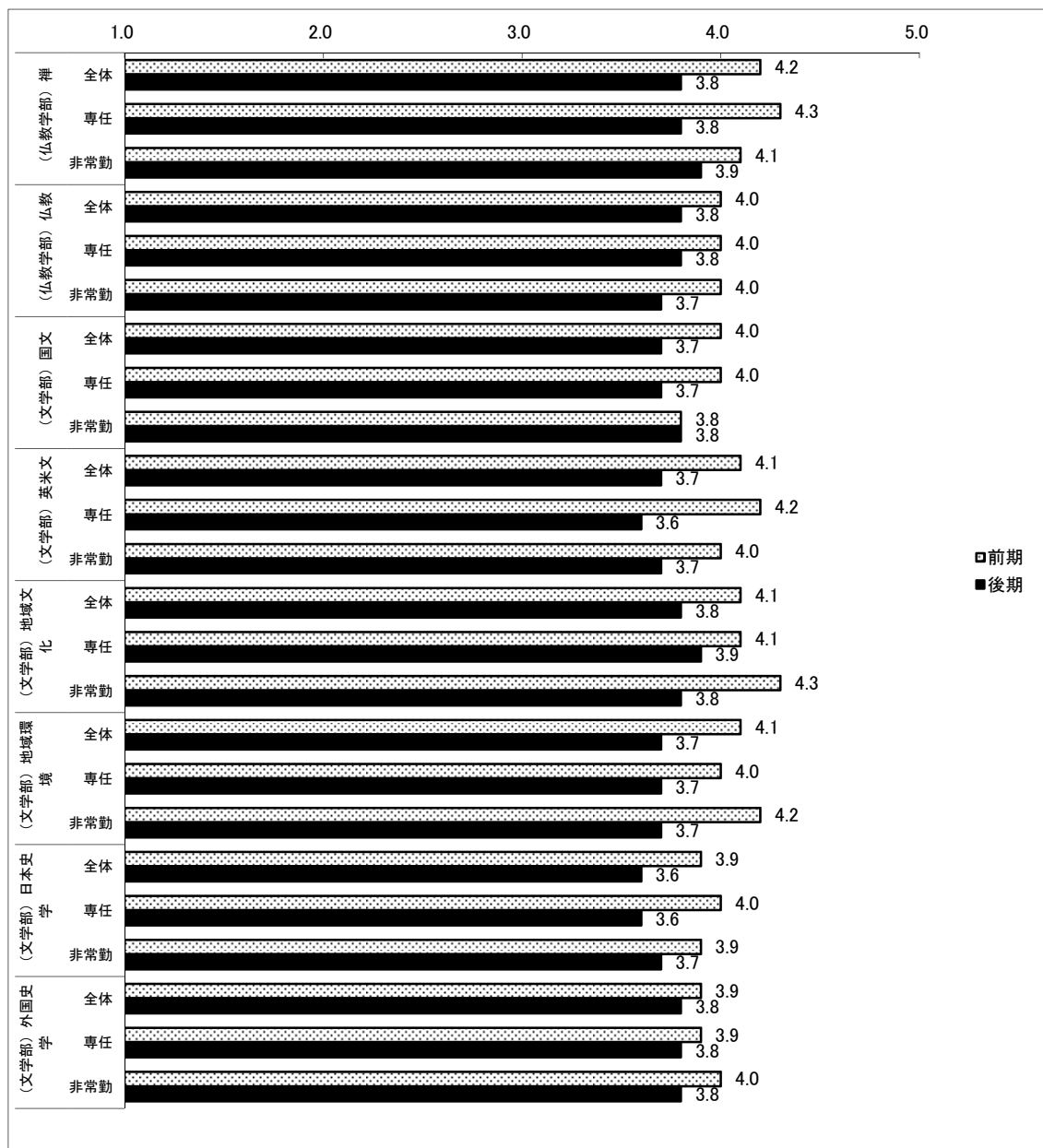


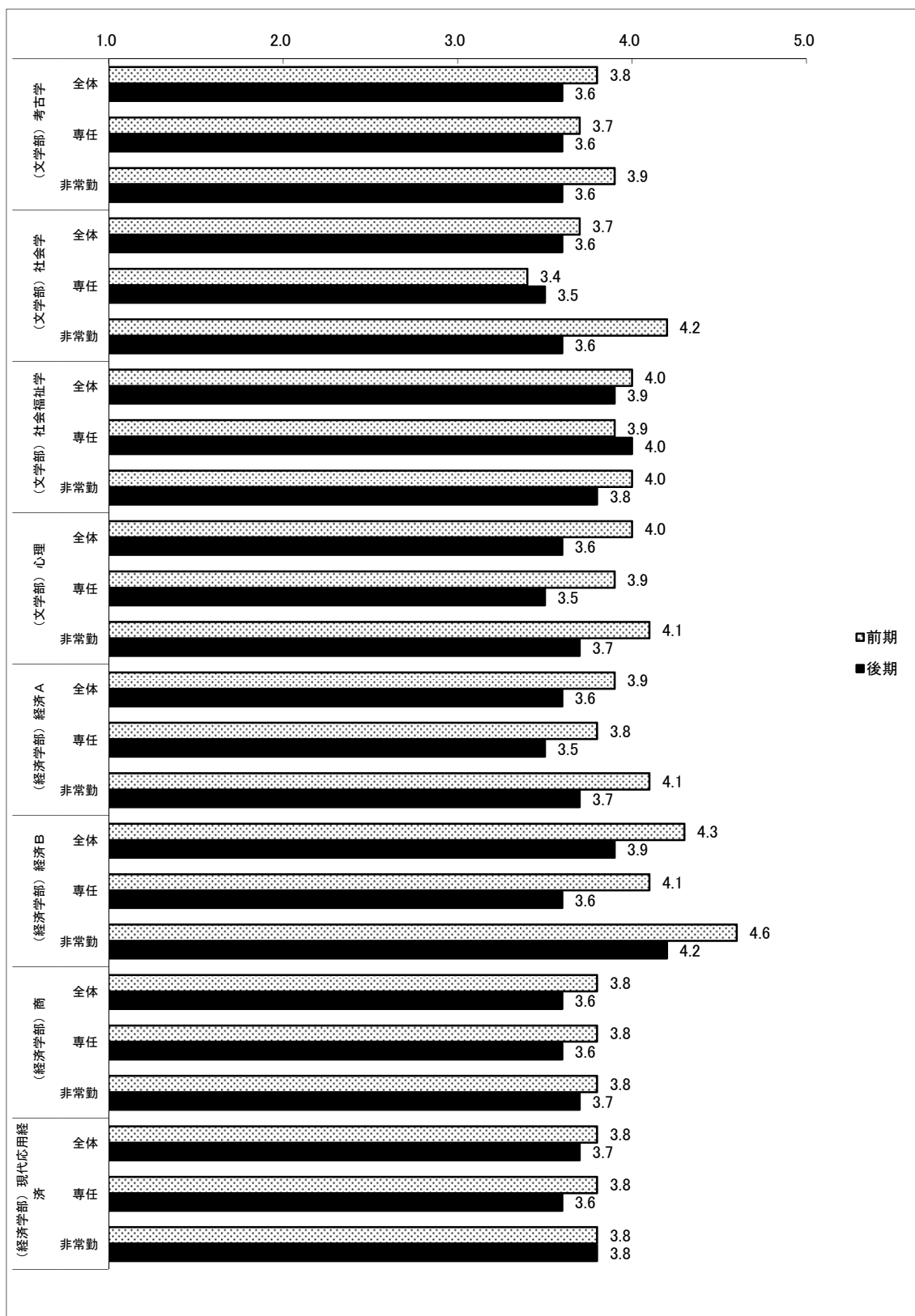


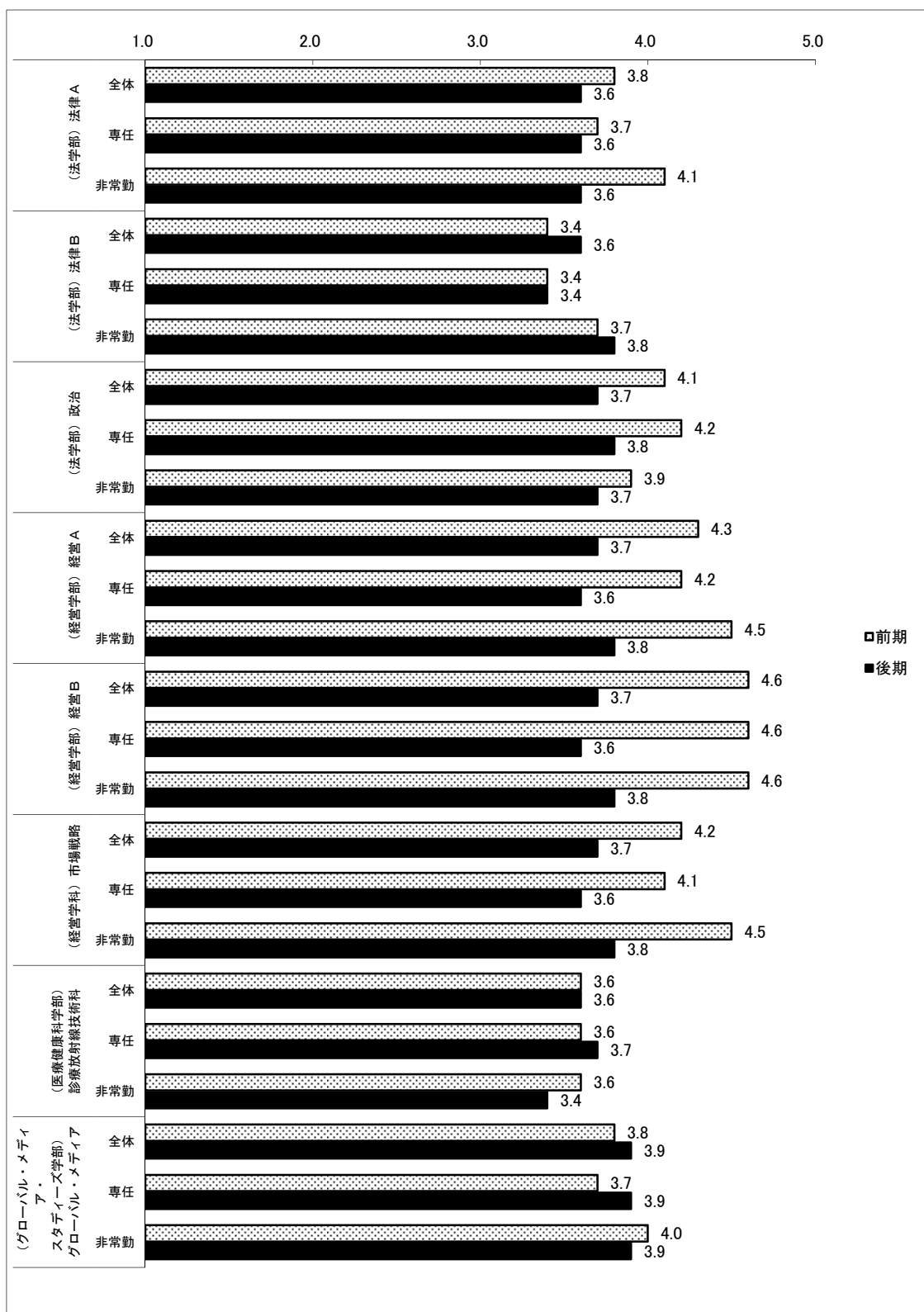


Ⅶ. Q 1 1 この科目の授業内容をどのくらい理解できましたか。
 5：非常に理解できた 4：やや理解できた 3：ふつう 2：あまり理解できなかった 1：全く理解できなかった

全学部学科とも昨年度 3.5 前後で推移していたが、今年度 4.0 以上の学部・学科が増えており、学生が授業内容をよく理解していると考えられる。

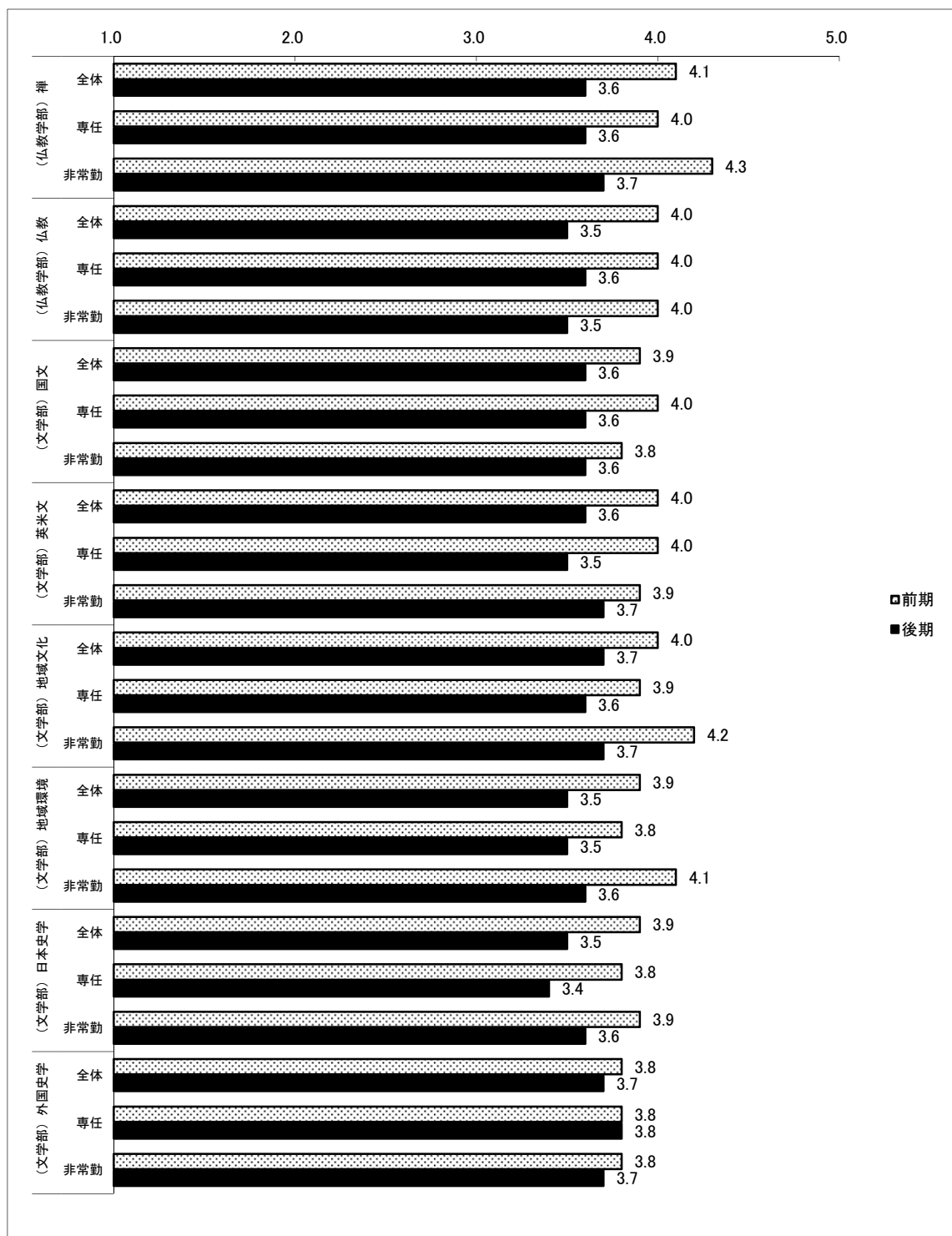


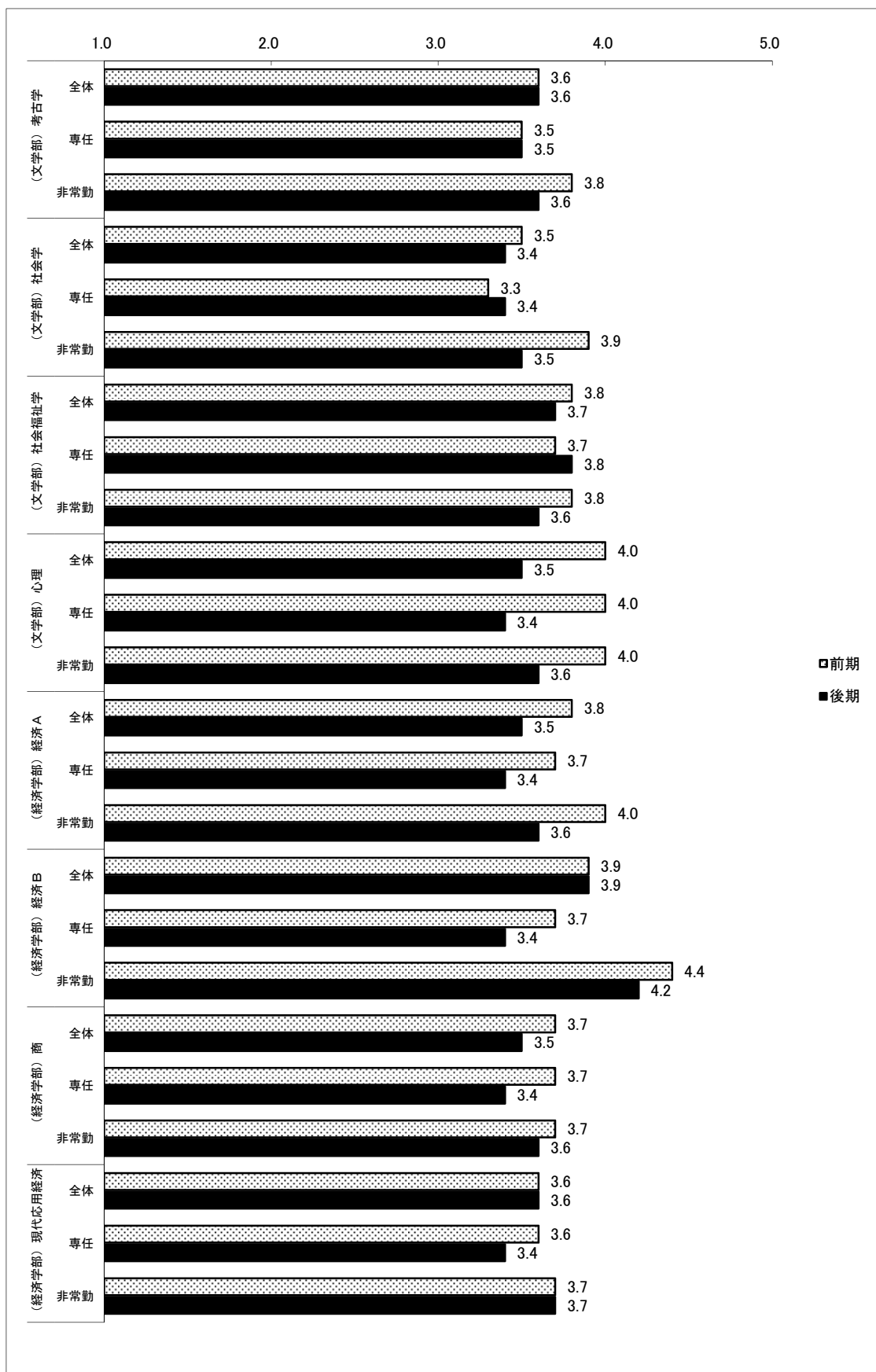


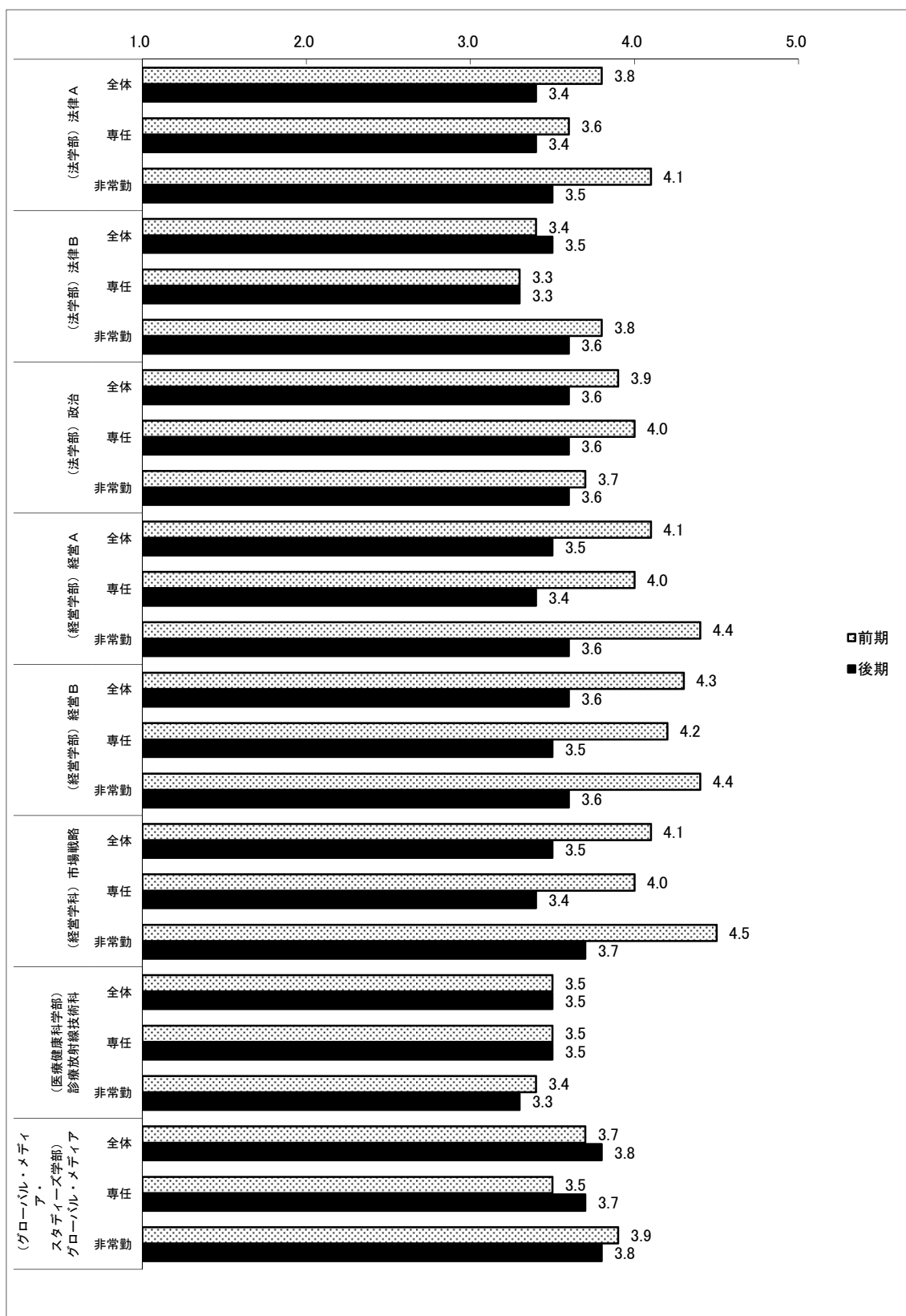


VIII. Q 1 2 この授業で受けた知的刺激に対する満足度はどうでしたか。
5：非常に満足 4：満足 3：どちらとも言えない 2：不満 1：非常に不満

昨年とほぼ同じポイント 4（満足）に近い値を示している。より多くの学生が授業で知的刺激を受けることが望まれる。







総 評

駒澤大学 FD 推進委員会小委員会

2012 年度副委員長 齊藤明美 (総合教育研究部 准教授)

1 本年度の「学生による授業アンケート」の結果の傾向

2012 年度「学生による授業アンケート」の様式はシラバスに関する質問事項 (Q7「授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。」) の 2 年ぶりの登場と「専任」「非常勤講師」区分の集計結果への反映が 2 つの大きな変更点であったが、基本的には前年度の内容を踏襲し、「入試形態の質問」や「記名式の選択」も引き続き行われた。

2012 年度の「学生による授業アンケート」の結果を要約すると、昨年度と同様に「授業に熱心に取り組み、また教授方法や授業内容に満足している学生は比較的多いが、予習復習は十分とは言い難い」という状況から目立った変化は見られなかったといえよう。

まず「受講生の講義への取り組み」に関する質問事項の「時間どおりに出席した割合」(Q1) や「学生の授業への熱心な取り組み」(Q2) は全学部で高いポイントを得たが (Q1:4.4~4.8、Q2:3.6~4.0)、授業時間外の勉強時間 (Q3:1.3~1.6) と平均して一科目あたり一時間前後と低い値を示した。

「授業についての評価」(Q5 から Q13) は、昨年度と同様に 3 ポイント後半~4 ポイント前半台と高い値を示しており、数値の上では学生が満足する授業が行われていると言える。特に「教員の熱意」(Q10:3.9~4.2)、「効果的な教材の使用」(Q9:3.7~4.0)、「わかりやすさ」(Q11:3.6~3.9)、「知的刺激に対する満足度」(Q13:3.6-3.9) で比較的高い評価を得た。適切な授業の進め方に関しても、いずれの学科とも「ちょうどいい」(Q8:3.2~3.4) という回答を得られた。また今年度新たに設けられたシラバスについての質問については、4 の「そう思う」を選択した学生が大半であり (Q7:3.9~4.2)、授業にシラバスの内容がおおむね反映されているという結果が出た。しかしながら Q12 の「授業理解度」は数字上では他の項目と同様に比較的良好な得点であったが (3.5~3.9)、各学科単位で見ると「教員の熱意」「わかりやすさ」「満足度」と比較して 0.2 ポイントほど劣っていることが判明した。学生の授業の理解度を向上させるためにも Q3 の予習復習にかかる時間をどのように伸ばすのか、そのためにもインターネットなどを利用した授業以外の学生への学習支援体制の充実も今後の課題となることだろう。

次に学部学科別の値についてであるが、各学科間における授業形態の相違 (基礎科目か応用科目か、理論か実践か、小人数か大人数か) が存在するので単純に数字だけを並べて比較することは困難である。しかしながらアンケート回答数が少ない学科の平均値が回答

数の多い学科よりも比較的高いポイントを獲得していることが伺えたが、大人数授業などのマスプロ教育の弊害が反映しているのかもしれない。

学年別の値に関しては、結論から言うと学生の授業への取り組みや理解度、満足度のいずれの点においても昨年度を比べあまり大差はなく比較的高かった。しかし授業外の勉強時間はどの学年においても一貫して低い数値（1年～3年次 1.4 4年次 1.5）を示しており、今後どのように自律的に学習する習慣を身につけさせるかが課題となるだろう。入試形態別の平均値に関しては、留学生及び帰国生特別入試で入学した学生の平均値が若干高かったが、その他の入試形態間の差異は特に認められなかった。記名別平均値に関しては、本年度は 84,550 が無記名、全体の約 12%にあたる 11,382 が記名有のものであった。また昨年度と同様に記名有は無しのもの比べ 0.2 から 0.3 ほど高い数値を示した。最後に本年度から新たに設けられた専任と非常勤の区分についてであるが、学部学科別にみると個々の項目で 0.1 から 0.3 という若干の差異は認められたものの、全体としては「学生の自己評価」「学生による授業評価」とも特別な違いは見当たらなかった。

2 「学生による授業アンケート」の今後の展開

2004 年度に導入された「学生による授業アンケート」は来年度で 10 年目を迎えるが、その節目の年を前に初心に戻りアンケートの位置づけやその効果的な活用方法などを再確認する必要があると思われる。本年度のFD小委員会においても「授業アンケート」に関するWGを中心に、これまでの問題点の整理と今後の方向性について検討を重ねてきたが、授業アンケートの位置づけについては教員個人の教育方法のみでなくカリキュラムの改善に役立てることを想定していたことを再確認した。またアンケートデータを有効に活用するためにも、結果の分析、公開、共有、学生へのフィードバックの仕方についてもFD推進委員会や学部等における議論の継続が求められた。さらに今後の課題として①アンケート実施科目に関するルールの再確認、②実施要領の見直し、③半期制導入による前期・後期科目（A、B）への対応の3点が確認され、次期FD小委員会でのさらなる検討が期待される。

最後に、「学生による授業アンケート」実施に際し多大なるご協力を賜った先生方、またアンケートにお答えくださった学生の皆様に感謝を申し上げますとともに、この報告書をまとめるにあたりサポートしてくださった教務部教育支援係の皆様にも御礼申し上げます。

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 「FD」の再定義にむけて
FD推進委員会委員長
学長 石井清純
- 平成23年度FD研修会
- 「人見知りの学生たち」と共に
総合教育研究部准教授 齊藤明美
- 平成23年度FD推進委員会及び小委員会
の活動報告
- 平成24年度新規採用教員オリエン
テーション
- FD推進委員会の今後の活動予定
- 初年次教育学会第5回全国大会開催
のご案内

「FD」の再定義にむけて

駒澤大学FD推進委員会委員長
学長 石井 清純

本学がFD推進委員会を設置して9年目となる。授業アンケートや各種研修会等の活動も、小委員会を中心に改善を図りながら定着してきており、データも経年的な分析も行えるまでに集積されてきた。

この間に築き上げられてきた経験と実績は極めて貴重である。しかし、今後このまま継続してゆくのでは、FDの意義は、いままで以上のものとはなり得ない。

昨年度より設置された大学院FD推進委員会において、昨年、寺崎昌男先生をお招きして、FDのあり方についてご講演をいただいたが、そこにおいて先生は、「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み」という中教審の解説が、きわめて狭義のFDを指しており、むしろ、カリキュラム方針や、それに基づいた授業間連携の見直しなど、巨視的な教育改善の取り組み全体をFDと考えることが世界的な基準であると指摘された。これはまさしくFDの定義の根幹に係わる重要なご提言である。

本学がいままでのFD活動を維持しつつ、さらに主体的な活動を模索すべき時にあって、このご指摘は極めてタイムリーであった。そこで、本年度第2回のFD推進委員会では、このご講演全文を各学部学科に配布し、FDについての概念規定の再考をお願いしたのである。これは、本年度に実施される、自己点検・評価に向けて、FDに対する意識自体も、しっかりと点検していただきたいと考えてのことでもあった。

他律的で、かつ個々の教員の授業のありかたのみを視野に入れたFDは、「管理」の意識が付き纏う。しかし、そのFDを、広く学部学科の専門教育から、さらに大学全体の教育の本質的な改善に向けての活動と捉えれば、過去の教育資産や教員の先進的な研究活動を、いかに現代社会の要求に適合させ、どのように教育に反映させるかという、まさしく大学にとって本質的かつ普遍的に継続すべき活動ということになる。

今、本学はカリキュラム改革のさなかにある。駒澤大学としての特色ある教育と、社会的な要請に基づいた質保証とを両立させること、すなわち広義のFD活動による、内からなる必要性和外からの要請の明確化が、新しいカリキュラムの実効性の鍵となるともいえるのではないであろうか。主体的かつ積極的な検討をお願いしたい。

平成23年度FD研修会

駒澤大学FD推進委員会ではさまざまなFD活動を行っており、その一環としてFD研修会を毎年行っています。今年度は「平成24年度自己点検・評価に向けて」をテーマに次のとおり開催し、多くの教職員の参加がありました。研修会の実施概要を報告いたします。

日時 平成24年3月15日(木) 14:00~15:00

場所 第二研究館 209 教場

演題 平成24年度自己点検・評価に向けて

内容

1. 「自己点検・評価におけるFD活動の取り組み」

経営学部 猿山義広先生 (FD推進委員会小委員会委員、学部等自己点検・評価運営委員会委員)

2. 「内部質保証の問題点—アウトカム・アセスメントをめぐる—」

仏教学部 吉津宜英先生 (附属研究所自己点検・評価運営委員会委員長)

司会 仏教学部 熊本英人先生 (FD推進委員会小委員会委員長)

<研修会の概要>

今回の研修会では、経営学部の猿山義広先生と仏教学部の吉津宜英先生に『平成24年度自己点検・評価に向けて』をテーマに講演していただきました。

猿山先生は、自己点検・評価に際しての留意すべき事項等についてと授業アンケートについて講演され、授業アンケートの項目では、先生が行われた座談会「学生から見た授業アンケート」の内容をもとに授業アンケートの現状について報告されました。「個々の授業についてのアンケート結果がわからない。また、どういった学生の意見を聞くかも重要」、「改善を目標にするなら、もっと質的調査を行う必要がある」等の声が挙がっているようです。現状の授業アンケートの実態は、学生と教員は一方通行のように捉えられています。学生と教員の意見交換の場を設けることで、授業アンケートがより充実したものになると思われます。以前、先生がまとめられた論文には、「教員の教育努力については、授業の計画性が学生の聴講態度に影響を与えていた」「レベル設定の適否は、主として教員側の問題だが、学生側にも

努力するべき点が見られた」「教育効果は学生と教員の双方の努力によってもたらされていた」等の結果が報告されています。学生と教員が向き合い、互いにコミュニケーションをとることが、質の良い授業を展開させるための重要な点であることを改めて実感しました。

吉津先生は、「内部質保証の問題点—アウトカム・アセスメントをめぐる—」について、大学基準協会主催大学評価シンポジウム(基調講演1「アメリカにおけるアウトカム・アセスメントの取り組み」、2「日本におけるアウトカム・アセスメントの取り組み」、パネルディスカッション「アウトカム・アセスメントの可能性—大学評価を一層有効なものにするために—」)の内容を紹介しながら講演されました。アメリカにおける認証評価は、初期の最小限の基準を確認するレベルから、次第に内部質保証を問うものになり、現在では、「開かれた大学として社会に対して説明責任を問う段階」にまで至っているようです。

パネルディスカッションでは、教育成果は学習成果のみではなく、大学生生活全般の総合力として評価するべきという提案があがっている点、また大学基準協会の点検・評価科目においては、教育内容の成果への評価の流れとPDCAサイクルとの関連性、つまり教育評価の設定がPlan(方針、目標、ポリシーの設定)、Do(教育の実施)、Check(各種の点検)、Action(改善と更なる目標の設定)と共通している点などについて意見が交わされました。国際基督教大学では、ディスカッション中心の講義で学生が書き込んだコメントシートに教員がコメントを付けて戻す取り組みや学生の学習意識調査(回収率40%)等が行われているという例が紹介されましたが、この取り組みについて、「本学のように大教場での講義もある現状ではコメントシートの実行は難しい」との意見も出ました。

今回の講演では、授業アンケートの改善策やFD活動に求められる事項、授業計画の必要性、PDCAサイクルの重要性等、質の良い大学へ向けての取り組み方や方法がたくさん紹介されました。

今回の研修会における講演内容は、平成26年度から導入される初年次教育科目の運営方法にも関わる内容であり、また本学におけるFD活動の在り方を見直すうえでも大変貴重なものだと思います。

(末次美樹・内藤寿子)



左より猿山先生、吉津先生、熊本先生



会場の様子

連載企画：よりよい教育のために

「人見知りの学生たち」と共に

—外国語教育の現場から—

総合教育研究部 准教授 齊藤明美
(FD推進委員会小委員会副委員長)

早いもので今年総合教育研究部外国語第二部門（スペイン語）に就任してから6年目を迎える。

帰国後初めて教壇に立った時に驚いたことは、目前に座る50人あまりの学生の多さであった。また感情表現が豊かで、なにかと自己主張が強いヨーロッパの若者に慣れていて私にとって、無表情で大人しい日本人学生の姿に軽いカルチャーショックを覚えた。スペイン語教授法コースにて一番避けなければいけないことの一つとして教えられたのは、「大人教室内による一方通行の授業」であったので本当に戸惑った。90分間、学生の興味関心を引きつつ緊張感のある授業を保

つのは非常に難しい。特に外国語の授業は彼らの積極的な授業参加なしには成り立たない。「どうすれば学生の授業参加を促進することが出来るのか。」以後、日々この問題に悩まされることになったが、まれに少しの工夫が良い雰囲気を生み出すことも発見した。この場をお借りして外国語授業活性化のためのごく簡単な個人的な取り組みを紹介したい。

まず円滑な授業運営を目指す上で教員と学生の信頼関係が大前提となるが、特に初回の授業（顔合わせ）が重要になるだろう。主に講義の目標や内容、授業の進め方等の説明が中心になるが、担当教員の学生時代のクラブ活動や研究テーマ、そして留学時代についても写真などを交えながら自己紹介している。教員への親近感が学生のその教科への取り組みに良い影響を与えることは誰も各自の学生時代を振り返れば思い当たるだろう。また同時に彼らのことを少しでも知るために簡単なアンケート（授業で期待すること、興味関心、学習歴など）を行い以後の授業展開の参考にしている。教場では涼しげな顔で座っている彼らもふたを開けてみれば「去年エクアドルに旅行し現地の人に良くしてもらったから。」「地元でペルー人の友人がいるので。」「Facebookでスペイン語圏の知り合いがたくさんできたから。」「将来サッカー留学したい。」などと意外な一面を見せてくれる。

また簡単なことであるが、できるだけ早く名前を覚えることも肝心だ。学生の顔を見ながら「〇〇さん、お願いします」と指名すると自然と笑顔になる。このことが教員や教科に対する興味や学習意欲向上に結び付けてくれればなによりだ。それから発音とあいさつの導入としてスペイン語の名前を配っているが、自分や友達の名前は印象に残りやすく知識の定着にも非常に有効である。また各自スペイン語の名前を持つことで授業内だけでも日常と違った自分を表現できるのがとても楽しそうに見える。さらに継続的にコミュニケーションを図りながら学習理解度を測るため、毎回の出欠確認時に既習文法事項を含む簡単な質問を一人一人の顔を見ながら行っている。教員が学生の発する学習言語に肯定的に反応することで、外国語学習に潜在的な苦手意識を持つ学生に「伝わった」という喜びを持たせることが学習意欲の向上や自信につながるのではないかと。当初は視線をそらしがちであった「人見知り」の学生も、前期が終わるころにはこちらの目を見て答えてくれるのはうれしい。

これまで教員と学生間の信頼と尊敬に基づいた関係が授業運営の大前提であることを述べてきたが、それは学生間においても同じだろ

う。外国語教育の効率の向上のみでなく、学生のコミュニケーション能力構築においても重要であると思われる。その中で教員は彼らが他者との関わりをスムーズに築くための仲介役を担うことができる。

初回の授業では簡単な自己紹介を扱うが、実際に「5人の人にあいさつし自己紹介をしましょう」という活動を行っている。もちろん机に座ったままではなく、自由に移動して次の相手を見つけ会話をさせる。教員も参加する。これは単にスペイン語の基本的なあいさつを自然に身につけさせるのみでなく、初対面同士である学生間の緊張を解きほぐし、よりアットホームな授業環境を生みだすのに大いに役に立っている。また時折、短時間でできるゲームを取り入れることにより、硬直化したグループの枠をいったん外して、新たな関係の構築に結びつけることも肝心である。

今回の機会を利用して初習外国語授業活性化の個人的な取り組みを振り返ってみたが、「これだ!」という特効薬は存在しないことをあらためて確認した。なぜなら、一口に「学生」といっても一人ひとりの能力、興味関心は多種多様であり、彼らを取り巻く社会情勢も刻一刻と変化し続けているからだ。また情報ツールの進歩や、それと反比例する生の人間同士の繋がりの希薄化にも外国語教員は注意を向けなければいけない。学生の理解度や状況を察し、授業を組み立てていくフレキシブルな対応が一層求められるだろう。このような中でより効果的な授業を行うためには、各教員の努力の他にやはり教員間の密接な連携と協力体制が必要不可欠であるとおもう。個人レベルの「工夫」も、集まれば大きな財産になる。そういう意味では、教員も学生と共に日々成長しながらより効果的な授業運営の仕方を模索し続けなければならないだろう。



平成23年度FD推進委員会及び小委員会の活動報告

平成23年度

4月

- ・「新規採用教員オリエンテーション」を開催
- ・第1回FD推進委員会及び小委員会を開催

6月

- ・第2回FD推進委員会及び小委員会を開催
- ・2011年度「学生による授業アンケート」(前期)の実施
- ・FD NEWSLETTER 第27号を発行

7月

- ・第3回FD推進小委員会を開催

9月

- ・FD NEWSLETTER 28号を発行
- ・第4回FD推進委員会小委員会を開催

11月

- ・2011年度「学生による授業アンケート」(後期)の実施
- ・平成23年度公開授業の実施(12月8日まで)
- ・第3回FD推進委員会を開催
- ・第5回FD推進委員会小委員会を開催

12月

- ・FD NEWSLETTER 29号を発行

1月

- ・社会人基礎力テストを実施(一部の学科)

2月

- ・FD推進委員会及び小委員会を開催
- ・平成23年度「大学生の就業力育成支援事業の取組評価」を実施

3月

- ・平成23年度FD研修会を実施
- ・FD NEWSLETTER 第30号を発行
- ・平成23年度『FD活動報告書』を発行

平成24年度新規採用教員オリエンテーション

本年度も4月2日に新規採用教員を対象としたオリエンテーションを開催しました。

専任教員9名、非常勤教員42名の計51名の先生方にご出席いただきました。

本年は学内行事の入学式と重なっていたため、第一部の始めにFD推進委員会小委員会委員長の熊本英人委員長（仏教学部教授）より、本学のFD活動について説明いただき、事務局からは、総合情報センターからKOMAnet（コマネット）や、YeStudy（e-learning）等の利用について、図書館からは図書館利用について、教務部からは授業に係る説明を行いました。

その後、石井清純学長より、冊子『駒澤大学の沿革と建学の理念』に基づき本学の建学の理念について、小野浩一教務部長より授業運営にあたっての配慮等について説明がありました。

第一部終了後、希望された先生方を講師控室までご案内し、講師控室利用の説明を行いました。

第二部では、専任教員を対象にした研究費等に関する説明を行いました。

直後に辞令交付を控え、あわただしい時間ではございましたが、多くの先生方にご参加いただきました。

オリエンテーションについて、ご意見、ご提案等ございましたら事務局までお申し出ください。

1. 開催日時

平成24年4月2日（月）13:00～15:00

2. 出席者数

50名（案内状発送 101名）

3. 式次第

- ・学長挨拶
- ・教務部長挨拶
- ・FD推進委員会小委員会委員長挨拶
- ・大学案内（総合情報センター・図書館・教務部）
- ・質疑応答

質疑応答後、講師控室等に案内し解散した。



石井清純学長



小野浩一教務部長



授業に関する説明

平成24年度FD推進委員会の今後の活動予定

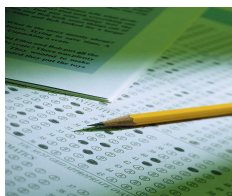
- 平成24年度第3回FD推進委員会
平成24年7月25日(水) 13:00~
- 平成24年度第3回FD推進委員会小委員会
平成24年7月25日(水) FD推進委員会終了後

○2012年度「学生による授業アンケート」(後期)実施の

お知らせ

実施期間：平成24年11月6日(火)~

平成24年11月12日(月)



**対象科目：全科目対象(集中講義科目、演習科目、受講生
が20名未満の科目は除く)**

初年次教育学会第5回全国大会開催のご案内

本学は、2010年度より、機関会員として、初年次教育学会に入会しています。初年次教育学会は、初年次教育に関する研究と実践の有機的发展とその成果の普及による大学教育改善への貢献及び会員相互の研究交流の促進を目的としています。

初年次教育学会第5回全国大会が、9月5日(水)~9月6日(木)の期間に文教学院大学にて開催されます。機関会員は5名まで参加できますので、参加を希望される専任教員は、事務局にお申し出ください。

初年次教育学会第5回全国大会

1) 開催日

平成24年9月5日(水)~9月6日(木)

2) 会場

文教学院大学 本郷キャンパス

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1

編集後記

「FD NEWSLETTER」第31号をお届けいたします。本号は、「FD活動の再検討」をテーマに企画・編集を行いました。

巻頭言では、FD推進委員会委員長の石井清純学長に「「FD」の再定義にむけて」をご執筆いただき、連載企画では、FD推進委員会小委員会副委員長で、総合教育研究部の齊藤明美先生に「「人見知りの学生たち」と共に - 外国語教育の現場から -」をご執筆いただきました。また、3月に開催されたFD研修会の報告も掲載いたしました。

平成26年度のカリキュラム改革に向け、FD活動の成果を教育に活かしていく事が求められています。「広義のFD活動による、内からなる必要と外からの要請の明確化が、新しいカリキュラムの実効性の鍵となる」という石井清純学長のご指摘を拝見し、改めてFD活動の再検討の必要性を実感いたしました。また、語学教育に関する齊藤明美先生のご報告と、FD研修会における猿山義広先生、吉津宜英先生のご報告は、ともに平成26年度から導入される初年次教育科目の運営方法にも関わる貴重なものだと思います。

第27号の編集後記にも記されていますが、「FD NEWSLETTER」の役割は、情報の共有の場を提供することにあると考えます。今後とも、貴重なご報告や忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

最後に、新学期の公務ご多忙の折、ご協力いただきました先生方に深く感謝申し上げます。(末次美樹・内藤寿子)

【タイトル横の写真は、禅文化歴史博物館】

FD NEWSLETTER Jun. 2012 第31号

発行日：2012年6月30日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

Tel. 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- キャンパス環境の改善と事業内容の見直し
 学生部長 文学部教授
 東條光雅
- 2012 年度「学生による授業アンケート」(前期) 集計結果について
- 本学における教育の質保証と向上
 経営学部教授 高井 徹雄
- FD推進委員会の今後の活動予定
- 2012 年度「学生による授業アンケート」(後期) 実施のお知らせ
- FD研修会

キャンパス環境の改善と事業内容の見直し

学生部長
文学部教授 東條 光雅

駒澤キャンパス再開発の必要性が謳われて久しいが、計画の議論が長引いている間に、10期以上の学生諸君がキャンパスを巣立って行ってしまった。将来の学生のためにはキャンパス再開発は必要不可欠であるが、だからといって、今、在学している学生諸君のキャンパス環境を疎かにしてもよいことにはならないだろう。

そこで、近年、1号館ピロティにテーブルと椅子を70セット(210人分)、構内にベンチを15台(90人分)設置して学生が自由に使えるスペースの拡大を図り、また、トイレは、洋式便器・温水洗浄機能付便座・消音機能・パウダーコーナー等を完備したモダンなものに改修した。さらに今年度は、大学食堂も業者を入替え、内装や照明もリニューアルした。これらは、教育後援会からの支援を受けながら、学生部も関わって本学が行ってきたキャンパス環境の改善である。

また地域環境整備委員会では、喫煙所のあり方や通学路問題についても取り組んでおり、不十分ではあるものの徐々に成果をあげてきている。通学路においては、北門の利用時間延長を実現し、入構時だけでなく退構時の利用が可能となったことで、利便性が向上したと言えよう。

さらに学生部では、環境のみならず、所管する事業の中身についても見直しを行ってきている。これまでは予算に特段の制限がなければ、「学生のために」という「大義名分」の下、費用対効果を深く考えずに事業を行ってきたように思われる。現在、学生部としては、学生有志が実行委員会を立ち上げて学生主導で行われている学長課外講座やオータムフェスティバルなどに関しては、でき得る限り多くの学生の主体的な関わりを得て、学生諸君と大学の両者にとって有益な行事となるよう側面的な支援をしてゆければと考えている。ややもすると学生部の支援が景品や賞品、あるいは飲食の提供だけしか印象に残らないものとなってしまっただが、そうではなく、種々の活動を通して学生諸君が大学生としての自己実現や自己有用感・達成感を得られるように、また、それによって駒澤大学の社会的認知や地域社会との融合や協調関係の促進が図れる一助となることを学生部としての事業遂行の目標としている。

また、学生窓口を有する学生部としては、学生諸君がアクセスし易いやり様が求められている。全学的なFDや財政再建と共に、よりよい学生サービスを実現できるように事務部門においてもできるところから少しずつでも改善してゆければと願っている。

2012年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2012年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成24年6月18日(月)～6月23日(土)
対象科目	455科目
対象者数	35,195人
実施科目数	455科目(100%)
有効回答数	19,508枚(55.4%)

【質問項目】

- Q 1. 時間どおりに出席した割合はどのくらいですか。
5: 100～80% 4: 79～60% 3: 59～40% 2: 39～20%
1: 20%未満
- Q 2. 授業に熱心に取り組みましたか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない
1: 全くそう思わない
- Q 3. この授業の予習・復習にあてた時間は、1週間に何時間くらいでしたか。
5: 5時間以上 4: 約4時間 3: 約3時間 2: 約2時間
1: 1時間未満
- Q 4. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)
5: シラバスを読んで興味を持った 4: 資格の取得
3: 周りの人に勧められた 2: 必修科目又は選択必修科目
1: その他
- Q 5. 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
2: はい 1: いいえ
- Q 6. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
2: はい 1: いいえ
- Q 7. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない
1: 全くそう思わない 5.
- Q 8. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

- 5: 早すぎる 4: やや早い 3: ちょうどよい
2: やや遅い 1: 遅すぎる
- Q 9. 教科書・資料・教材・器具・用具等は効果的に使われていましたか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: どちらともいえない
2: そう思わない 1: 全くそう思わない
- Q 10. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
5: 非常に感じた 4: 感じた 3: どちらともいえない
2: あまり感じなかった 1: 全く感じなかった
- Q 11. 教え方はわかりやすかったですか。
5: 非常にわかりやすい 4: ややわかりやすい 3: ふつう
2: ややわかりにくい 1: 非常にわかりにくい
- Q 12. この科目の授業内容をどのくらい理解できましたか。
5: 非常に理解できた 4: やや理解できた 3: ふつう
2: あまり理解できなかった 1: 全く理解できなかった
- Q 13. この授業で受けた知的刺激に対する満足度はどうでしたか。
5: 非常に満足 4: 満足 3: どちらともいえない
2: 不満 1: 非常に不満
- Q 14. ～Q 16. 担当教員による個別質問
- ◇自由記述
- Q 17. この授業の良かった点を具体的に記入してください。
- Q 18. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
- Q 19. 担当教員による個別質問

【無記名式と記名式の併用、学年別平均値】

記名の有無の割合は、図1のとおりである。記名の有無別の平均値は表1のとおりである。また、学年別の平均値は、表2のとおりである。

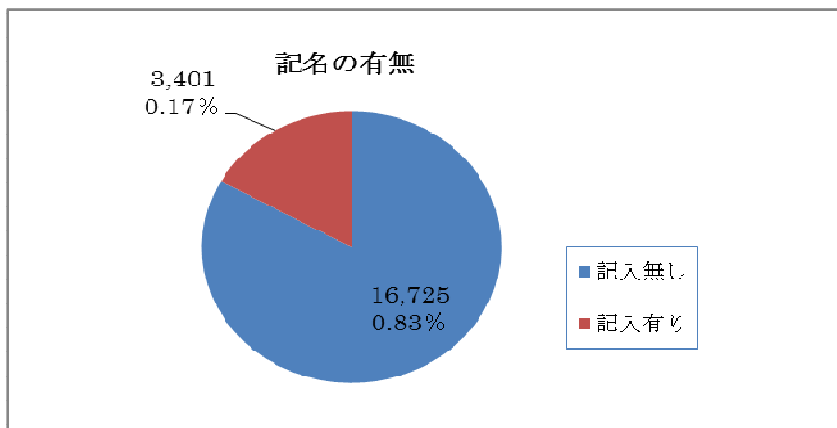


図1 記名の有無の割合

表1 記名の有無別の平均値

学科・専攻	氏名記入無	氏名記入有
Q1 平均値	4.7	4.8
Q2 平均値	4.0	4.3
Q3 平均値	1.5	1.5
Q4 平均値	3.2	3.0
Q5「はい」回答率	95.3	96.4
Q5「いいえ」回答率	4.7	3.6
Q6「はい」回答率	98.2	98.7
Q6「いいえ」回答率	1.8	1.3
Q7 平均値	4.1	4.3
Q8 平均値	3.4	3.3
Q9 平均値	3.9	4.1
Q10 平均値	4.1	4.4
Q11 平均値	3.8	4.2
Q12 平均値	3.7	4.0
Q13 平均値	3.8	4.1
Q14 平均値	3.6	4.1
Q15 平均値	3.4	3.7
Q16 平均値	3.4	3.8
有効回答数	16,725	3,401

表2 学年別の平均値

学科・専攻	1年	2年	3年	4年	その他
Q1 平均値	4.8	4.8	4.7	4.5	4.8
Q2 平均値	4.2	3.9	3.9	4.0	4.1
Q3 平均値	1.5	1.4	1.4	1.5	1.7
Q4 平均値	2.7	3.4	3.6	3.7	3.7
Q5「はい」回答率	95.1	95.7	96.3	95.5	95.7
Q5「いいえ」回答率	4.9	4.3	3.7	4.5	4.3
Q6「はい」回答率	97.9	98.5	98.7	98.6	96.8
Q6「いいえ」回答率	2.1	1.5	1.3	1.4	3.2
Q7 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2
Q8 平均値	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3
Q9 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0
Q10 平均値	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	3.8	3.8	3.9	4.0
Q12 平均値	3.8	3.7	3.6	3.8	3.9
Q13 平均値	3.9	3.8	3.8	4.0	3.9
Q14 平均値	3.9	3.4	3.4	3.8	3.4
Q15 平均値	3.7	3.1	3.7	3.4	3.7
Q16 平均値	3.6	3.2	3.4	3.7	3.6
有効回答数	7,696	6,168	3,482	1,977	98

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプのマーク欄を追加した。なお、回答は任意とした。（表3 入試形態別の項目平均値）

表3 入試形態別の項目別平均値

学科・専攻	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.9	4.8
Q2 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	4.3	4.0	4.0	4.4	4.0
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.5	1.9	1.8	1.6	1.7	1.5
Q4 平均値	3.1	3.1	3.2	3.4	3.1	3.2	3.4	3.0	3.2	3.5	3.2
Q5「はい」回答率	95.3	94.8	96.8	94.7	96.1	95.5	96.2	97.6	97.2	96.8	95.6
Q5「いいえ」回答率	4.7	5.2	3.2	5.3	3.9	4.5	3.8	2.4	2.8	3.2	4.4
Q6「はい」回答率	98.3	98.6	98.5	97.5	99.2	97.7	98.9	100.0	99.1	96.8	98.0
Q6「いいえ」回答率	1.7	1.4	1.5	2.5	0.8	2.3	1.1	0.0	0.9	3.2	2.0
Q7 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.4	4.2	4.3	4.4	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.4	3.1	3.4
Q9 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	3.9	4.0	4.2	3.8
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.3	4.4	4.5	4.0
Q11 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	3.9	4.3	3.6
Q12 平均値	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	4.3	4.0	3.8	4.2	3.6
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.2	4.1	4.0	4.1	3.7
Q14 平均値	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	2.0	4.1	3.8	3.5
Q15 平均値	3.4	3.2	3.3	3.5	3.4	3.6	3.3	2.0	3.0	4.2	3.9
Q16 平均値	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	2.0	-	4.2	3.5
有効回答数	7,246	956	1,327	404	806	1,027	267	42	107	64	797

表4 学科・専攻別の項目別平均値

学科・専攻 区分	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9
Q2 平均値	4.2	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.0	4.1	4.0
Q3 平均値	1.4	1.3	1.6	1.5	1.5	1.4	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	3.7	3.9	3.4	3.5	3.4	3.7	3.8	3.7	3.8
Q5「はい」回答率	97.0	97.0	96.9	96.7	95.5	98.2	96.8	96.5	97.1
Q5「いいえ」回答率	3.0	3.0	3.1	3.3	4.5	1.8	3.2	3.5	2.9
Q6「はい」回答率	99.4	100.0	98.5	99.6	100.0	99.1	99.5	99.2	100.0
Q6「いいえ」回答率	0.6	0.0	1.5	0.4	0.0	0.9	0.5	0.8	0.0
Q7 平均値	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2
Q8 平均値	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.0
Q10 平均値	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
Q11 平均値	4.2	4.3	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8
Q12 平均値	4.1	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.8
Q13 平均値	4.1	4.1	4.2	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8
Q14 平均値	4.2	4.4	3.5	3.7	4.2	2.8	2.9	3.5	2.1
Q15 平均値	3.7	3.8	3.5	3.3	3.5	3.0	2.7	3.3	1.9
Q16 平均値	3.8	3.8	4.0	3.2	3.5	2.8	2.7	3.5	1.7
有効回答数	165			273			618		

学科・専攻 区分	(文学部) 英米文			(文学部) 地域文化			(文学部) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9
Q2 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.3	4.1	4.0	4.1
Q3 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.2	1.4	1.4	1.3
Q4 平均値	3.5	3.5	3.6	3.3	3.2	3.6	3.2	3.1	3.5
Q5「はい」回答率	97.8	97.5	98.3	98.8	99.5	96.3	96.5	96.4	96.7
Q5「いいえ」回答率	2.2	2.5	1.7	1.2	0.5	3.7	3.5	3.6	3.3
Q6「はい」回答率	99.8	100.0	99.4	98.8	98.9	98.1	97.5	97.9	96.7
Q6「いいえ」回答率	0.2	0.0	0.6	1.2	1.1	1.9	2.5	2.1	3.3
Q7 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1
Q9 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2
Q12 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.2	3.9	3.8	4.1
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.3	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	3.8	4.1	2.0	4.2	4.2	-	3.4	4.1	1.0
Q15 平均値	3.1	3.4	1.8	3.8	3.8	-	3.0	3.5	1.5
Q16 平均値	3.2	3.7	1.6	4.0	4.0	-	2.6	3.2	1.0
有効回答数	456			245			286		

学科・専攻 区分	(文学部)日本史学			(文学部)外国史学			(文学部)考古学		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.8
Q2 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.8
Q3 平均値	1.3	1.2	1.4	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2
Q4 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.8	3.6	3.5	3.7
Q5「はい」回答率	95.8	96.0	95.5	96.7	96.7	96.7	98.0	99.1	96.6
Q5「いいえ」回答率	4.2	4.0	4.5	3.3	3.3	3.3	2.0	0.9	3.4
Q6「はい」回答率	98.8	99.3	98.3	99.7	99.3	100.0	99.0	100.0	97.7
Q6「いいえ」回答率	1.2	0.7	1.7	0.3	0.7	0.0	1.0	0.0	2.3
Q7 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.1
Q8 平均値	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1
Q9 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9		3.8	3.7	3.9
Q12 平均値	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.6	3.5	3.8
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.7	3.6	3.9
Q14 平均値	3.0	3.6	2.6	2.9	3.0	2.9	3.3	4.7	2.3
Q15 平均値	2.7	3.0	2.6	3.1	3.5	2.8	3.0	4.7	1.8
Q16 平均値	2.4	2.6	2.3	2.4	3.3	1.8	2.9	4.3	1.8
有効回答数	574			334			205		

学科・専攻 区分	(文学部)社会学			(文学部)社会福祉学			(文学部)心理		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7
Q2 平均値	3.6	3.5	3.8	4.0	4.1	3.9	4.0	4.1	3.9
Q3 平均値	1.1	1.1	1.1	1.4	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	3.3	3.2	3.6	3.6	3.5	3.8	3.6	3.2	4.0
Q5「はい」回答率	95.8	95.5	96.2	98.0	98.0	98.0	93.2	93.2	93.1
Q5「いいえ」回答率	4.2	4.5	3.8	2.0	2.0	2.0	6.8	6.8	6.9
Q6「はい」回答率	96.0	94.6	98.7	96.2	96.7	95.5	99.3	99.3	99.2
Q6「いいえ」回答率	4.0	5.4	1.3	3.8	3.3	4.5	0.7	0.7	0.8
Q7 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3
Q8 平均値	3.2	3.2	3.1	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3
Q9 平均値	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0
Q10 平均値	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4
Q11 平均値	3.7	3.4	4.2	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1
Q12 平均値	3.5	3.3	3.9	3.8	3.7	3.8	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.7	3.5	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.1
Q14 平均値	3.6	3.6	3.5	4.3	4.6	4.3	4.1	4.3	2.5
Q15 平均値	3.3	3.1	4.2	4.1	4.0	4.1	3.2	3.3	2.5
Q16 平均値	4.1	4.2	3.8	4.0	-	4.0	4.1	4.4	2.5
有効回答数	688			811			278		

学科・専攻 区分	(経済学部)経済A			(経済学部)経済B			(経済学部)商		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	5.0	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	4.1	4.0	4.2	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.6	1.4	2.0	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値	3.2	3.2	3.3	3.8	3.9	3.8	3.3	3.3	3.3
Q5「はい」回答率	94.0	92.0	97.2	92.3	88.9	100.0	93.9	91.8	96.5
Q5「いいえ」回答率	6.0	8.0	2.8	7.7	11.1	0.0	6.1	8.2	3.5
Q6「はい」回答率	98.5	97.9	99.5	100.0	100.0	100.0	98.6	98.2	99.0
Q6「いいえ」回答率	1.5	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	1.8	1.0
Q7 平均値	4.1	4.0	4.3	3.9	3.7	4.2	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.4	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.4
Q9 平均値	3.8	3.7	4.1	4.0	3.8	4.4	3.8	3.8	3.8
Q10 平均値	4.2	4.1	4.3	4.6	4.4	4.8	4.1	4.2	4.0
Q11 平均値	3.9	3.8	4.1	4.3	4.1	4.6	3.8	3.8	3.8
Q12 平均値	3.8	3.7	4.0	3.9	3.7	4.4	3.7	3.7	3.7
Q13 平均値	3.9	3.8	4.0	4.0	3.8	4.4	3.8	3.8	3.8
Q14 平均値	3.7	3.5	3.8	3.3	3.0	3.3	3.6	3.8	3.2
Q15 平均値	3.6	3.6	3.5	3.0	-	3.0	3.6	3.7	3.4
Q16 平均値	3.6	3.7	3.4	-	-	-	3.6	3.6	3.6
有効回答数	2,138			14			1,677		

学科・専攻 区分	(経済学部)現代応用経済			(法学部)法律A			(法学部)法律B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	3.9	3.9	3.9
Q3 平均値	1.6	1.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.6	1.2
Q4 平均値	3.0	3.0	3.1	3.2	3.0	3.9	2.9	2.6	4.1
Q5「はい」回答率	96.0	96.1	95.9	94.4	94.2	94.9	93.4	93.2	94.2
Q5「いいえ」回答率	4.0	3.9	4.1	5.6	5.8	5.1	6.6	6.8	5.8
Q6「はい」回答率	98.3	98.0	98.9	99.2	99.1	99.5	96.5	96.1	98.1
Q6「いいえ」回答率	1.7	2.0	1.1	0.8	0.9	0.5	3.5	3.9	1.9
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3	4.0	4.0	4.1
Q8 平均値	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.7	3.9	3.3
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1	3.8	3.8	3.9
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	3.9	3.9	3.9
Q11 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	4.1	3.4	3.4	3.7
Q12 平均値	3.6	3.6	3.7	3.8	3.6	4.1	3.4	3.3	3.8
Q13 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	4.1	3.5	3.4	3.8
Q14 平均値	3.6	3.7	3.6	2.8	2.9	2.0	2.7	2.6	4.0
Q15 平均値	3.4	3.3	3.6	3.4	3.6	2.3	2.7	2.7	4.0
Q16 平均値	3.5	3.5	3.3	3.5	3.7	2.0	2.4	2.3	4.0
有効回答数	1,569			666			262		

学科・専攻 区分	(法学部)政治			(経営学部)経営A			(経営学部)経営B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.5	4.1	
Q2 平均値	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	4.1	3.9	4.3
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.4	1.0	1.8
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	3.6	3.6	3.7	3.5	3.1	3.8
Q5「はい」回答率	95.8	96.7	94.7	94.6	93.7	97.0	100.0	100.0	100.0
Q5「いいえ」回答率	4.2	3.3	5.3	5.4	6.3	3.0	0.0	0.0	0.0
Q6「はい」回答率	99.0	98.9	99.0	98.8	98.6	99.5	100.0	100.0	100.0
Q6「いいえ」回答率	1.0	1.1	1.0	1.2	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0
Q7 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.5	4.6	4.4	4.8
Q8 平均値	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.9	4.7	5.0
Q11 平均値	4.1	4.2	3.9	4.3	4.2	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	3.9	4.0	3.7	4.1	4.0	4.4	4.3	4.2	4.4
Q13 平均値	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値	4.0	4.1	3.3	3.9	3.9	4.0	3.7	-	3.7
Q15 平均値	4.0	3.9	5.0	3.6	3.7	3.4	3.0	-	3.0
Q16 平均値	3.9	3.9	5.0	3.8	3.8	5.0	-	-	-
有効回答数	669			698			20		

学科・専攻 区分	(経営学科)市場戦略			(医療健康科学部)			(GMS 学部)		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8
Q2 平均値	4.1	4.1	4.4	4.0	4.0	3.8	4.0	3.9	4.2
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.7
Q4 平均値	3.6	3.5	3.9	2.1	2.1	2.1	2.9	3.0	2.7
Q5「はい」回答率	93.7	92.7	97.6	95.0	97.1	84.6	96.1	96.5	95.6
Q5「いいえ」回答率	6.3	7.3	2.4	5.0	2.9	15.4	3.9	3.5	4.4
Q6「はい」回答率	99.0	99.0	98.8	95.9	95.1	99.5	98.6	99.0	98.1
Q6「いいえ」回答率	1.0	1.0	1.2	4.1	4.9	0.5	1.4	1.0	1.9
Q7 平均値	4.3	4.3	4.4	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3	3.2	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	4.2	4.1	4.4	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.4	4.4	4.6	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q11 平均値	4.2	4.1	4.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.7	4.0
Q12 平均値	4.1	4.0	4.5	3.5	3.5	3.4	3.7	3.5	3.9
Q13 平均値	4.1	4.1	4.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	4.0
Q14 平均値	4.2	4.2	3.7	3.1	3.0	3.1	3.8	3.9	3.6
Q15 平均値	3.8	3.9	3.2	3.4	3.3	3.7	3.6	3.8	3.5
Q16 平均値	3.9	4.1	2.7	2.9	2.8	3.3	3.7	3.8	3.6
有効回答数	399			1,319			5,144		

集計結果について

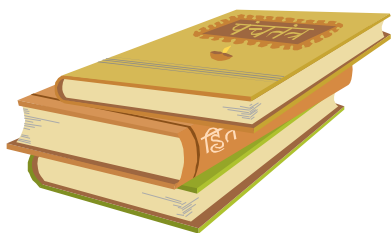
「学生による授業アンケートの前期の集計結果」が出ました。

皆様もご存じのとおり、文部科学省が大学別のデータベースを作成する旨の報道が昨今盛んにされております。教育研究活動等の状況に関する項目として、開設科目のシラバス等の教育内容・方法、教員組織や施設・設備等の教育環境及び研究活動に関する情報、評価結果に関する積極的な提供が求められています。このような社会情勢もあってか、今回の質問項目Q7に「授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか」とシラバスに関連した質問項目が新装新たに2年ぶりに再度登場しています。この質問に対する評価を全学部の学年別でみると4.1~4.3で比較的高い値を示しています。更に、Q11の教え方やQ13の授業満足度の評価も3.8~4.0と比較的高い値を示しています。

しかしQ12の授業理解度に対しては3.6~3.9と上記の3つの質問項目に比べ若干伸び悩んでいます。これはもしかすると毎年最も低い評価結果を示しているQ3の学生が予習、復習に費やす時間に関連があるかもしれません。Q3の結果は1.4~1.7、つまり1時間未満と2時間に○をした学生が多いと考える事が出来ます。予習復習したいような授業の工夫も必要となって来ているようです。

教員の皆様が毎回の授業アンケートのデータをうまく収集、分析、考察し、新たな教育、授業のやり方を考え、それを試してみて、また授業アンケートを活用するという様な授業改善のPDCAサイクルにお役に立てばと思います。

(熊坂さつき)



連載企画：よりよい教育のために

本学における教育の質保証と向上

経営学部長 高井 徹雄

本学では、昨年度より全学的カリキュラム改革に着手、平成26年度実施に向け計画は現在進行形である。各学部等において、初年次教育なども加え、教育課程編成の全体を見直す取組みは、確かに「改革」と呼ぶに相応しい。ただし、改革は必ずしも「カイゼン」に繋がるとは限らない。各学部等における教育の質保証・向上に実質的な改善が伴わなければ、改革は画竜点睛を欠くことになる。この愚を犯さないためにも、これまでのFDの取組みについて、考えを整理しておく必要がある。

外来語「ファカルティ・ディベロップメント」は、カリキュラム編成の自由化を謳った、平成3年の大学審議会答申のなかで、「教員の教授内容・方法の改善・向上への取組み」の意で使われたという。以降、多くの大学で「授業評価アンケート」が行われるようになり、本学でも9年前から実施。しかし、それだけでは、明らかに、FDとして不十分である。文字通りの解釈は、ファカルティ=大学の教員組織における、ディベロップメント=能力開発である。しかし導入当時も今も、教育に関する成果主義的報酬体系が成立する米国の大学と、そうでない我国では、教員の置かれる状況は異なっていた。その為、ジャパナイズドFDは意図的に矮小化されたのかもしれない。

しかし現在では、先のニューズレターで石井学長が指摘されたように、「カリキュラム方針や、それに基づいた授業間連携の見直しなど、巨視的な教育改善の取組み全体をFDと考える」再定義がなされるようになった。この趨勢は、FD=「大学の教員組織における組織的な能力開発」という文字通りの意味に回帰して、至極尤もである。ただ、再定義されたFDをどのように実践すべきかについて、まだ具体的な答えはない。

経営学の立場で私論を申せば、組織論の視点がFD実践の道標になると思う。まず、大学の教員組織を、学生達に上質な教育サービスを提供する「協働体系」と捉え、これを機能させるために3つの要素に着目する。

- 1) 組織目標：例えば、学部のディプロマポリシー
- 2) 個人目標：個々の教員の教育・研究に対するモチベーションと到達目標
- 3) コミュニケーション：個人目標と組織目標の間に生ずるコンフリクト解消のため、授業改善や連携を検討するワーキング・グループを設置。教員間の意思疎通を図って、組織的教育サービスへのモラル向上を目指す。
今後、学部メンバーと相談しながら、具体化を進めたいと考えている。

平成24年度FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成24年度第4回FD推進委員会小委員会
平成24年10月24日（水）

*FD活動についてご意見がありましたら、各学部等のFD推進委員会小委員会委員まで申し出てください。

2012年度学生による授業アンケート（後期）実施のお知らせ

実施期間：平成24年11月6日（火）～12日（月）

対象科目：全科目対象（集中講義科目、演習科目、受講生が20名未満の科目は除く）

平成24年度FD研修会

平成24年度「FD研修会」を下記のとおり開催いたします。今回は湘北短期大学准教授の伊藤善隆先生をお招きし本学の初年次教育について教職員全員で考える機会にしたいと考えています。

記

日時：平成24年11月14日（水）

午後2時40分～午後4時10分（予定）

場所：2研-209 教場

講師：湘北短期大学総合ビジネス学科准教授

伊藤 善隆 先生

演題：「初年次教育とコミュニケーション教育

—日本語リテラシー教育の実践例を中心に—

以上

編集後記

「FD NEWSLETTER 32号」をお届けします。本号は、学生による授業アンケート前期の集計結果を特集しています。本文中の熊坂委員の指摘にもあるように、Q11の教え方、Q13の授業満足度に関しては比較的高い評価をしているのに対し、肝心のQ12の授業理解度に関しては、やや低い値を示しています。これを熊坂委員は、Q3の予習、復習に費やす時間の値（1.4～1.7）と関連があるのではないかと分析されています。学生があまり予習復習をしないという傾向はとくに一般の講義科目について顕著にみられます。

この点に関して思い出すことがあります。アメリカの大学で講義に参加した日々のことです。私は留学生ではなかったため比較的気楽に授業に出る身分でしたが、少人数のクラスはもちろん、大人数の教室でも先生がどんどん質問をし、学生に回答を迫るのには驚きました。そのかわり、担当の先生は学期開始前に、各週の読了すべき文献（書名、必読箇所など）や、関連の資料・材料、自習課題について細かく指示してくれていました。授業中の先生の質問に対してよい回答をすると先生が褒めてくれ、それが成績に反映される。大きな教室の場合は院生のアシスタントがいて回答した学生に紙を配り、記名させるなどお手伝いをしていました。時折一斉にQuizといって小テストがある。だから予習しないで授業に出たらまず良い成績を取るのはむずかしい（アメリカの場合、履修科目の成績の良し悪しが奨学金の額や就職にも関係してくるといわれます。必死なわけですね）。

教員個人の努力、工夫でできること、制度そのものの改革が必要なことなど、学生の学習態度や授業理解を改善するためのヒントがいろいろ隠されているように思いました。

最後になりましたが、お忙しいなか、ご協力くださった先生がたに厚く御礼申し上げます。（白水繁彦）

【タイトル横の写真は、ゼミ合宿に向かうバス】

FD NEWSLETTER Sep. 2012 第32号

発行日：2012年9月30日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

（事務局：教務部）

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 募生も入試も教育の一環
入学センター所長
総合教育研究部 教授 小川 隆
- 平成 24 年度公開授業
経営学部教授 桑原 正行
法学部講師 三浦 康平
総合教育研究部講師 三木 望
- FD 研修会
- FD 推進委員会の今後の活動予定

募生も入試も教育の一環

入学センター所長

総合教育研究部 教授 小川 隆

よい教育を行う大前提が、学生数の確保にあることは、言うまでもない。改組で募集人員を増やしても、新しい入試制度を導入しても、そこに志願者が集まってくれなければ、お手上げである。制度の改変や時の勢いだけで志願者が集まる時代でないことは、そのために苦労してきた人々、すべてに共通の実感であろう。

この3年半あまりの間、入学センターは「学生募集も入学試験も教育の一環」と位置づけてきた。派手なイメージ宣伝も奇抜な数集めの入試も行わず、実直に教育に取り組む姿勢は、しだいに高校生や保護者に知られるようになってきた。難問奇問を排し、高校の基礎的学習項目をきちんと整理して真正面から問うという入試出題も、受験勉強でなく高校の勉強を基礎からきっちりやってきてほしいという本学の姿勢の表れとして、高校の先生方から高い信頼と好感を寄せられている。「駒澤大学の過去問題、よく学期末のまとめに利用させてもらってますよ」、高校の先生方からそう言われる時は、実にうれしい。出題の先生方の苦心と丹精の賜物である。

むろん、先生がたによる模擬授業の出講、職員のみなさんによる「進学アドバイザー」出張、そして同窓会・教育後援会からの物心両面の力強いご支援、いずれの意義と効果も逸せられない。なかでも特筆したいのは、オープンキャンパスでの在校生諸君の活躍である。自ら参加してくれる学生もいる。博物館学の実習として学生を組織的に参加させて下さる先生や、企画・運営の实地訓練の場と位置づけて、ゼミをあげて学科プログラムに取り組んで下さる先生もある。ボランティア同然なのに、みんなこんなに一所懸命やってくれて……、思わず胸が熱くなる。でも学生たちは、みな、やってよかったと言ってくれる。高校生に自分たちの大学生活を説明することで、自らの学びの意義を発見し、自覚することができたと言ってくれ、その経験が就職活動でも役に立ったと喜んでくれる。高校生の成長の一助になるようにと考えて募生と入試に取り組むことが、実は大学自身にとっても貴重な学びの機会になっているのではないか、そう実感させてくれる笑顔である。

「募生も入試も教育の一環」——いつまでも、この心を忘れないでほしいと、切に願う。


平成24年度公開授業

平成24年度「公開授業」を以下のとおり実施した。「公開授業」は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。公開授業は、各学部等のFD推進部会のご協力により、各学部等主体にて実施された。

学部	担当教員 (敬称略)	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	角田 泰隆	11月27日 (火)	3	禅研	坐禅実習(全学共通科目)
	池上 光洋			坐禅堂	
	熊本 英人	11月28日 (水)	3	禅研	坐禅実習(全学共通科目)
	池上 光洋			坐禅堂	
文学部	モート、セーラ	12月5日 (水)	3	9-282	イギリス文学特講V
経済学部	松本 典子	11月26日 (月)	1	1-301	非営利組織論b
	荒木 勝啓		3	2研-102	応用ミクロ経済学
	姉齒 暁		3	8-360	消費経済論 ※途中入退室不可
	溝手 芳計		3	8-151	農業政策
	松田 健		4	8-255	経営学基礎、経営学総論
	長山 宗広		4	8-256	地域経済論b
	飯田 泰之		5	1-401	経済政策
	清水 卓	11月27日 (火)	1	8-465	現代西欧経済論
	鄭 章淵		2	8-465	アジア経済論
	小杉 修二		3	8-152	中国経済論
	森田 佳宏		3	9-391	会計監査論
	鈴木 伸枝		3	8-150	ゲーム理論b
	阿部 弘		4	9-392	市民と経済学b、社会思想史b
	山縣 弘志		4	1-403	ロシア・東欧経済論
	吉田 真広		4	8-257	貿易史
	石川 純治		5	9-177	会計情報論
	代田 純		11月28日 (水)	1	9-391
	岩波 文孝	1		1-401	企業管理論b、経営管理論b
	荒木 勝啓	2		8-256	マクロ経済学、経済理論Ⅱ・マクロ経済学、経済原論
	有井 行夫	2		8-151	経済理論A・資本の原理、経済理論ⅠA・資本の原理
	谷敷 正光	2		8-360	教育経済論

経済学部	松田 健	11月28日 (水)	2	2研-101	現代企業論b
	友松 憲彦		3	2研-101	西洋経済史
	村松 幹二		3	1-402	契約理論
	北口 りえ		3	8-151	税務会計論
	大石 雄爾		4	9-177	経済理論B・経済システムの原理、 経済理論IB・経済システムの原理
	北口 りえ		4	1-401	簿記論
	番場 博之	11月29日 (木)	1	1-301	流通政策、商業政策
	小林 正人		1	8-151	日本経済論
	飯田 泰之		1	1-401	企業経済学b
	浅野 克巳		2	8-256	マクロ経済学、経済理論II・マクロ経済学、経済原論
	小栗 崇資		3	1-301	財務会計論
	長山 宗広		3	2研-203	起業論
	瀬戸岡 紘		4	1-301	アメリカ経済論
	舘 健太郎		4	8-255	産業組織論b
	中濟 光昭		6	9-392	就業力基礎IV
	長山 宗広		6	2研-101	就業力基礎IV
	矢野 浩一		6	9-391	就業力基礎IV
	阿部 弘		11月30日 (金)	2	8-255
	吉田 真広	2		1-401	国際金融論
	石川 祐二	2		8-360	会計学基礎、会計学総論
	鈴木 伸枝	2		8-150	公共経済学b
	石川 祐二	3		8-360	管理会計論b
	小西 宏美	3		1-404	グローバル・ファイナンス
	村松 幹二	3		8-362	制度の経済学
	阿部 弘	4		8-466	社会経済学b
	山縣 弘志	4		2研-203	経済学概説
	浅田 進史	4		9-391	経済史
	光岡 博美	5		8-255	社会政策
	代田 純	5		2研-203	ファイナンス基礎
	吉田 敬一	12月1日 (土)	1	2研-102	中小企業政策論
	曾我 信孝		3	2研-102	マーケティング
	松井 柳平		3	8-466	ミクロ経済学、経済理論II・ミクロ経済学、経済原論

法学部	三浦 康平	11月30日 (金)	3	9-390	商法総則・商行為法
経営学部	桑原 正行	11月29日 (木)	2	9-391	財務会計論
医療健康 科学部	金子 順一	11月15日 (木)	2	9-289	電子工学
GMS 学部	吉田 尚史	11月27日 (火)	2	1-401	インターネットとメディア
総合教育 研究部	三木 望	12月3日 (月)	2	4-204	英語ⅡB
総合教育 研究部	吉中 俊貴	12月4日 (火)	4	7-407	初級ドイツ語(文法)

財務会計論の授業方針

経営学部教授 桑原 正行

2012年4月に駒澤大学経営学部に着任し、久しぶりに学部生対象の授業を担当することになった。しかも履修者300名以上の授業である。前任校では、社会人を対象としたビジネススクール(MBA)であり、受講者は多くても20名程度であった。そのため、レポート課題についても個別にフィードバックし、1人30分程度の個別対応をとることができた。しかしながら、現在の状況ではそのような対応は不可能である。ただ、前任校での経験を生かして、今の学部生対象の授業において意識していることは、次の三点である。第一の点は、財務会計に対する関心を持ってもらうために、なるべく現在の社会経済状況や特定の企業を対象とした事例を用いることである。具体的なイメージを与えることが、学生の関心を高めると思い、本年度はシャープ株式会社、日本マクドナルド株式会社や株式会社モスフードサービスを事例として扱っている。第二の点は、第一の点とも関連するが、あまり理論的にならず、経営学のそして企業活動の一領域としての会計という認識を与えることである。税理士や公認会計士といった専門的職業試験のための会計理論ではなく、多くの学生が卒業後に進むであろう企業に入ってから基本的知識を身につけてもらいたい。第三の点は、実際の興味あ

る企業の有価証券報告書を自分の力で分析してもらうことである。このために、夏のレポート課題として、自分の出身地の上場企業を対象とした。これは将来の就職活動として、地元企業についてなるべく早い時期に意識してもらいたいためである。レポートにも、出身地の企業を知ることができてよかったという感想があった。

いずれにしても、現在はまだいろいろと試行錯誤している状況であり、これからもより解りやすく、より興味をもてる授業に改善していきたいと思っている。



証券取引における勧誘ルール：「説明義務」と「適合性原則」の関係について

法学部講師 三浦 康平

現代社会においては、専門業者が扱う商品について当該業者と一般人が保有している情報の量・質に差があるのが常態である。業者と一般人の間の紛争はこうした情報格差が原因となって生じることが多い。証券取引もこの例外ではない。古典的な（そして潜在的には将来的ともいえる）紛争発生原因は、契約の対象となっている金融商品の内容について購入者側（一般人）が理解していないというものである。具体的には商品が持つリスク（元本欠損の可能性等）のことである。金融商品は何らかの価値・権利を売るものであり、形のあるモノについての取引ではない（有価証券「券」は？という意見については以前の講義で述べたとおり）。また近年は複雑な仕組みの金融商品も登場している。このような情報の格差のため、金融商品についての購入者の理解は、業者側から出される情報・説明にかなり依存することになる。詐欺的な説明は論外であるが、そこまでいなくても問題のある行為が多い。当該金融商品を保有することで儲かる「場合」・メリットのみ説明して、損をする「場合」やデメリットを説明しない等（ウソはついていない）。それでは法律家はこのような事情から生じる紛争にどのように取り組んできたのであろうか。講義では「勧誘」ルールとして2つの点のみを取り上げた。それが「説明義務」と「適合性原則」である。

説明義務（あるいは情報提供義務）は信義則に基づいて認められている（ただし自己責任原則との関係に留意が必要）。他方「適合性原則」は、当初は学説が主張していたものであり、その後様々な事情により根拠となる法律ができた。両者には共通点も多いが、そもそものスタートラインが異なるともいえる。公開授業ではこのことについて話をした。

こうした法理の説明にあたっては裁判例を紹介することがよいと考えた。生の事実（将来自分の身に起こるかも）に触れることは重要である。上記の理論を説明する際、紛争が生じた社会背景もあわせて教える必要がある（ただし当日はあまり言及することができなかった）。また、法理論よりも金融商品の仕組みそれ自体に対する理解がないと、紛争の全体像が分かりにくい。そこで講義ではファイナンス入門（の

入門）のようなこともした（公開授業の前の回）。

どこまで学生に分かるように説明できたかは、かなり怪しいところである。出席された先生方のご意見を頂戴して今後につなげたいと考えている。



公開授業を終えて

総合教育研究部外国語部門講師 三木 望

この度、12月3日に公開した授業を概略して、授業の進め方を振り返る。

公開した授業は、商学科の2年生を対象とする英語 IIB である。英語 IIB は本来、英語の受信力（リーディングとリスニング）を強化する授業であるが、リーディングを中心に、時折、関連する動画を視聴している。授業では、一つの英文を読むだけでなく、あるテーマについて異なる二つのテキストを読む、あるいは動画を視聴することによって、そのテーマについて多角的な視野を培うことを目指している。

公開授業では、教科書の通過儀礼（rites of passage）のテキストを取り上げ、ウォーミングアップとして、学生に ceremony についてブレインストーミングさせた。数名の学生がホワイトボードに例（成人式、葬式など）を書いてもらい、講師がこれらを英訳して、これから取り上げるテーマについて説明した。そして、アメリカの原住民の成人するための慣習についてのパラグラフを読む前に、学生は、成人の日は何をする予定なのか、あるいは何を行ったのか、という問いの答えを英語で書き、ペアで質疑応答を行った。その後、講師が数名の学生をあてて、成人の日の知識・経験を共有した。次に、読解に必要な語彙の一覧を各自で、オンライン辞書で

調べた。学生は、補助プリントの各パラグラフの質問に目を通してから、時間を測ってパラグラフごとにスキニングした。そして、学生は答えをプリントに記入して、講師が学生を当てて、解答を行い、通過儀礼についてまとめた。

授業の反省点としては、内容理解の質問の解答の解説に加えて、本文全体の解説をもっと増やすべきだった。また、テキストに付属している音声が速いので使用していないが、語学プレイヤーのソフトで速度を落として、聴き読みに使用することも可能である。また、音読も視野に入れるべきであろう。

本学に着任してから既に半年以上経つものの、毎日が試行錯誤の連続である。公開した授業以外に、他の教員と同じシラバスと教材を用いて、意見・情報を交換する授業を担当している。新任の教員にとって他の教員のご意見は、非常にありがたい。今度は、他の教員の公開授業に是非参加して自分の授業の参考にしたいと思う。



連載企画：よりよい教育のために

FD研修会

本年度のFD研修会は、以下のような内容で実施された。

日 時：平成24年11月14日（水）

午後2時40分～午後4時10分

場 所：第2研究館 2研-209 教場

講 師：湘北短期大学総合ビジネス学科准教授

伊藤 善隆先生

演 題：「初年次教育とコミュニケーション教育—日本語リテラシー教育の実践例を中心に—」

司 会：FD推進委員会小委員会委員長 熊本 英人先生

高校までの学習と比べて、大学における学習ではより自主性が求められる。学生たちが大学での学習に適応し、やがて就職活動に対応できるよう指導することは、大学にとって重要な課題である。そこで新入生に対して、まずは「コミュニケーション」についてトレーニングすることが必要であり、そのために設置される科目が初年次教育科目である。今回のFD研修会では、講師の伊藤先生から湘北短期大学での実践例が報告された。以下にその内容の要約と研修会に参加しての感想を述べてみたい。

湘北短期大学における初年次教育は2段階から構成される。1段目は2月から3月にかけての入学前教育科目「コミュニケーションリテラシー」であり、ここでは大学や社会で必要とされるコミュニケーション能力育成に重点が置かれる。2段目は入学後の初年次教育科目「日本語リテラシーⅠ」および「日本語リテラシーⅡ」であり、ここでは日本語運用能力育成に重点が置かれる。4年制大学にとっての初年次教育科目に該当するのは前者であり、「読み・書き・話す・パソコン」の基本技術のほか、グループでのプレゼンテーションや大学生活を送るうえで大切なこと（自学自習上のアドバイス、マルチメディアの利用、オフィスアワー等）が指導される。15回分の授業計画は、以下のとおりである。

- 第1回 ガイダンス (社会人キャリア力とは—アセスメント)
- 第2回 ノンバーバルコミュニケーションの重要性 (特別講義)
- 第3回 メモの取り方、アイデアの出し方 (特別講義)
- 第4回 コミュニケーションの基本—話す技術
- 第5回 コミュニケーションの基本—書く技術
- 第6回 インフォマティクス—図書館の利用とインターネット検索
- 第7回 問題と問題解決の技法
- 第8回 情報の分析と MS-Excel の活用—基本操作と表計算
- 第9回 情報の分析とビジネスにおける MS-Excel の活用—グラフ化
- 第10回 問題解決：発散技法 (プレゼンテーション準備)
- 第11回 問題解決：収束技法 (プレゼンテーション準備)
- 第12回 グループプレゼンテーション (最終発表)
- 第13回 社会人に必要とされる日本語力と時事問題の知識 (社会人キャリア力)
- 第14回 社会人に必要とされる非言語能力 (社会人キャリア力)
- 第15回 まとめ (アセスメントの結果のフィードバック)

ユニークなのは、湘北短期大学では、この試みを高校—大学—産業界の連携による研究会を通じて充実させている点にある。こうした取り組み方については、本学も参考にすべきであろう。

質疑応答では、「こうした初年次教育は日本語教育の専門家ではない大学教員にも担当可能なのか」という質問があり、これに対する伊藤先生の回答は、「きちんとしたテキストに沿って行えば大丈夫」というものだった。これは、日本語教育の専門家以外の教員も実際には数多く担当することになるであろう平成26年度からの本学の初年次教育にとっては、誠に力強い言葉ではあったが、きちんとした初年次教育のテキストをきちんと教えるスキルを担当教員全員が習得するためには、さらなる研修の場が必要であるように思われた。その意味では、今回のFD研修会は、本学のFD活動に新たな課題を投げかけるものであったと言える。



湘北短期大学 伊藤善隆先生



学長 石井 清純先生



会場の様子

*事務局では「FD研修会」を収録したDVDの貸し出しをしております。視聴をご希望の際は、教務部教育支援係までお申し出ください。

なお、この映像は本学教職員に限っての視聴といたしますので、取り扱いにご注意くださいますようお願いいたします。

FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成24年度第6回FD推進委員会小委員会
平成25年2月20日(水)

*FD活動についてご意見がありましたら、各学部等のFD推進委員会小委員会委員まで申し出てください。

編集後記

本号は公開授業とFD研修会の報告を中心に構成されている。この二つの企画は、FD活動の中核を成すものである。しかしながら、両方とも、近年参加者がなかなか増えない状況にある。このことについて少し考えてみたい。

ひとつの仮説を提起するなら、公開授業にしても、FD研修会にしても、参加者が増えない原因は（主催者として本意ではないにせよ）座学に止まっている点にあるのではないか。お行儀よく座って、先生のお話（講義）を聞いて、というスタイルの研修は、新たな知見を得るうえでは有効だが、問題を絞り込んで改善に向けて取り組むための場としては不十分であり、忙しい中他の時間を削ってまで参加しようという動機を与えていないように思われる。参加者が当事者になったつもりで疑似体験し、その体験を踏まえて意見を述べ、新たな提案をし、そこに別の人の意見を織り込んでいく作業を積み重ねていく。そうした刺激的なグループワークがなければ、公開授業もFD研修会も、結局のところ小さな講演会

に終わってしまうのではなかろうか。

今回のFD研修会は、平成26年度からスタートする初年次教育がテーマであり、多くの教員が参加してくれることを期待していたが、教場が埋まるには程遠かった。これがおそらく座学の研修会の限界なのだろう。

初年次教育をスタートさせるにあたって、日本語教育の専門家ではない担当予定者にはしっかりと研修が必要、ということは多くの教員にとって共通する認識であり、本学が初年次教育を成功させるために平成25年度にはより実践的な研修が望まれる。例えば、担当予定者が集まって、それぞれシラバスに沿って模擬授業を行い、どこをどうしたら授業をより効果的なものにできるのか意見交換し、話し方や進め方に関して工夫する余地はないかお互いにアドバイスを求めるような研修会である。

最後になるが、巻頭言を引き受けて下さった小川隆入学センター所長、および公開授業を担当された先生方には心より感謝したい。

(猿山義広、佐藤多美夫)

【タイトル横の写真は、パオ周辺】

FD NEWSLETTER Dec. 2012 第33号

発行日：2012年12月15日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 駒澤大学におけるキャリア教育
経済学部教授 中済 光昭
- 2012 年度「学生による授業アンケート」(後期) 集計結果
- 「啐啄同時」
医療健康科学部教授 熊坂さつき

駒澤大学におけるキャリア教育

経済学部教授
中済 光昭

本学は、平成 22 年度に文部科学省「大学生の就業力育成支援事業（以下、就業力 GP という。）」、平成 24 年度に文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（以下、産業界のニーズ事業という。）」に採択された（詳細は本学ホームページ右側下【文部科学省等採択プログラム】を参照のこと）。これらの取組のまとめ役を拝命している立場からキャリア教育について述べてみたい。

大学設置基準の改正により、平成 23 年度から大学教育の一環として「社会的・職業的自立に関する指導等（キャリアガイダンス）」の実施が義務付けられた。これは、学生の働くことへの関心、意欲、態度、目的意識、責任感、意志等の欠如、コミュニケーション能力や対人関係能力、基本的マナー等、職業人としての基礎的資質・能力の低下等に関して、産業界から厳しい指摘がなされていること、加えてフリーターや無業者の増加、就職後の早期離職等、若者をめぐる状況が極めて深刻なものとなっているためである。

このように書くと、多くの教職員から「関わりたくない」「大学教育ではない」という声が聞こえてきそうである。

しかし、例えばキャリア教育を「人はなぜ生きるのか」という切り口で捉えれば、大学の授業にふさわしいテーマになる。あるいは、キャリア形成を通じて将来の目標が具体化すれば、大学で学問に取り組む意義を見いだすことができ、学習意欲の向上が期待できる。

すなわち初年次教育としての役割を担うことができる。このように考えると、全ての教職員が全ての科目、課外活動の中でキャリア教育に繋がる内容に触れることが可能になろう。全ての学部等がキャリア教育に取り組むことで、学習意欲が高い学生が増え、大学教育が活性化するかもしれない。

現在、産業界のニーズ事業は 1 年目を終えようとしており、就業力 GP も含めると 3 年目となる。産業界のニーズ事業では東京 23 区に本部を持つ大学と連携しているので、本学のみならず他大学の成果や課題を全学にフィードバックしたいと考えている。これを契機に全学的に、駒澤大学のキャリア教育がどうあるべきかについての議論が進んでいくことを願っている。

2012年度「学生による授業アンケート」(後期) の集計結果について

2012年度「学生による授業アンケート」(後期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成24年11月6日(火)～11月12日(月)
対象科目	1,579科目
対象者数	152,231人
実施科目数	1,579科目(100.0%)
有効回答数	75,383枚(49.5%)

【質問項目】

- Q 1. 時間どおりに出席した割合はどのくらいですか。
5: 100～80% 4: 79～60% 3: 59～40% 2: 39～20%
1: 20%未満
- Q 2. 授業に熱心に取り組みましたか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない
1: 全くそう思わない
- Q 3. この授業の予習・復習にあてた時間は、1週間に何時間くらいでしたか。
5: 5時間以上 4: 約4時間 3: 約3時間 2: 約2時間
1: 1時間未満
- Q 4. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)
5: シラバスを読んで興味を持った 4: 資格の取得
3: 周りの人に勧められた 2: 必修科目又は選択必修科目
1: その他
- Q 5. 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
2: はい 1: いいえ
- Q 6. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
2: はい 1: いいえ
- Q 7. 授業はおおむねシラバスの内容が反映されていますか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: ふつう 2: そう思わない
1: 全くそう思わない
- Q 8. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
5: 早すぎる 4: やや早い 3: ちょうどよい

2: やや遅い 1: 遅すぎる

- Q 9. 教科書・資料・教材・器具・用具等は効果的に使われていましたか。
5: 全くそう思う 4: そう思う 3: どちらともいえない
2: そう思わない 1: 全くそう思わない
- Q10. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
5: 非常に感じた 4: 感じた 3: どちらともいえない
2: あまり感じなかった 1: 全く感じなかった
- Q11. 教え方はわかりやすかったですか。
5: 非常にわかりやすい 4: ややわかりやすい 3: ふつう
2: ややわかりにくい 1: 非常にわかりにくい
- Q12. この科目の授業内容をどのくらい理解できましたか。
5: 非常に理解できた 4: やや理解できた 3: ふつう
2: あまり理解できなかった 1: 全く理解できなかった
- Q13. この授業で受けた知的刺激に対する満足度はどうでしたか。
5: 非常に満足 4: 満足 3: どちらともいえない
2: 不満 1: 非常に不満
- Q14. ～Q16. 担当教員による個別質問
- ◇自由記述
- Q17. この授業の良かった点を具体的に記入してください。
- Q18. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
- Q19. 担当教員による個別質問

【無記名式と記名式の併用、学年別平均値】

授業改善に対する学生の誠実、真剣な意見・要望を集約できるようにするため、学生が記名式か無記名式かを選択する方式となっている。記名の有無の割合は、図1のとおりである。記名の有無別の平均値は表1のとおりである。また、学年別の平均値は、表2のとおりである。

図1 記名の有無の割合

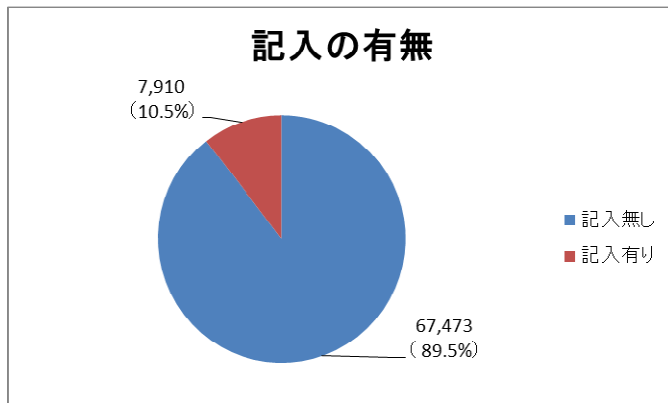


表1 記名の有無別の平均値

学科・専攻	記入無し	記入有り
Q1 平均値	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	4.0
Q3 平均値	1.4	1.5
Q4 平均値	3.1	3.2
Q5 「はい」 回答率	95.3	95.9
Q5 「いいえ」 回答率	4.7	4.1
Q6 「はい」 回答率	97.0	97.5
Q6 「いいえ」 回答率	3.0	2.5
Q7 平均値	4.0	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3
Q9 平均値	3.8	4.0
Q10 平均値	4.0	4.2
Q11 平均値	3.7	3.9
Q12 平均値	3.5	3.8
Q13 平均値	3.7	3.9
Q14 平均値	3.5	3.8
Q15 平均値	3.5	3.7
Q16 平均値	3.3	3.7
有効回答数	67,473	7,910

表2 学年別の平均値

学科・専攻	1年	2年	3年	4年	その他
Q1 平均値	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	4.2
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.9
Q4 平均値	2.8	3.1	3.5	3.5	3.8
Q5 「はい」 回答率	95.4	95.6	95.0	95.3	93.2
Q5 「いいえ」 回答率	4.6	4.4	5.0	4.7	6.8
Q6 「はい」 回答率	96.8	97.4	97.0	97.0	96.5
Q6 「いいえ」 回答率	3.2	2.6	3.0	3.0	3.5
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.4
Q11 平均値	3.6	3.7	3.7	3.9	4.2
Q12 平均値	3.5	3.5	3.6	3.7	4.0
Q13 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	4.2
Q14 平均値	3.6	3.6	3.4	3.7	3.4
Q15 平均値	3.5	3.6	3.4	3.6	2.9
Q16 平均値	3.4	3.4	3.2	3.5	3.3
有効回答数	26,479	25,129	14,724	6,099	329

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプのマーク欄を追加した。なお、回答は任意とした。（表3 入試形態別の項目平均値）

表3 入試形態別の項目別平均値

学科・専攻	一般入試	大学入試センター試験利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.8	4.6	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	3.9	4.0	3.8
Q3 平均値	1.3	1.4	1.4	1.7	1.4	1.5	1.8	2.3	1.4	1.5	1.4
Q4 平均値	3.1	3.2	3.2	3.0	3.1	3.1	3.4	3.5	3.1	3.3	3.1
Q5 「はい」 回答率	95.2	95.5	95.3	95.8	95.7	95.9	97.4	91.7	92.8	95.0	95.0
Q5 「いいえ」 回答率	4.8	4.5	4.7	4.2	4.3	4.1	2.6	8.3	7.2	5.0	5.0
Q6 「はい」 回答率	97.2	97.2	96.9	96.6	97.0	97.4	97.8	95.8	96.1	96.6	97.0
Q6 「いいえ」 回答率	2.8	2.8	3.1	3.4	3.0	2.6	2.2	4.2	3.9	3.4	3.0
Q7 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0
Q8 平均値	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.5	3.2	3.2	3.3
Q9 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.0	3.7
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	3.9
Q11 平均値	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0	3.9	3.9	3.5
Q12 平均値	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.8	4.1	3.8	3.7	3.4
Q13 平均値	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0	3.8	3.9	3.6
Q14 平均値	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.2	4.1	3.3	3.6	3.4
Q15 平均値	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.3	4.2	3.5	3.9	3.4
Q16 平均値	3.4	3.5	3.5	3.3	3.2	3.4	3.1	3.9	3.5	3.6	3.2
有効回答数	25,074	3,756	4,642	1,404	2,456	3,065	584	121	366	324	4,386

表4-1 学科・専攻別の項目別平均値（仏教学部禅学科～文学部国文学科）

学科・専攻 区分	（仏教学部）禅			（仏教学部）仏教			（文学部）国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
Q3 平均値	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3
Q4 平均値	2.8	2.7	3.0	2.8	2.7	3.1	3.1	3.0	3.1
Q5 「はい」 回答率	94.4	93.8	95.3	94.0	93.2	95.5	97.0	96.3	97.6
Q5 「いいえ」 回答率	5.6	6.2	4.7	6.0	6.8	4.5	3.0	3.7	2.4
Q6 「はい」 回答率	97.1	97.5	96.6	96.6	96.6	96.5	98.6	98.3	98.9
Q6 「いいえ」 回答率	2.9	2.5	3.4	3.4	3.4	3.5	1.4	1.7	1.1
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q10 平均値	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1
Q11 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q12 平均値	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6
Q13 平均値	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
Q14 平均値	3.7	3.2	4.0	3.4	3.0	3.7	3.4	2.9	3.7
Q15 平均値	3.4	3.4	3.4	3.3	3.0	3.8	3.7	3.8	3.6
Q16 平均値	3.6	3.5	3.9	3.2	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3
有効回答数	1,588			2,594			3,925		

表4-2 学科・専攻別の項目別平均値（文学部英米文学科～経済学部地理学科地域環境専攻）

学科・専攻 区分	（文学部）英米文			（文学部）地域文化			（文学部）地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8
Q3 平均値	1.3	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値	3.0	2.8	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4
Q5 「はい」 回答率	94.1	92.9	95.3	96.2	96.8	95.6	96.3	96.3	96.4
Q5 「いいえ」 回答率	5.9	7.1	4.7	3.8	3.2	4.4	3.7	3.7	3.6
Q6 「はい」 回答率	97.0	98.3	95.7	97.9	96.6	99.2	98.1	97.6	98.7
Q6 「いいえ」 回答率	3.0	1.7	4.3	2.1	3.4	0.8	1.9	2.4	1.3
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
Q9 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	3.7	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7
Q12 平均値	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
Q14 平均値	3.5	3.5	3.5	3.9	4.3	3.1	3.7	3.7	3.7
Q15 平均値	3.7	4.0	3.2	3.7	3.7	3.8	3.4	3.3	3.6
Q16 平均値	3.3	3.3	3.3	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.4
有効回答数	4,090			1,472			1,452		

表4-3 学科・専攻別の項目別平均値（文学部歴史学科）

学科・専攻 区分	（文学部）日本史学			（文学部）外国史学			（文学部）考古学		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7
Q3 平均値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
Q4 平均値	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
Q5 「はい」 回答率	92.8	88.4	96.8	95.0	93.5	95.9	95.4	91.1	98.3
Q5 「いいえ」 回答率	7.2	11.6	3.2	5.0	6.5	4.1	4.6	8.9	1.7
Q6 「はい」 回答率	97.5	96.1	98.7	95.5	95.9	95.2	97.4	97.3	97.4
Q6 「いいえ」 回答率	2.5	3.9	1.3	4.5	4.1	4.8	2.6	2.7	2.6
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
Q9 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1
Q11 平均値	3.6	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6
Q12 平均値	3.5	3.4	3.6	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.7	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7
Q14 平均値	3.7	3.9	2.9	3.5	3.6	3.3	2.9	2.8	3.1
Q15 平均値	3.3	3.4	2.6	3.6	3.8	2.8	2.8	3.0	2.4
Q16 平均値	3.4	3.5	2.9	2.9	2.7	3.3	2.7	2.2	3.8
有効回答数	3,289			1,812			1,342		

表4-4 学科・専攻別の項目別平均値（文学部社会学科～文学部心理学科）

学科・専攻 区分	（文学部）社会学			（文学部）社会福祉学			（文学部）心理		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q2 平均値	3.6	3.6	3.7	4.0	4.0	3.9	3.7	3.6	3.8
Q3 平均値	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2
Q4 平均値	2.9	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0
Q5 「はい」 回答率	96.6	96.3	96.8	97.4	96.4	98.1	95.9	95.9	95.8
Q5 「いいえ」 回答率	3.4	3.8	3.2	2.6	3.6	1.9	4.1	4.1	4.2
Q6 「はい」 回答率	98.7	99.1	98.3	96.1	95.6	96.4	99.4	99.7	99.1
Q6 「いいえ」 回答率	1.3	0.9	1.7	3.9	4.4	3.6	0.6	0.3	0.9
Q7 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q8 平均値	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2
Q9 平均値	3.7	3.6	3.8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q11 平均値	3.6	3.5	3.6	3.9	4.0	3.8	3.6	3.5	3.7
Q12 平均値	3.4	3.4	3.5	3.7	3.8	3.6	3.5	3.4	3.6
Q13 平均値	3.6	3.6	3.7	3.9	4.0	3.8	3.7	3.7	3.7
Q14 平均値	3.7	3.8	3.4	4.1	4.3	3.7	3.5	3.9	3.3
Q15 平均値	3.7	3.7	3.6	4.2	4.4	3.4	3.4	3.6	3.3
Q16 平均値	3.0	3.0	2.9	3.8	3.9	3.4	3.5	3.7	3.4
有効回答数	1,499			1,908			2,063		

表4-5 学科・専攻別の項目別平均値（経済学部経済学科A～経済学部商学科）

学科・専攻 区分	（経済学部）経済A			（経済学部）経済B			（経済学部）商		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6
Q2 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	4.0	3.8	3.7	3.8
Q3 平均値	1.5	1.4	1.5	1.4	1.2	1.6	1.5	1.4	1.5
Q4 平均値	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1	3.4	3.3	3.3	3.3
Q5 「はい」 回答率	95.5	94.7	96.2	97.0	100.0	95.2	95.1	94.3	95.6
Q5 「いいえ」 回答率	4.5	5.3	3.8	3.0	0.0	4.8	4.9	5.7	4.4
Q6 「はい」 回答率	97.2	96.3	98.0	98.0	97.3	98.4	96.2	94.7	97.3
Q6 「いいえ」 回答率	2.8	3.7	2.0	2.0	2.7	1.6	3.8	5.3	2.7
Q7 平均値	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.0
Q8 平均値	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
Q9 平均値	3.7	3.6	3.9	4.0	3.8	4.0	3.7	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	3.9	4.0	4.2	4.1	4.2	4.0	3.9	4.0
Q11 平均値	3.6	3.5	3.7	3.9	3.6	4.2	3.6	3.6	3.7
Q12 平均値	3.5	3.4	3.6	3.9	3.4	4.2	3.5	3.4	3.6
Q13 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	3.8	4.1	3.6	3.6	3.7
Q14 平均値	3.3	3.0	3.4	3.6	3.3	3.8	3.4	3.4	3.4
Q15 平均値	3.4	3.5	3.4	3.1	2.7	3.2	3.4	3.5	3.4
Q16 平均値	3.3	3.6	3.0	3.1	2.7	3.3	3.4	3.5	3.3
有効回答数	6,998			99			4,402		

表4-6 学科・専攻別の項目別平均値（経済学部現代応用経済学科～法学部法律学科B）

学科・専攻 区分	（経済学部）現代応用経済			（法学部）法律A			（法学部）法律B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
Q2 平均値	3.9	3.8	4.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8
Q3 平均値	1.6	1.5	1.6	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.1	3.0	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	2.9	3.3
Q5 「はい」 回答率	95.9	96.0	95.8	94.6	95.2	93.9	94.6	94.2	94.9
Q5 「いいえ」 回答率	4.1	4.0	4.2	5.4	4.8	6.1	5.4	5.8	5.1
Q6 「はい」 回答率	95.8	93.7	97.7	96.5	97.4	95.6	96.4	96.8	96.0
Q6 「いいえ」 回答率	4.2	6.3	2.3	3.5	2.6	4.4	3.6	3.2	4.0
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.2
Q9 平均値	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
Q10 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.8
Q12 平均値	3.6	3.4	3.7	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.6
Q13 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.8
Q14 平均値	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6
Q15 平均値	3.4	3.6	3.3	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7
Q16 平均値	3.2	3.6	3.1	3.4	3.6	3.2	3.5	3.7	3.5
有効回答数	2,481			6,935			2,644		

表4-6 学科・専攻別の項目別平均値（法学部政治学科～経営学部経営学科B）

学科・専攻 区分	（法学部）政治			（経営学部）経営A			（経営学部）経営B		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.5	4.3
Q2 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.2	3.3	3.1	3.1	3.0	3.2	3.4	3.2	3.6
Q5 「はい」 回答率	96.5	96.8	96.3	94.3	94.9	93.6	96.0	97.6	94.6
Q5 「いいえ」 回答率	3.5	3.2	3.7	5.7	5.1	6.4	4.0	2.4	5.4
Q6 「はい」 回答率	96.9	98.2	95.8	96.9	97.8	96.0	96.0	98.8	93.5
Q6 「いいえ」 回答率	3.1	1.8	4.2	3.1	2.2	4.0	4.0	1.2	6.5
Q7 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4
Q9 平均値	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
Q10 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0
Q11 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.8
Q12 平均値	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6
Q13 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.7	3.8
Q14 平均値	3.9	3.9	3.9	3.3	3.2	3.4	3.5	2.7	4.0
Q15 平均値	3.8	4.0	3.4	3.5	3.2	4.0	3.8	3.1	4.5
Q16 平均値	3.7	3.8	3.3	3.1	3.0	3.4	3.8	3.6	4.2
有効回答数	5,124			5,717			177		

表4-6 学科・専攻別の項目別平均値（経営学部市場戦略学科～GMS学部）

学科・専攻 区分	（経営学部）市場戦略			（医療健康科学部）			（GMS学部）		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q1 平均値	4.5	4.5	4.6	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7
Q2 平均値	3.8	3.7	3.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.0	4.1
Q3 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.0	2.9	3.1	2.2	2.2	2.2	3.4	3.6	3.2
Q5 「はい」 回答率	94.2	92.3	96.4	96.9	97.2	95.8	96.8	95.9	97.5
Q5 「いいえ」 回答率	5.8	7.7	3.6	3.1	2.8	4.2	3.2	4.1	2.5
Q6 「はい」 回答率	96.6	96.2	97.1	95.8	98.0	88.1	97.7	98.2	97.3
Q6 「いいえ」 回答率	3.4	3.8	2.9	4.2	2.0	11.9	2.3	1.8	2.7
Q7 平均値	4.0	4.0	4.1	3.9	3.9	3.7	4.2	4.2	4.2
Q8 平均値	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.4	3.5	3.4
Q9 平均値	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	3.5	3.9	4.0	3.9
Q10 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	3.7	4.2	4.2	4.1
Q11 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.7	3.4	3.9	3.9	3.9
Q12 平均値	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.3	3.8	3.7	3.8
Q13 平均値	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.4	3.9	3.9	3.9
Q14 平均値	3.6	3.3	4.0	3.2	3.2	3.9	3.8	4.1	3.7
Q15 平均値	3.7	3.8	3.6	3.3	3.2	4.1	3.5	3.8	3.4
Q16 平均値	3.9	3.9	3.8	3.3	3.2	3.9	3.6	4.0	3.3
有効回答数	3,554			2,441			5,649		

2012年度「学生による授業アンケート（後期）」集計結果の分析

2012年度後期授業評価アンケートは、前期と同様にシラバスに関する設問（Q7）を加えた内容で実施された。設問は全部で16（自由記述除く）あり、系統別に分けると「学生の自己評価」（Q1～Q4）、「学生の授業に対する評価」（Q5～Q13）、「担当教員による個別質問」（Q14～Q16）の3つのジャンルからなっている。有効回答数は7万5,383で、過去3年間の後期アンケートと比較すると増加傾向にある（10年7万1,060、11年7万3,966）。以下、集計結果について項目（各表参照）ごとにコメントを加えることにする。

まず、氏名記入の有無については、記入無が6万7,473で全体の89.5%、記入有が7,910で10.5%であった。昨年後期の割合と比較すると、若干ではあるが記入無が減り記入有が増えた（0.6%ポイント）。記名無と記名有のスコアを比較した場合、記名有の方が良好な傾向が認められる。記名有のアンケートにはそれなりに責任ある回答が求められるという心理が回答者に働いたのかもしれない。

次に、学年別についてみると、有効回答数が学年によって異なるので単純比較はできないが、回答数の少ない4年生がやや良好であった。回答数の違いという要因を除去すると、学年別のスコアには取り立てて指摘するほどの違いはみられないといってよい。ちなみに各学年の回答数は、1年が2万6,479、2年が2万5,129、3年が1万4,724、4年が6,099であった。

続いて、入試形態別についてみると、導入された2010年から12年までの3年間の比較（すべて後期）からわかることは、10年に比べ、11年と12年のスコアがアップしたことである。ただし、入試形態別の差に関しては明確に確認することはできなかった。

主要項目の最後に、学科別（専攻別含む）については次のとおりである。各設問の平均値を上回る（ないしは良好な）項目数のベスト3は、①文学部地域文化9項目（有効回答数1,472）、②文学部社会福祉学8項目（同1,908）、③文学部外国史学7項目（同1,812）およびGMS学部グローバル・メディア7項目（同5,649）であり、GMSを除き回答数の少ない学科（専攻）が上位を占めた。回答数の多い学科のベスト3と平均値を上回る（ないしは良好な）項目数の状況をみると、

①経済A（有効回答数6,998、1項目）、②法律A（同6,935、0項目）、③経営A（同5,717、1項目）で、学生数の多い学科ほどパフォーマンスが優れない傾向にある。多分にマスプロ教育の弊害が反映したと思われる。

その他、いくつかの項目について言及しておく、まず、12年度前期アンケート結果との比較では、有効回答数の違いや性格の異なる科目（半期・通年）のアンケート結果を直接比較するには何らかの留保条件を付けるべきであるが、総じて前期のスコアが後期のそれより良好なのが読み取れる。また、専任と非常勤を比較すると、25学科（専攻含む）のうち15学科で専任より非常勤のスコアの方が良好であった。専任教員の奮起を期待したい。

以上が、2012年後期学生授業評価アンケートの分析結果である。学生授業評価アンケートが実施されて来学年度（2013年）で10年目の節目を迎えるが、実施方法やアンケート結果の活用などをめぐり今なお改善すべき課題が残されている。今回の分析結果が駒澤大学におけるアンケート事業の発展にわずかでも資することができれば幸いである。

（鄭 章淵）

平成25年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「平成25年度新規採用教員オリエンテーション」を、平成25年4月1日（月）に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

連載企画：よりよい教育のために

「啐啄同時」

医療健康科学部 教授 熊坂さつき

「啐啄同時」（そったくどうじ）と読みます。」ふと顔を上げると父と同年齢であろう高齢の一人のお坊様が微笑みながら私の顔を見て話しかけていた。「よくお参りですね。あなたがあまりに夢中でこの掛け軸を眺めているので声をかけました。鳥のヒナがまさに卵の中からこの世に生まれ出ようとする時、ヒナ鳥は、くちばしで卵の内側から殻をカツカツと叩き、生まれ出る相図の音を立てこれを知らせます。それを『啐（そつ）』といいます。ところが、ヒナ鳥の力だけでは、生まれ出ることできません。ちょうどその時、そばにいる親鳥が外側から、ひな鳥と同じ所をコツコツとついでばんでやらなければ殻は破れないのです。これを『啄（たく）』といいます。そしてこの『啐』と『啄』が同時であってはじめて、殻が破れてヒナがこの世に産まれるわけです。これを『啐啄同時』と言います。」見上げた先には今まで、見えなかった一幅の古い掛け軸があった。

先日、画像技術科学コースの専任教員と非常勤講師の連絡会を行った。新しい医療保険請求制度制定に伴い診療放射線技師の業務拡大が新たに行われるとの最新情報に対応すべく、学生に特別講義を行うための実質的な話し合いや、次年度に向けた講義および実験の内容の再検討と改変についてお互い声を荒げる場面や気まずい沈黙もありながら効果的にかつ効率的に学生に対する将来の教育の在り方について熱く話し合った。その後の懇親会の席では和気あいあいと専任、非常勤の区別なく、自分が行っている教育の工夫や反省すべき材料について情報交換を行いながら交友を深めあった。「“空洞化”した教育にしてはいけない。教員同士がそこに『いるのに、いない』そんな教育現場にはしたくない。お互いの教育の中身や方法について教員同士がお互い興味をもってフランクに話し合えるそんな教育現場にしたい。」皆、こんな気持ちがそこにはある。「啐啄」の時は、おのずとおとずれてくるものであって、その時、相互が協力し、信頼し合っていればうまく「啐啄」は行われる。鏡清禪師は「啐啄の機」をもって修行者を指導されたと伝えられている。教育の現場における、教員と学生の関係はもちろんのこと、教員同士もお互いにこの「啐啄同時」を意識する気持ちをもつ

て、接してみてもはどうだろうか？横文字ばかりのFD活動を考える時、とても深い意味をもつ一つの禅の言葉が心に残った。

編集後記

『FD NEWSLETTER 第34号』をお届けします。巻頭言を中濟光昭先生に、連載企画を熊坂さつき先生にご執筆いただきました。お忙しい時期に誠にありがとうございました。

中濟先生がお書きになっているように、教員がキャリア教育を自分の専門分野と有機的に関連付けることができれば、学生にも刺激的で有益な教育を提供でき、良循環が生まれるように思います。熊坂先生のおっしゃる教員間の連携と情報交換も、非常に効果的に思われます。しかし実行はなされていないと感じる方も多いのではないのでしょうか。教員と学生の有機的な関係に、教員間の活発なコミュニケーションが加われば、広義のFD活動の向上に確実に繋がるのではないかと考えさせられました。

2012年度「学生による授業アンケート」（後期）の集計結果とその分析も載せております。有効回答数の増加傾向を、学生の授業への期待の反映と捉えるならば、個々の教員は集計結果を建設的に活用できるのではないのでしょうか。

『FD NEWSLETTER』はすべて大学ホームページでご覧になれます。トップページの「大学概要」から「教育上の取り組み」、「FD活動」へとお進みください。時代に沿った大学の取り組みはどうあるべきかというFDの大きな枠組みに関するものから教員による授業の工夫の具体例まで、様々な記事がございますので、ぜひお役立てください。またご意見やご希望がありましたら遠慮なくお寄せください。

（鄭章淵、川崎明子）

【タイトル横の写真は、本部棟前】

FD NEWSLETTER Mar. 2013 第34号

発行日：2013年3月15日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

（事務局：教務部）

【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

○駒澤大学FD推進委員会規程

〔平成16年4月1日
制 定〕

改正 平成21年4月1日

(趣旨及び設置)

第1条 駒澤大学及び駒澤短期大学に、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進するため、駒澤大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(FDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるために行う、各学部等の組織的な取り組みをいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。
- (2) 教員の教授方法等の改善のための支援に関すること。
- (3) 各学部等が行うFDの支援に関すること。
- (4) FDに係る、施設・設備等の改善に関すること。
- (5) 講演会及び研修会等に関すること。
- (6) その他FDの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長等
- (4) 各学部等から選出された者各1人。ただし、総合教育研究部は3人 計11人
- (5) 教務部長
- (6) 幹事 若干人

2 委員会の委員長は学長とし、副委員長は副学長とする。

3 第1項第4号によって選出された委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 欠員を補充するために選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを召集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 F D推進委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員会に小委員会を設置することができる。

2 審議事項、構成、運営等については、委員会で制定する内規に定める。

(F D推進部会)

第7条 各学部等にF D推進部会を設置する。

2 部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等が決める。

(事務所管)

第8条 委員会の事務所管は、教務部とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

平成24年度駒澤大学FD推進委員会委員名簿

委員長	学	長	石井清純
副委員長	副	学	齊藤正
委員	仏	教	永井政之
〃	文	学	久保田昌希
〃	経	済	百田義治
〃	法	学	松村格
〃	経	営	高井徹雄
〃	医	療	山本裕右
〃	グ	ロー	川崎賢一
〃	ス	タ	遠山博雄
〃	総	合	熊本英人
〃	仏	教	川崎明子
〃	文	学	鄭章淵
〃	経	済	佐藤多美夫
〃	法	学	猿山義広
〃	経	営	熊坂さつき
〃	医	療	白水繁彦
〃	グ	ロー	内藤寿子
〃	ス	タ	齊藤明美
〃	総	合	末次美樹
〃	総	合	小野浩一
			(以上 委員 21名)
幹	教	務	川波和章
事	教	務	柿沼富雄
〃	教	務	渡辺巖
			(以上 幹事 3名)
書	教	務	桜田千津
記	教	務	堀創一
〃	教	務	板橋幸子
〃	教	務	上野典子
			(以上 合計 28名)

平成 24 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿

委員 長	仏 教 学 部 教 授	熊 本 英 人
副 委 員 長	総 合 教 育 研 究 部 講 師	齊 藤 明 美
委 員	文 学 部 准 教 授	川 崎 明 子
〃	経 済 学 部 教 授	鄭 章 淵
〃	法 学 部 講 師	佐 藤 多 美 夫
〃	経 営 学 部 教 授	猿 山 義 広
〃	医 療 健 康 科 学 部 教 授	熊 坂 さ つ き
〃	グ ローバル・メ ディア・ ス タディーズ 学 部 教 授	白 水 繁 彦
〃	総 合 教 育 研 究 部 講 師	内 藤 寿 子
〃	総 合 教 育 研 究 部 講 師	末 次 美 樹
〃	教 務 部 長	小 野 浩 一
		(以上委員 11名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	川 波 和 章
〃	教 務 部 学 務 課 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 教 務 課 長	渡 辺 巖
		(以上幹事 3名)
書 記	教 務 部 係 長	桜 田 千 津
〃	教 務 部	堀 創 一
〃	教 務 部	板 橋 幸 子
〃	教 務 部	上 野 典 子
		(以上合計 18名)

平成24年度 駒澤大学FD推進部会委員名簿

学部等	部会長	平成24年度委員	備考
仏教学部	永井政之	飯塚大展 岩永正晴 熊本英人 佐藤秀孝 吉村誠	
文学部	久保田昌希	勝原晴希 モート,セーラ 田中靖 小泉雅弘 長尾讓治 八巻秀	
経済学部	百田義治	浅田進史 番場博之 飯田泰之	
法学部	松村格	塩入みほも	
経営学部	高井徹雄	鹿嶋秀晃 猿山義広 藤原篤志 中川淳平 若山大樹	
医療健康科学部	山本裕右	青木清 小川雅生 熊坂さつき 瀬尾育式 原田和正	
グローバル・ メディア・ スタディーズ学部	川崎賢一	白水繁彦 芝崎厚士 絹川真哉 杉森建太郎	
総合教育研究部	遠山博雄	久保陽一 坂野井和代 内藤寿子 勅使河原三保子 武田利勝 末次美樹 萩原建次郎	

平成 24 年度
F D 活動報告書

発行日	平成 25 年 3 月 31 日
発行	駒澤大学 F D 推進委員会
	〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1 丁目 23 番 1 号
	TEL 03-3418-9444
	FAX 03-3418-9114
事務局	駒澤大学教務部

